

令和 7 年度第 1 回上越市食育推進会議次第

日時： 令和 7 年 8 月 20 日（水）
午後 2 時から
会場： 上越市春日謙信交流館 集会室

1 開 会

2 会長挨拶

3 議 事

- (1) 第 4 次上越市食育推進計画指標項目及び令和 6 年度上越市食育推進実施計画（アクションプラン）の取組状況の報告（確定値）
- (2) 令和 7 年度食育啓発イベントの報告について
- (3) 令和 7 年度食育市民アンケートの実施について（案）
- (4) その他

4 閉 会

資料=====

- 【資料No.1-1】 第 4 次上越市食育推進計画指標項目の取組状況の推移
- 【資料No.1-2】 令和 6 年度上越市食育推進実施計画（アクションプラン）進捗管理一覧表
- 【資料No.1-3】 令和 6 年度上越市食育推進実施計画（アクションプラン）進捗管理表
- 【資料No.2】 令和 7 年度食育啓発イベントの報告について
- 【資料No.3-1】 令和 7 年度 食育に関する市民アンケートについて（案）
- 【資料No.3-2】 令和 7 年度 食育アンケートについて（高校生向け）（案）

■第4次上越市食育推進計画指標項目の取組状況の推移

【基本方針1】生涯にわたり食を通じた心身の健康づくりを推進します

資料No.1-1

(1) 一人一人の年齢や環境に応じた食習慣の確立

	指標項目	策定時 (R3)	R4	R5	R6	R5との比較	目標値 (R8)	県 (R1→R6)	国 (R2→R7)
1 朝食を欠食する市民の割合 (全く食べない+あまり食べない)	小学生	3.1%	3.1%	3.2%	3.1%	改善↗	0%	3.3%→0%	4.6% (R1) →0%
	中学生	5.2%	5.4%	6.5%	5.4%	改善↗	0%		
	高校生	5.2%	–	6.2%	R7年度 アンケート調査	–	3%		
	若い世代 (20~39歳)	7.3%	–	11.3%		–	6%	19.8%→15%	21.5%→15%以下
2 虫歯のない児童・生徒の割合	3歳	96.3%	96.2%	96.3%	96.3%	横ばい→	95%	90.4% (H30) →95%	
	12歳	90.5%	91.4%	90.8%	92.6%	改善↗	90%	84.4%→90%	
	17歳	79.6%	81.5%	82.2%	85.4%	改善↗	80%	–	–
3 ゆっくりよく噛んで食べる市民の割合		45.8%	–	47.9%	R7年度 アンケート調査	–	70%	–	47.3%→55%以上
4 適正体重を維持している市民の割合	20歳代~60歳代の男性	49.5%	48.7%	47.8%		改善↗	50%	–	–
	20歳代~60歳代の女性	45.3%	44.9%	44.6%	43.5%	悪化↘	45%	–	–
5 生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから適正体重の維持や減塩等に気をつけた食生活を実践する市民の割合		57.0%	–	55.7%	R7年度 アンケート調査	–	72%	–	64.3%→75%以上

(2) 家庭、学校、地域、その他あらゆる機会及び場所の活用

	指標項目	策定時 (R3)	R4	R5	R6	R5との比較	目標値 (R8)	県 (R1→R6)	国 (R2→R7)
1 朝食または夕食を家族と一緒に食べる「共食」の週当たりの回数		平均9回	–	平均9.8回	R7年度 アンケート調査	–	平均11回以上	–	週9.6回→週11回以上
2 普段の食生活の中で食べることを楽しんでいる市民の割合		82.8%	–	85.9%		–	90%以上	–	–
3 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている市民の割合	全世代	43.6%	–	39.7%		–	80%	44.6%→80%	36.4%→50%以上
	若い世代 (20~39歳)	29.0%	–	25.2%		–	55%	32.2%→55%	27.4%→40%以上
4 地域等で共食したいと思う人が共食する割合		42.0%	–	60.1%		–	75%	–	70.7%→75%以上

■第4次上越市食育推進計画指標項目の取組状況の推移

【基本方針2】家庭、学校、地域、その他あらゆる機会及び場所の活用

	指標項目	策定時 (R3)	R4	R5	R6	R5との比較	目標値 (R8)	県 (R1→R6)	国 (R2→R7)
1	地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承し、伝えている市民の割合	48.0%	-	45.1%	R7年度 アンケート調査	-	55%	-	50.4%→ 55%以上
2	地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承している若い世代（20歳～39歳）の市民の割合	61.8%	-	64.2%		-	65%	-	-
3	郷土料理や伝統料理を月1回以上食べている市民の割合	46.9%	-	49.5%		-	50%以上	-	44.6%→ 50%以上

【基本方針3】食育推進に向けた連携促進と情報共有できる環境づくりを推進します

	指標項目	策定時 (R3)	R4	R5	R6	R5との比較	目標値 (R8)	県 (R1→R6)	国 (R2→R7)
1	食育に关心を持っている市民の割合	77.7%	-	70.8%	R7年度 アンケート調査	-	90%以上	56.6%→ 90%	83.2%→ 90%以上
2	食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する市民の割合	全世代	69.0%	-		-	90%	-	75.2%→ 80%以上
	若い世代 (20～39歳)	63.7%	-	59.9%		-	70%	-	-

【基本方針4】食育活動の推進により上越の農林漁業への理解を促進します

	指標項目	策定時 (R3)	R4	R5	R6	R5との比較	目標値 (R8)	県 (R1→R6)	国 (R2→R7)
1	学校給食で地場産物（青果物）を使用する割合	18.0%	12.58%	13.44%	13.99%	改善↗	20%	-	-
2	地域食材を積極的に活用する飲食店（地産地消推進の店）の認証店数	173軒	174軒	169軒	168軒	悪化↘	180軒以上	-	-
3	環境保全型農業に積極的に取り組む組織数及び取組面積	63組織 929ha	38組織 775ha	41組織 652ha	41組織 790ha	改善↗	91組織 1,473ha	-	-
4	環境に配慮した農林水産物・食品を選ぶ市民の割合	58.0%	-	55.60%	R7年度 アンケート調査	-	75%以上	-	-
5	食品ロス削減のために何らかの行動をしている市民の割合	91.1%	-	90.5%		-	92%以上	R3把握 →80%	76.5%→ 80%以上

令和6年度 上越市食育推進実施計画(アクションプラン)進捗管理一覧表

資料No.1-2

基本方針	No.	事業名	5年度目標	R4目標達成状況	R5目標達成状況	R6目標達成状況
生涯にわたる食を通じた心身の健康づくりの推進	1	妊娠期の食育推進	低出生体重児の割合の減少	未達成	達成	一
	2-1					
	2-2	乳幼児期の食育推進	肥満、やせの子どもの減少	概ね達成	未達成	概ね達成
	2-3					
	3-1	学童期・思春期の食育推進	保健指導により食の正しい知識を持つ児童・生徒の増加	概ね達成	概ね達成	概ね達成
	3-2		食育に関する講義や調理実習を行う市内高等学校数			
	4	青年期・壮年期の保健指導事業	特定保健指導実施率の増加	達成	概ね達成	一
	5	高齢期の保健指導事業	適正体重の高齢者(65歳以上)の増加	概ね達成	概ね達成	概ね達成
	6-1					
	6-2	健全な食習慣の推進	朝食を欠食する市民の減少	未達成	未達成	未達成
	6-3					
	7-1		虫歯のない児童・生徒の割合の増加 ゆっくりよく噛んで食べる市民の増加			
	7-2	歯科保健事業の推進	虫歯のない児童・生徒の割合の増加 ゆっくりよく噛んで食べる市民の増加	達成	概ね達成	達成
	7-3		虫歯のない児童・生徒の割合の増加 ゆっくりよく噛んで食べる市民の増加			
	8	メタボリックシンドロームの予防・改善	メタボリックシンドローム該当者、予備群の割合の減少	概ね達成	概ね達成	一
	9	適正体重維持の推進	適正体重を維持している市民の増加	未達成	未達成	未達成
	10	生活習慣病の予防	適正体重や減塩等に気を付けた食生活を実践する市民の増加	一	未達成	一
	11	身体活動や運動習慣の確立	30分以上の運動を週2回以上、1年以上実施している人の割合の増加	達成	達成	達成
	12-1	親子で参加・体験できるイベント等の実施	親子で参加できる食に関する体験の場の提供 上越野菜のPRや親子のコミュニケーション等の機会の提供	達成	達成	達成
	12-2					
	13	食生活の改善に必要な情報提供	「食育ガイド」を活用した食育推進の啓発回数	未達成	未達成	未達成
	14	家庭での共食についての啓発	朝食又は夕食を家族と食べる「共食」の回数	一	未達成	一
	15	在宅時間に有効に活用できる食育情報の提供	インターネットや紙媒体による在宅時間に活用できる食育情報の提供回数	達成	達成	概ね達成
	16	保育園での食の体験活動	体験活動により子どもたちの食に関する興味・関心を高める	達成	達成	達成
	17	幼稚園・小中学校での食の体験活動	市立幼稚園、小中学校での食に関する体験活動の実施	達成	達成	達成
	18	学校における食育活動の充実	事業実施により食に対する正しい知識を持った児童生徒の増加	達成	達成	達成
	19	家庭や地域とともに進める食に関する教育活動	児童・生徒の健全な食習慣を支援するよう家庭への啓発を図る	概ね達成	概ね達成	達成
	20	小中学校における特色ある食に関する食育活動の推進	地域や学校の伝統・文化をいかした食育を実践する学校の増加	概ね達成	達成	達成
	21	栄養バランスを意識した食生活の推進	主食・主菜・副菜が揃った食事を1日2回以上ほぼ毎日実践する市民の増加	一	未達成	一
	22	日本型食生活の普及活動	日本型食生活を実践する市民の増加	一	達成	一
	23	地域や職場での共食の有効性の発信	地域等で共食したいと思う市民が共食する割合	一	達成	一
継が地域で受け継ぎ家庭で受け継ぐ文化の継承	24	郷土料理、食文化の普及を推進する講座の実施	郷土料理や食文化の理解を深め、興味・関心を高めた参加者の割合	達成	達成	達成
	25	謙信KIDSプロジェクト	上越の食について興味・関心を深めた参加者の割合	達成	達成	達成
	26	「発酵のまち上越」の啓発活動	SNSにより上越は「発酵のまち」というイメージを持つ市民の増加	達成	未達成	達成
	27	SNS等を活用した若い世代への郷土料理の継承	郷土料理や上越の旬の食材を使用したレシピの投稿回数 郷土料理や伝統料理を月1回以上食べる市民の割合	達成	達成	概ね達成
	28	地場産食材、郷土料理を取り入れた学校給食の推進	地場産食材や郷土料理を取り入れた給食の提供回数	達成	達成	達成

基本方針	No.	事業名	5年度目標	R4目標達成状況	R5目標達成状況	R6目標達成状況
る食 環 育 境 推 づ 進 くに り向 け 推 た 連 携 促 進 と 情 報 共 有 で き	29	食育関係団体の食育活動の集約と情報発信	食育情報集約体制の整備と集約した情報の発信回数	達成	達成	達成
	30	健康づくり推進協議会の開催	健康づくり推進協議会の開催回数	達成	達成	達成
	31	食育に関する積極的な情報提供	食育情報の発信回数	達成	達成	達成
	32	学校給食だよりの発行による情報提供	給食だよりの発行回数	達成	達成	達成
	33	「食育月間」や「食育の日」を中心とした食育推進運動	「食育月間」及び「食育の日」の認知度の向上	—	未達成	—
	34	食育実践セミナーの開催	食育実践セミナーの開催回数 食育に関心を持っている市民の割合	達成	概ね達成	達成
	35	デジタル技術を活動を活用した食育情報の発信	市HP・SNSに食育情報を発信する回数	達成	達成	達成
	36	食の安全に関する情報発信	食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する市民の割合	—	未達成	—
	37	農林水産物等の放射性物質等の情報発信		—	未達成	—
	38	食品表示に関する普及啓発		—	未達成	—
上 越 の 農 林 漁 業 へ の 理 解 の 促 進	39	地場産物(青果物)を使用した給食の提供	学校給食の地場産物(青果物)使用量の拡大	未達成	未達成	未達成
	40	上越産農産物等の情報発信	facebookでの情報発信の回数	達成	達成	達成
	41	地産地消推進の店認定事業	地域食材を積極的に活用する地産地消推進の店の増加	未達成	未達成	未達成
	42	農産物直売所と消費者のつながり強化	事業の参加者数	達成	達成	達成
	43	農林漁業体験活動等の情報提供	市民が容易に農林漁業体験情報を入手できるようにする	達成	達成	達成
	44	都市・農村交流促進	都市との交流体験者数	未達成	達成	達成
	45	環境保全型農業の推進	環境保全型農業の取組面積の維持、有機農業の取組面積の拡大	未達成	未達成	未達成
	46	環境と調和した方法で作られた農林水産物や食品の消費喚起	環境に配慮した農林水産物・食品を選ぶ市民の割合	—	未達成	—
	47	食品ロス削減に向けた取組の推進	「20・10運動」等の食品ロス削減に向けた取組の啓発回数 食品ロス削減のために行動している市民の割合	達成	概ね達成	達成

達成	23	23	23
概ね達成	6	8	5
未達成	8	16	6
—	10	0	13
	47	47	47

令和6年度
上越市食育推進実施計画
(アクションプラン)
進捗管理表

上 越 市

■アクションプラン一覧

事業No.及び事業名	事業担当課	ページ
1 妊産期の食育推進	こども家庭センター	1
2-1 乳幼児期の食育推進	こども家庭センター	2
2-2 乳幼児期の食育推進	幼児保育課	3
2-3 乳幼児期の食育推進	学校教育課	4
3-1 学童期・思春期の食育推進	健康づくり推進課、学校教育課	5
3-2 学童期・思春期の食育推進	農政課	6
4 青年期・壮年期の保健指導事業	健康づくり推進課	7
5 高齢期の保健指導事業	健康づくり推進課	8
6-1 健全な食生活の推進	こども家庭センター、健康づくり推進課	9
6-2 健全な食生活の推進	幼児保育課	10
6-3 健全な食生活の推進	学校教育課	11
7-1 歯科保健事業の推進	こども家庭センター、健康づくり推進課	12
7-2 歯科保健事業の推進	幼児保育課	13
7-3 歯科保健事業の推進	学校教育課	14
8 メタブリックシンドロームの予防・改善	健康づくり推進課	15
9 適正体重維持の推進	健康づくり推進課	16
10 生活習慣病の予防	こども家庭センター、健康づくり推進課	17
11 身体活動や運動習慣の確立	健康づくり推進課	18
12-1 親子で参加・体験できるイベント等の実施	農政課	19
12-2 親子で参加・体験できるイベント等の実施	農村振興課	20
13 食生活の改善に必要な情報提供	農政課	21
14 家庭での共食についての啓発	農政課	22
15 在宅時間に有効に活用できる食育情報の提供	農政課	23
16 保育園での食の体験活動	幼児保育課	24
17 幼稚園・小中学校での食の体験活動	学校教育課	25
18 学校における食育活動の充実	学校教育課	26
19 家庭や地域とともに進める食に関する教育活動	学校教育課	27
20 小中学校における特色ある食に関する食育活動の推進	学校教育課	28
21 栄養バランスを意識した食生活の促進(修正あり)	こども家庭センター、健康づくり推進課	29
22 日本型食生活の普及活動	農政課	30
23 地域や職場での共食の有効性の発信	農政課	31
24 郷土料理、食文化の普及を推進する講座の実施	社会教育課	32
25 謙信KIDSプロジェクト	社会教育課	33
26 「発酵のまち上越」の啓発活動	上越ものづくり振興センター	34
27 SNS等を活用した若い世代への郷土料理の継承	農政課	35
28 地場産食材、郷土料理を取り入れた学校給食の推進	教育総務課	36
29 食育関係団体の食育活動の集約と情報発信	農政課	37
30 健康づくり推進協議会の開催	健康づくり推進課	38
31 食育に関する積極的な情報提供	農政課、関係課	39
32 学校給食だよりの発行による情報提供	教育総務課	40
33 「食育月間」や「食育の日」を中心とした食育推進運動	農政課、関係課	41
34 食育実践セミナーの開催	農政課、関係課	42
35 デジタル技術を活用した食育情報の発信	農政課	43
36 食の安全に関する情報発信	健康づくり推進課	44
37 農林水産物等の放射性物質検査等の情報発信	農村振興課、農林水産整備課	45
38 食品表示に関する普及啓発	農村振興課	46
39 地場産物(青果物)を使用した給食の提供	教育総務課、農政課	47
40 上越産農産物等の情報発信	農村振興課	48
41 地産地消推進の店認定事業	農政課	49
42 農産物直売所と消費者のつながり強化	農村振興課	50
43 農林漁業体験活動等の情報提供	農村振興課	51
44 都市・農村交流促進	農村振興課	52
45 環境保全型農業の推進	農政課	53
46 環境と調和した方法で作られた農林水産物や食品の消費喚起	農政課	54
47 食品ロス削減に向けた取組の推進	農政課	55

事業No.及び事業名	1 妊産期の食育推進
事業担当課	こども家庭センター
取組の概要	妊婦が正常な妊娠の維持と出産ができるよう、また妊婦健診の結果に応じた生活がわかり、両親の将来の生活習慣病予防につながる食に関する知識を提供する。

★年度別計画

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業計画	すくすく赤ちゃんセミナーを実施し、妊産婦等へ食育の啓発を行う。				
目 標	低出生体重児の割合の減少				
目標に対する実績	低出生体重児の割合 <u>9.9%</u>	低出生体重児の割合 <u>8.4%</u>	※指標とする令和6年の報告値は、令和8年3月に公表（県母子保健の現況）		
目標達成状況	未達成	達成	—		

★取組状況

主な事業実績	令和5年度	令和6年度
	<ul style="list-style-type: none"> すくすく赤ちゃんセミナーにおいて、妊娠や出産、育児の正しい知識を学び、妊娠期から子どもの成長や発達・育児について考える機会を持ち、子どもが健やかに育つことができるよう支援している。あわせて、妊婦とその家族に対し、食生活の重要性を理解し、生活の中で取り組めるよう支援している。 <p>・低出生体重児の割合 R3年 8.4% R4年 9.9% R5年 8.4%</p>	<ul style="list-style-type: none"> すくすく赤ちゃんセミナーにおいて、妊娠や出産、育児の正しい知識を学び、妊娠期から子どもの成長や発達・育児について考える機会を持ち、子どもが健やかに育つことができるよう支援している。あわせて、妊婦とその家族に対し、食生活の重要性を理解し、生活の中で取り組めるよう支援している。 <p>・低出生体重児の割合 R4年 9.9% R5年 8.4% R6年（市推計値）9.3%</p> <p>※指標とする令和6年の報告値は、令和8年3月に公表（県母子保健の現況）</p>
目標達成状況を踏まえた評価・課題	<p>【評価】 ・低出生体重児の割合は令和4年と比較し、減少している。</p> <p>【課題】 ・妊娠期において食生活の重要性を理解することは、妊婦とその家族だけでなく、出産後の子どもの生涯を通じた健康づくりにも影響を与えることから、引き続き、食生活や生活リズム等の生活習慣の重要性について、理解を深める支援を継続していく必要がある。</p>	<p>【評価】 ・低出生児の割合は令和5年と比較し、市推計値では増加している。</p> <p>※県母子保健の現況の報告をもって最終評価する。</p> <p>【課題】 ・妊娠期において食生活の重要性を理解することは、妊婦とその家族だけでなく、出産後の子どもの生涯を通じた健康づくりにも影響を与えることから、引き続き、食生活や生活リズム等の生活習慣の重要性について、理解を深める支援を継続していく必要がある。</p>

事業No.及び事業名	2-1 乳幼児期の食育推進
事業担当課	こども家庭センター
取組の概要	子どもの成長・発達に応じた食生活についての正しい知識や生活リズムに配慮した健全な食生活について啓発を行う。

★年度別計画

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業計画	乳幼児健診、離乳食相談会、訪問等を実施し、健全な食生活の啓発を行う。				
目 標	【2-1、2-2、2-3共通】肥満、やせの子どもを減らす				
目標に対する実績	肥満児の割合 <u>5.4%</u> やせの割合 <u>0.2%</u>	肥満児の割合 <u>6.0%</u> やせの割合 <u>0.3%</u>	肥満児の割合 <u>6.4%</u> やせの割合 <u>0.1%</u>		
目標達成状況	達成	未達成	概ね達成		

★取組状況

主な事業実績	令和5年度	令和6年度
	<ul style="list-style-type: none"> 離乳食相談会や乳幼児健康診査において、子どもの発育発達にあった食生活や3歳までの適正な体重の伸びについて、健康教育を実施している。また、必要に応じて、個別相談や家庭訪問により保護者への支援を実施している。 肥満傾向児の割合を減らすため、すべての乳幼児健康診査において、肥満度の算出及び成長曲線への記録を行い、保護者自らが子どもの体重の伸びを視覚的に確認するとともに、成長曲線の状況により個別の栄養相談を行っている。また、1歳児健康診査以降の全ての幼児健康診査において、個別の栄養相談による支援を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 離乳食相談会や乳幼児健康診査において、子どもの発育発達にあった食生活や3歳までの適正な体重の伸びについて、健康教育を実施している。また、必要に応じて、個別相談や家庭訪問により保護者への支援を実施している。 肥満傾向児の割合を減らすため、すべての乳幼児健康診査において、肥満度の算出及び成長曲線への記録を行い、保護者自らが子どもの体重の伸びを視覚的に確認するとともに、成長曲線の状況により個別の栄養相談を行っている。また、1歳児健康診査以降の全ての幼児健康診査において、個別の栄養相談による支援を行っている。
目標達成状況を踏まえた評価・課題	<p>【評価】 R4年度と比較し、3歳児健診における肥満傾向及びやせの児の割合はやや増加した。</p> <p>【課題】 ・幼児期の肥満が学童期の肥満につながっていくことから、引き続き、3歳児健康診査までの各健診において、生活リズムや成長発達にあわせた食生活について保健指導を実施していく必要がある。 ・「成長曲線」を活用して保護者自らが子どもの体重の伸びを確認できるよう支援していく必要がある。 ・肥満の改善や生活習慣病予防に向けて、園や学校と課題を共有し、継続して支援していく必要がある。</p>	<p>【評価】 R5年度と比較し、3歳児健診における肥満傾向の割合は増加、やせの児の割合は減少した。</p> <p>【課題】 ・幼児期の肥満が学童期の肥満につながっていくことから、引き続き、3歳児健康診査までの各健診において、生活リズムや成長発達にあわせた食生活について保健指導を実施していく必要がある。 ・「成長曲線」を活用して保護者自らが子どもの体重の伸びを確認できるよう支援していく必要がある。 ・肥満の改善や生活習慣病予防に向けて、園や学校と課題を共有し、継続して支援していく必要がある。</p>

事業No.及び事業名	2-2 乳幼児期の食育推進
事業担当課	幼稚保育課
取組の概要	子どもの成長・発達に応じた食生活についての正しい知識や生活リズムに配慮した健全な食生活について啓発を行う。

★年度別計画

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業計画	・保育園及び認定こども園において、保護者が子の発育状態を視覚的に確認するため、「成長曲線」を活用した取組を行う。 ・肥満傾向の園児には保護者面談等の支援を行う。				
目 標	【2-1、2-2、2-3共通】肥満、やせの子どもを減らす				
目標に対する実績	3歳以上児 肥満の割合 男 3.74% 女 5.86% やせの割合 男 1.2% 女 1.5% ※R4.6調査値 公立保育園（34園）	3歳以上児 肥満の割合 男 5.4% 女 4.7% やせの割合 男 1.0% 女 1.7% ※R5.6調査値 公私立保育園、認定こども園（65園）	3歳以上児 肥満の割合 男 5.2% 女 4.8% やせの割合 男 0.5% 女 1.7% ※R6.6調査値 公私立保育園、認定こども園（65園）		
目標達成状況	—	—	概ね達成		

★取組状況

主な事業実績	令和5年度	令和6年度
	・保育園及び認定こども園において、成長曲線を活用し、保護者が園児の身長・体重を自ら記入し、発育状況と肥満度の確認を実施することを促した。 ・肥満傾向の園児には保育園と地区担当保健師・栄養士が連携し、保護者面談等で幼児期の成長特性を考慮し、生活リズムや食の支援を実施した。	・保育園及び認定こども園において、成長曲線を活用し、保護者が園児の身長・体重を自ら記入し、発育状況と肥満度の確認を実施することを促した。 ・肥満傾向の園児には保育園と地区担当保健師・栄養士が連携し、保護者面談等で幼児期の成長特性を考慮し、生活リズムや食の支援を実施した。
目標達成状況を踏まえた評価・課題	R5年度から公・私立保育園及び認定こども園全園で調査したため、昨年度とのデータの対比は困難と思われる。（母数で2,300人増） ・肥満度が上昇するほど、改善が困難であることから、予防の観点から1~2歳児からの早期介入及び継続的な支援が必要である。 ・肥満、やせの減少に向けて成長曲線を活用しながら適切な時期に保護者と保育園が連携し、園児の生活リズムや食事、運動遊びの支援を充実させる必要がある。	【評価】 ・肥満の割合は横ばいであるが、やせの割合は男児で減少した。 【課題】 ・肥満度が上昇するほど、改善が困難であることから、予防の観点から1~2歳児からの早期介入及び継続的な支援が必要である。 ・肥満、やせの減少に向けて成長曲線を活用しながら適切な時期に保護者と保育園が連携し、園児の生活リズムや食事、運動遊びの支援を充実させる必要がある。

事業No.及び事業名	2-3 乳幼児期の食育推進
事業担当課	学校教育課
取組の概要	子どもの成長・発達に応じた食生活についての正しい知識や生活リズムに配慮した健全な食生活について啓発を行う。

★年度別計画

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業計画	・市立幼稚園において、日常的に紙芝居や絵本などを用いて望ましい食習慣が身に付くよう指導する。 ・「成長曲線」を活用し、肥満傾向にある園児について、保護者と面談して栄養指導等を実施する。				
目 標	【2-1、2-2、2-3共通】肥満、やせの子どもを減らす				
目標に対する実績	3歳以上児 肥満・やせの割合: 前年度からの増加なし ※R4.6月調査値 市立幼稚園（1園）	3歳以上児 肥満・やせの割合: 前年度からの増加なし ※R5.6月調査値 市立幼稚園（1園）	3歳以上児 肥満・やせの割合: 前年度からの増加なし ※R6.6月調査値 市立幼稚園（1園）		
目標達成状況	概ね達成	概ね達成	概ね達成		

★取組状況

主な事業実績	令和5年度	令和6年度
	・市立幼稚園において、成長曲線を活用し、肥満傾向の園児を把握するとともに、その園児に対しては担任と養護教諭が連携し、保護者面談等で生活リズムや望ましい食生活について啓発した。 ・園生活の中で、食育や運動遊びに留意した活動を取り入れた。 ・掲示物や保健だよりなどを通じて、健全な食生活を啓発した。	・市立幼稚園において、成長曲線を活用し、肥満傾向の園児を把握するとともに、その園児に対しては担任と養護教諭が連携し、保護者面談等で生活リズムや望ましい食生活について啓発した。 ・園生活の中で、食育や運動遊びに留意した活動を取り入れた。 ・掲示物や保健だよりなどを通じて、健全な食生活を啓発した。
目標達成状況を踏まえた評価・課題	【評価】 肥満・やせの割合の増加は見られなかった。 ※対象者が少なく個人が特定されるおそれがあるため、数値の公表はしない。	【評価】 肥満・やせの割合の増加は見られなかった。 ※対象者が少なく個人が特定されるおそれがあるため、数値の公表はしない。

事業No.及び事業名	3-1 学童期・思春期の食育推進
事業担当課	健康づくり推進課、学校教育課
取組の概要	学校保健委員会や授業の一環として、自分の体に合わせた食事のとり方等の保健指導を行い、心身の成長や健全な生活習慣を確立するための支援を行う。

★年度別計画

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業計画	学校保健委員会や授業の中で身体の成長や発達にあわせた食事のとり方等について保健指導を行う。				
目 標	保健指導により、食に関する正しい知識を持った児童・生徒を増やす				
目標に対する実績	生活習慣病予防講座実施校 6校 食に関する保健指導の実施 延べ100校	生活習慣病予防講座実施校 8校 食に関する保健指導の実施 延べ97校	生活習慣病予防講座実施校 6校 (のべ8校) 食に関する保健指導の実施 延べ85校		
目標達成状況	概ね達成	概ね達成	概ね達成		

★取組状況

主な事業実績	令和5年度	令和6年度
	<p><健康づくり推進課> 思春期に関しては、生活習慣病予防に関する健康講座を希望した有恒高校、南城高校、高田特別支援学校、吉川高等特別支援学校、高田高校安塚分校、上越総合技術高校、上越特別支援学校、高田商業高校の8校で実施した。講座の内容は養護教諭等と連携し、各学校の生徒の実態にあわせたものを実施した。</p> <p><学校教育課> ・健康づくり推進課と連携し、血液検査事業の一環である血液検査事前指導や事後指導による保健指導を通じて身体の成長や発達にあわせた食事の摂り方等の保健指導を行い、心身の成長や健全な生活習慣を確立するための支援を行った。 ・学校保健委員会や授業の中で、身体の成長や発達にあわせた食事の摂り方等について保健指導を行った。</p>	<p><健康づくり推進課> 思春期に関しては、生活習慣病予防に関する健康講座を希望した有恒高校、南城高校、高田特別支援学校、吉川高等特別支援学校、上越総合技術高校、高田商業高校（3回実施）の6校で実施した。講座の内容は養護教諭等と連携し、各学校の生徒の実態にあわせたものを実施した。</p> <p><学校教育課> ・健康づくり推進課と連携し、血液検査事業の一環である血液検査事前指導や事後指導による保健指導を通じて身体の成長や発達にあわせた食事の摂り方等の保健指導を行い、心身の成長や健全な生活習慣を確立するための支援を行った。 ・学校保健委員会や授業の中で、身体の成長や発達にあわせた食事の摂り方等について保健指導を行った。</p>
目標達成状況を踏まえた評価・課題	<p>【評価】 <健康づくり推進課> 昨年度より2校多く、生活習慣病予防講座を実施することができ、年々、実施校が増えてきた。</p> <p><学校教育課> 保健指導を通じて、食に関する正しい知識を持った児童生徒が増えた。</p> <p>【課題】 <健康づくり推進課> 各学校生徒の実態や課題を養護教諭等と確認しながら、就職や進学等により自立した生活に向かう時期に、将来の見通しを立てながら、自らの生活を振り返り、体の状態にあわせた食の選択力や実践力をつけていく取組を継続していく。また、未実施校や継続実施をされない学校に向けて、取り組んでもらえるよう働きかけを行う。</p> <p><学校教育課> 血液検査をきっかけに他の教育活動の関連付けを図りながら、児童生徒の生活習慣病予防教育を行うよう働きかけを行う。</p>	<p>【評価】 <健康づくり推進課> 閉校した学校もあり、昨年度より2校の減少となつたが、同一校で3回実施するなど、生活習慣病予防講座を複数回実施することができた。</p> <p>【課題】 <健康づくり推進課> 学童期・思春期の肥満が増えてきているため、就職や進学等により自立した生活に向かう時期に、将来の見通しを立てながら、自らの生活を振り返り、体の状態にあわせた食の選択力や実践力をつけていく取組を継続していく。また、関係機関と協力し未実施校や継続実施をされない学校に向けて、取り組んでもらえるよう働きかけを行う。</p> <p><学校教育課> 血液検査をきっかけに他の教育活動の関連付けを図りながら、児童生徒の生活習慣病予防教育を行うよう働きかけを行う。</p>

事業No.及び事業名	3-2 学童期・思春期の食育推進
事業担当課	農政課
取組の概要	高校生の食に対する意識向上を図るために、高等学校の要望に沿った講師を派遣し、部活動やクラス活動、授業等の時間を活用して食育に関する講義や調理実習を行う。

★年度別計画

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業計画	市内高等学校において、高校生の食に対する意識の向上を図る食育に関する講義や調理実習を行う。				
目 標	食育に関する講義や調理実習を行う市内高等学校数 3校以上				
目標に対する実績	食育に関する授業を行った高等学校数 1校	食育に関する授業を行った高等学校数 1校	食育に関する授業を行った高等学校数 2校		
目標達成状況	未達成	未達成	未達成		

★取組状況

主な事業実績	令和5年度	令和6年度
	<p><高等学校における食育実践事業></p> <p>【実施校1校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：7月24日（月） ・場 所：高田城址公園オーレンプラザ調理実習室 ・対 象：県立高田南城高等学校3年生21人 ・講 師：NPO法人食の工房ネットワーク齊京氏 ・内 容：上越地域に伝わる郷土料理（押し寿司）の調理実習（※卒業後の一人暮らしに向けて、自分で調理する力を身に付けられるような内容） 	<p><高等学校における食育実践事業></p> <p>【実施校：県立吉川高等特別支援学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：7月16日（火） ・対 象：県立吉川高等特別支援学校9人 ・講 師： ・内 容：人工甘味料について、食品の選び方について講義を行いながら、調理のデモンストレーション食材を炊飯器に入れてご飯と一緒に炊き込むだけで作れる手軽な自炊メニュー（炊き込みご飯2種類）を紹介 <p>【実施校：県立高田商業高等学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：1月9日（木）～1月21日（火）の間の6日間 ・対 象：県立高田商業高等学校159人 ・講 師：NPO法人食の工房ネットワーク齊京氏、YAGAIYA 信田氏、健康づくり推進課職員 ・内 容：3年生には、食の大切さや将来の健康な食生活についてなどの講義を行い、2年生には、上越地域に伝わる郷土料理（押し寿司）の調理実習を行った。
目標達成状況を踏まえた評価・課題	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施した1校については、学校側の要望に応じ、上越地域に伝わる郷土料理（押し寿司）をテーマに食育実践事業を活用いただき、高校生の食に対する意識向上の場を提供することができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1校のみの実施にとどまったことから、クラブ活動などでも利用してもらえるよう、事業の周知方法等を検討する必要がある。 	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施は2校になったが、高田商業高等学校は6コマ実施することができ、多くの生徒に食育の講座や調理実習を行うことができ、高校生の食に対する意識向上の場を提供することができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2校の実施にとどまったことから、クラブ活動などでも利用してもらえるよう、事業の周知方法等を検討する必要がある。

事業No.及び事業名	4 青年期・壮年期の保健指導事業
事業担当課	健康づくり推進課
取組の概要	自身の食習慣と身体の状況を考え合わせながら、適正な食事量の摂取を心掛け、生活習慣病の予防を啓発する。

★年度別計画

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業計画	健診結果説明会や健康講座、個別訪問など様々な場面で適正な食事量の摂取、生活習慣病予防を働き掛ける。				
目 標	特定保健指導実施率の増加				
目標に対する実績	令和3年度 <u>63.3%</u> 令和4年度 <u>69.6%</u> ※指標とする法定報告値は、翌年12月に公表	令和4年度 <u>69.6%</u> 令和5年度 <u>67.7%</u> ※指標とする法定報告値は、翌年12月に公表	※指標とする法定報告値は、翌年12月に公表		
目標達成状況	達成	概ね達成	一		

★取組状況

主な事業実績	令和5年度	令和6年度
	<ul style="list-style-type: none"> ・健診結果説明会や健康講座、個別訪問など様々な場面で適正な食事量の摂取、生活習慣病予防を働き掛けた。 ・健診結果説明会 令和4年度 <u>271回</u> 参加者数<u>4,829人</u> 令和5年度 <u>266回</u> 参加者数<u>4,499人</u> ・健康講座 令和4年度 <u>236回</u> 参加者数<u>6,521人</u> 令和5年度 <u>263回</u> 参加者数<u>7,989人</u> ・生活習慣病予防の訪問、個別保健指導 令和4年度 <u>延べ9,228人</u> 令和5年度 <u>延べ10,518人</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・健診結果説明会や健康講座、個別訪問など様々な場面で適正な食事量の摂取、生活習慣病予防を働き掛けた。 ・健診結果説明会 令和5年度 <u>266回</u> 参加者数<u>4,499人</u> 令和6年度 <u>242回</u> 参加者数<u>3,357人</u> ・健康講座 令和5年度 <u>263回</u> 参加者数<u>7,989人</u> 令和6年度 <u>182回</u> 参加者数<u>5,351人</u> ・生活習慣病予防の訪問、個別保健指導 令和5年度 <u>延べ10,518人</u> 令和6年度 <u>延べ10,239人</u>
目標達成状況を踏まえた評価・課題	<p>【評価】 健講座の実施回数や生活習慣病予防の訪問、個別指導の人数が増加した。各事業の保健指導により、生活習慣病予防のために、適正な体重や食事量等の必要性について働き掛けることができた。</p> <p>【課題】 対象者が具体的な生活改善を考えていくには、自分の身体の状態を理解することが必要なため、健診受診についての啓発を継続し個別保健指導につなげていく必要がある。</p>	
	<p>【評価】 現時点では、健診結果説明会や健康講座の回数と参加人数、生活習慣病予防の訪問、個別指導の延べ人数は減少している。生活習慣病予防のために、適正な体重や食事量等の必要性について働きかける機会を増やすことを目指す。</p> <p>【課題】 対象者が具体的な生活改善を考えていくには、自分の身体の状態を理解することが必要なため、健診受診についての啓発を継続し個別保健指導につなげていく必要がある。</p>	

事業No.及び事業名	5 高齢期の保健指導事業
事業担当課	健康づくり推進課
取組の概要	高齢期の心身の変化を踏まえ、自身の食習慣と身体の状況を考え合わせながら、健康維持・生活習慣病の重症化予防のために必要な適正な食事量の摂取について啓発する。

★年度別計画

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業計画	健診結果説明会や健康講座、個別訪問など様々な場面で、高齢期における適正な食事量の摂取、生活習慣病予防を働き掛ける。				
目 標	適正体重（日本人食事摂取基準：BMI21.5～24.9）の高齢者（65歳以上）を増やす				
目標に対する実績	令和3年度 41.3% 令和4年度 41.2%	令和4年度 41.2% 令和5年度 40.9%	令和5年度 40.9% 令和6年度 40.2%		
目標達成状況	概ね達成	概ね達成	概ね達成		

★取組状況

主な事業実績	令和5年度		令和6年度
	実績内容	実績目標	実績内容
・健診結果説明会や健康講座、個別訪問など様々な場面で適正な食事量の摂取、生活習慣病予防を働き掛けた。 ・高齢者を対象とした健康講座 令和4年度 100回 参加者数 1,234人 令和5年度 95回 参加者数 1,471人 ・後期高齢者の生活習慣病重症化予防対象者（高血圧、糖尿病、心房細動）への保健指導 令和4年度 延べ838人 令和5年度 延べ1,015人			・健診結果説明会や健康講座、個別訪問など様々な場面で適正な食事量の摂取、生活習慣病予防を働き掛けた。 ・高齢者を対象とした健康講座 令和5年度 95回 参加者数 1,471人 令和6年度 110回 参加者数 1,653人 ・後期高齢者の生活習慣病重症化予防対象者（高血圧、糖尿病、心房細動）への保健指導 令和5年度 延べ1,015人 令和6年度 延べ1,147人
【評価】 健康講座参加者、保健指導実施者数が増加した。各事業の保健指導により、生活習慣病予防のために、適正な体重や食事量等の必要性について働き掛けることができた。		【評価】 健康講座参加者、保健指導実施者数が増加した。各事業の保健指導により、生活習慣病予防のために、適正な体重や食事量等の必要性について働き掛けることができた。	
【課題】 生活習慣病の重症化予防、介護予防のため、青年期・壮年期と同様に高齢期においても健診受診や保健指導の取組を継続していく必要がある。		【課題】 生活習慣病の重症化予防、介護予防のため、青年期・壮年期と同様に高齢期においても健診受診や保健指導の取組を継続していく必要がある。	

事業No.及び事業名	6-1 健全な食生活の推進
事業担当課	こども家庭センター、健康づくり推進課
取組の概要	各ライフステージの様々な場面で生活リズムに配慮した健全な食生活について啓発する。

★年度別計画

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業計画	各ライフステージで行われる健康教育の中で、朝食をきちんととることの必要性を啓発する。				
目 標	【6-1、6-2、6-3共通】朝食を欠食する市民を減らす 小学生 0% 中学生 0% 若い世代 一	【6-1、6-2、6-3共通】朝食を欠食する市民を減らす 小学生 0% 中学生 0% 若い世代 6.8%	【6-1、6-2、6-3共通】朝食を欠食する市民を減らす 小学生 0% 中学生 0% 若い世代 一	【6-1、6-2、6-3共通】朝食を欠食する市民を減らす 小学生 0% 中学生 0% 若い世代 6.2%	【6-1、6-2、6-3共通】朝食を欠食する市民を減らす 小学生 0% 中学生 0% 若い世代 6.0%
目標に対する実績	朝食を欠食する市民の割合 小学生 <u>3.1%</u> 中学生 <u>5.4%</u> 若い世代 一	朝食を欠食する市民を減らす 小学生 <u>3.2%</u> 中学生 <u>6.5%</u> 若い世代 <u>11.3%</u>	朝食を欠食する市民を減らす 小学生 <u>3.1%</u> 中学生 <u>5.4%</u> 若い世代 一		
目標達成状況	未達成	未達成	未達成		

★取組状況

主な事業実績	令和5年度	令和6年度
	妊娠期（すくすく赤ちゃんセミナー）、乳幼児期（各乳幼児健康診査、相談会）、学童期（小中学校血液検査事業、学校保健委員会等）、思春期（高校健康講座）、成人期・高齢期（企業での健康教育、各地区健康講座等）において、各ライフステージの特性を踏まえ、体のリズムと朝食を摂ることの必要性に関する健康教育を実施している。	妊娠期（すくすく赤ちゃんセミナー）、乳幼児期（各乳幼児健康診査、相談会）、学童期（小中学校血液検査事業、学校保健委員会等）、思春期（高校健康講座）、成人期・高齢期（企業での健康教育、各地区健康講座等）において、ライフコースアプローチを踏まえ、体のリズムと朝食を摂ることの必要性に関する健康教育を実施している。
目標達成状況を踏まえた評価・課題	<p>【評価】 すくすく赤ちゃんセミナーや企業の健康講座の参加者等の若い世代に朝食欠食の傾向が見られる。</p> <p>【課題】 乳幼児期からの肥満や生活習慣病の発症が懸念されることや、低栄養による要介護状態も懸念されることから、各ライフステージの特性を踏まえ、様々な場面を通じて健全な食生活についての健康教育を継続して実施する必要がある。</p>	<p>【評価】 すくすく赤ちゃんセミナーや企業の健康講座の参加者等の若い世代に朝食欠食の傾向が見られる。</p> <p>【課題】 幼児期からの肥満や生活習慣病の発症が懸念されることや、低栄養による要介護状態も懸念されることから、ライフコースアプローチを踏まえ、様々な場面を通じて健全な食生活についての健康教育を継続して実施する必要がある。</p>

事業No.及び事業名	6-2 健全な食生活の推進
事業担当課	幼児保育課
取組の概要	保育園での様々な場面で生活リズムに配慮した健全な食生活について啓発する。

★年度別計画

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業計画	保育園で行う「健康教育講座」や「家庭用給食だより」、「食育集会」等の中で、朝食をきちんととることの必要性を啓発する。				
目 標	【6-1、6-2、6-3共通】朝食を欠食する市民を減らす 小学生 0% 中学生 0% 若い世代 一	【6-1、6-2、6-3共通】朝食を欠食する市民を減らす 小学生 0% 中学生 0% 若い世代 6.8%	【6-1、6-2、6-3共通】朝食を欠食する市民を減らす 小学生 0% 中学生 0% 若い世代 一	【6-1、6-2、6-3共通】朝食を欠食する市民を減らす 小学生 0% 中学生 0% 若い世代 6.2%	【6-1、6-2、6-3共通】朝食を欠食する市民を減らす 小学生 0% 中学生 0% 若い世代 6.0%
目標に対する実績	朝食を欠食する市民の割合 小学生 <u>3.1%</u> 中学生 <u>5.4%</u> 若い世代 一	朝食を欠食する市民を減らす <u>小学生 3.2%</u> <u>中学生 6.5%</u> <u>若い世代 11.3%</u>	朝食を欠食する市民を減らす <u>小学生 3.1%</u> <u>中学生 5.4%</u> <u>若い世代 一</u>		
目標達成状況	未達成	未達成	未達成		

★取組状況

	令和5年度		令和6年度
	主な事業実績	目標達成状況を踏まえた評価・課題	
	<ul style="list-style-type: none"> 公立保育園において地区担当保健師・栄養士が保護者や祖父母を対象に園児の生活リズムや食生活に関する健康教育講座を年1回実施した。 また各園で実施される「食育集会」では園児に朝食をとることの必要性の啓発を実施した。 家庭配布用給食だよりや各園で作成する食育だよりで朝食をとることの必要性に関する内容について啓発を実施した。 	<p>【評価】 目標に対する実績測定値がないため評価不可</p> <p>【課題】 ・朝食に菓子パン、菓子、ふりかけご飯等の単品のみ食べて登園する園児がいることから、今後は「朝食の質の向上」に向けて食品の選択や組み合わせについて啓発していく必要がある。 ・引き続き、園児・保護者・祖父母に向けた健康教育講座や食育集会の取組を継続し、朝食摂取の必要性について啓発を継続的に実施する必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 公立保育園において地区担当保健師・栄養士が保護者や祖父母を対象に園児の生活リズムや食生活に関する健康教育講座を年1回実施した。 また各園で実施される「食育集会」では園児に朝食をとることの必要性の啓発を実施した。 家庭配布用給食だよりや各園で作成する食育だよりで朝食をとることの必要性に関する内容について啓発を実施した。 <p>【評価】 目標に対する乳幼児の実績測定値がないため評価不可</p> <p>【課題】 ・朝食に菓子パン、菓子、ふりかけご飯等の単品のみ食べて登園する園児がいることから、今後は「朝食の質の向上」に向けて食品の選択や組み合わせについて啓発していく必要がある。 ・引き続き、園児・保護者・祖父母に向けた健康教育講座や食育集会の取組を継続し、朝食摂取の必要性について啓発を継続的に実施する必要がある。</p>

事業No.及び事業名	6-3 健全な食生活の推進
事業担当課	学校教育課
取組の概要	全ての小中学校の様々な場面で生活リズムに配慮した健全な食生活について啓発する。

★年度別計画

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業計画	全ての小中学校で行う「給食時の放送」や「給食だより」等の中で、朝食をきちんととることの必要性を啓発する。				
目 標	【6-1、6-2、6-3共通】朝食を欠食する市民を減らす。 小学生 0% 中学生 0% 若い世代 一	【6-1、6-2、6-3共通】朝食を欠食する市民を減らす。 小学生 0% 中学生 0% 若い世代 6.8%	【6-1、6-2、6-3共通】朝食を欠食する市民を減らす。 小学生 0% 中学生 0% 若い世代 一	【6-1、6-2、6-3共通】朝食を欠食する市民を減らす。 小学生 0% 中学生 0% 若い世代 6.2%	【6-1、6-2、6-3共通】朝食を欠食する市民を減らす。 小学生 0% 中学生 0% 若い世代 6.0%
目標に対する実績	朝食を欠食する市民の割合 小学生 <u>3.1%</u> 中学生 <u>5.4%</u> 若い世代 一	朝食を欠食する市民を減らす 小学生 <u>3.2%</u> 中学生 <u>6.5%</u> 若い世代 <u>11.3%</u>	朝食を欠食する市民を減らす 小学生 <u>3.1%</u> 中学生 <u>5.4%</u> 若い世代 一		
目標達成状況	未達成	未達成	未達成		

★取組状況

主な事業実績	令和5年度	令和6年度
	全ての小中学校で行う「給食時の放送」や「給食だより」等の中で、朝食の大切さを啓発した。 必要に応じて個別の保健指導や食に関する指導を実施した。	全ての小中学校で行う「給食時の放送」や「給食だより」等の中で、朝食の大切さを啓発した。 必要に応じて個別の保健指導や食に関する指導を実施した。
目標達成状況を踏まえた評価・課題	令和5年度の結果 朝食を欠食する割合（全く食べない+あまり食べない） 小学生 3.2% 中学生 6.5% 令和4年度との比較としては、小学生0.1%増、中学生1.1%増であり、一定数の割合に朝食欠食が見られる。	令和6年度の結果 朝食を欠食する割合（全く食べない+あまり食べない） 小学生 <u>3.1%</u> 中学生 <u>5.4%</u> 令和5年度との比較としては、小学生0.1%減、中学生1.1%減であるが、一定数の割合に朝食欠食が見られる。
	児童生徒の朝食欠食の改善を図るため、朝食を欠食してしまう背景を探りつつ、朝食をきちんととることの大切さを引き続き啓発していく必要がある。	児童生徒の朝食欠食の改善を図るため、朝食を欠食してしまう背景を探りつつ、朝食をきちんととることの大切さを引き続き啓発していく必要がある。

事業No.及び事業名	7-1 歯科保健事業の推進
事業担当課	こども家庭センター、健康づくり推進課
取組の概要	各ライフステージの様々な場面でよく噛んで食べる習慣について啓発する。

★年度別計画

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業計画	各ライフステージで行われる歯科保健教育の中で、よく噛んで食べることの重要性を啓発する。				
目 標	【7-1、7-2、7-3共通】虫歯のない児童・生徒の割合を増やす。 3歳：95%以上 12歳：90%以上 17歳：80%以上				
目標に対する実績	虫歯のない児童・生徒の割合 3歳：96.2% 12歳：91.4% 17歳：81.5%	虫歯のない児童・生徒の割合 3歳：96.3% 12歳：90.8% 17歳：82.2%	虫歯のない児童・生徒の割合 3歳：96.3% 12歳：92.6% 17歳：85.4%		
目標達成状況	達成	達成	達成		
目 標	【7-1、7-2、7-3共通】ゆっくりよく噛んで食べる市民を増やす。 (食育市民アンケート結果) —	【7-1、7-2、7-3共通】ゆっくりよく噛んで食べる市民を増やす。 (食育市民アンケート結果) 55%	【7-1、7-2、7-3共通】ゆっくりよく噛んで食べる市民を増やす。 (食育市民アンケート結果) —	【7-1、7-2、7-3共通】ゆっくりよく噛んで食べる市民を増やす。 (食育市民アンケート結果) 65%	【7-1、7-2、7-3共通】ゆっくりよく噛んで食べる市民を増やす。 (食育市民アンケート結果) 70%
目標に対する実績	食育市民アンケートを実施しないため、目標に対する測定不可	ゆっくりよく噛んで食べる市民の割合 (食育市民アンケート結果) 47.9%	食育市民アンケートを実施しないため、目標に対する測定不可		
目標達成状況	—	未達成	—		

★取組状況

主な事業実績	令和5年度	令和6年度
	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診等において、オーラルトレーニングや生活リズムと食習慣の形成について啓発。また、歯科健診と個別ブラッシング指導、希望者へのフッ化物塗布を実施。 ・高等学校における歯肉炎予防講座において、定期的な歯科健診や歯間部清掃のすすめ、ブラッシング指導を実施。 ・成人歯科健康診査において、歯科健診と口腔ケアについて指導。 ・保育園や地域における歯周病予防講座において、年代に応じた歯周病の発症予防やオーラルフレイについて啓発。 	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診等において、オーラルトレーニングや生活リズムと食習慣の形成について啓発。また、歯科健診と個別ブラッシング指導、希望者へのフッ化物塗布を実施。 ・成人歯科健康診査において、歯科健診と口腔ケアについて指導。 ・高等学校における歯肉炎予防講座、保育園における歯周病予防講座において、歯科衛生士による指導、普及啓発実施。
目標達成状況を踏まえた評価・課題	<p>【評価】 虫歯のない児童・生徒の割合は増加傾向である。</p> <p>【課題】 乳幼児健診や離乳食相談会における相談では、「野菜を食べない」や「噛まずに丸飲みをしてしまう」という内容が多く、口腔機能の獲得に必要な食習慣の形成が重要である。歯と口腔の健康を守るために、引き続き関係機関と連携を図り、ライフステージごとの課題に応じた保健指導や、定期的な歯科受診の必要性等の啓発を行う。</p>	<p>【評価】 ・歯肉炎予防講座等で普及啓発を実施した。</p> <p>【課題】 乳幼児健診や離乳食相談会における相談では、「野菜を食べない」や「噛まずに丸飲みをしてしまう」という内容が多く、口腔機能の獲得に必要な食習慣の形成が重要である。歯と口腔の健康を守るために、引き続き関係機関と連携を図り、ライフステージごとの課題に応じた保健指導や、定期的な歯科受診の必要性等の啓発を行う。</p>

事業No.及び事業名	7-2 歯科保健事業の推進
事業担当課	幼稚保育課
取組の概要	保育園の様々な場面でよく噛んで食べる習慣について啓発する。

★年度別計画

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業計画	・保育園及び認定こども園に歯科衛生士等を派遣し、よく噛んで食べることの重要性を啓発する。 ・給食の時間において、園児がよく噛んで食べることができるよう支援する。				
目 標	【7-1、7-2、7-3共通】虫歯のない児童・生徒の割合を増やす。 3歳：95%以上 12歳：90%以上 17歳：80%以上				
目標に対する実績	虫歯のない児童・生徒の割合 3歳： <u>96.2%</u> 12歳： <u>91.4%</u> 17歳： <u>81.5%</u>	虫歯のない児童・生徒の割合 3歳： <u>96.3%</u> 12歳： <u>90.8%</u> 17歳： <u>82.2%</u>	虫歯のない児童・生徒の割合 3歳： <u>96.3%</u> 12歳： <u>92.6%</u> 17歳： <u>85.4%</u>		
目標達成状況	達成	達成	達成		
目 標	【7-1、7-2、7-3共通】ゆっくりよく噛んで食べる市民を増やす。 (食育市民アンケート結果) —	【7-1、7-2、7-3共通】ゆっくりよく噛んで食べる市民を増やす。 (食育市民アンケート結果) 55%	【7-1、7-2、7-3共通】ゆっくりよく噛んで食べる市民を増やす。 (食育市民アンケート結果) —	【7-1、7-2、7-3共通】ゆっくりよく噛んで食べる市民を増やす。 (食育市民アンケート結果) 65%	【7-1、7-2、7-3共通】ゆっくりよく噛んで食べる市民を増やす。 (食育市民アンケート結果) 70%
目標に対する実績	食育市民アンケートを実施しないため、目標に対する測定不可	ゆっくりよく噛んで食べる市民の割合 (食育市民アンケート結果) 47.9%	食育市民アンケートを実施しないため、目標に対する測定不可		
目標達成状況	—	未達成	—		

★取組状況

主な事業実績	保育園及び認定こども園に歯科衛生士等を派遣し、園児と保護者に歯の大切さの講話とブラッシング指導を実施した。	令和6年度
		保育園及び認定こども園に歯科衛生士等を派遣し、園児と保護者に歯の大切さの講話とブラッシング指導を実施した。
目標達成状況を踏まえた評価・課題	【評価】 概ね計画通り実施した。 【課題】 引き続き、保育園及び認定こども園での取組を継続していく。	【評価】 概ね計画通り実施した。 【課題】 引き続き、保育園及び認定こども園での取組を継続していく。

事業No.及び事業名	7-3 歯科保健事業の推進
事業担当課	学校教育課
取組の概要	市立幼稚園、小中学校の様々な場面でよく噛んで食べる習慣について啓発する。

★年度別計画

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業計画	・市立幼稚園、小中学校に歯科衛生士等を派遣し、ブランシング指導や健康な歯を保つための取組を行う。 ・給食の時間において、園児及び児童・生徒がよく噛んで食べることができるよう指導する。				
目 標	【7-1、7-2、7-3共通】虫歯のない児童・生徒の割合を増やす。 3歳：95%以上 12歳：90%以上 17歳：80%以上				
目標に対する実績	虫歯のない児童・生徒の割合 3歳： <u>96.2%</u> 12歳： <u>91.4%</u> 17歳： <u>81.5%</u>	虫歯のない児童・生徒の割合 3歳： <u>96.3%</u> 12歳： <u>90.8%</u> 17歳： <u>82.2%</u>	虫歯のない児童・生徒の割合 3歳： <u>96.3%</u> 12歳： <u>92.6%</u> 17歳： <u>85.4%</u>		
目標達成状況	達成	達成	達成		
目 標	【7-1、7-2、7-3共通】ゆっくりよく噛んで食べる市民を増やす。 (食育市民アンケート結果) —	【7-1、7-2、7-3共通】ゆっくりよく噛んで食べる市民を増やす。 (食育市民アンケート結果) 55%	【7-1、7-2、7-3共通】ゆっくりよく噛んで食べる市民を増やす。 (食育市民アンケート結果) —	【7-1、7-2、7-3共通】ゆっくりよく噛んで食べる市民を増やす。 (食育市民アンケート結果) 65%	【7-1、7-2、7-3共通】ゆっくりよく噛んで食べる市民を増やす。 (食育市民アンケート結果) 70%
目標に対する実績	食育市民アンケートを実施しないため、目標に対する測定不可	ゆっくりよく噛んで食べる市民の割合 (食育市民アンケート結果) <u>47.9%</u>	食育市民アンケートを実施しないため、目標に対する測定不可		
目標達成状況	—	未達成	—		

★取組状況

主な事業実績	令和5年度	
	・市立幼稚園、小中学校に歯科衛生士等を派遣し、歯の大切さの講話とブランシング指導を実施した。 ・給食の時間において、園児及び児童・生徒がよく噛んで食べることの指導を実施した。 ・市立幼稚園においては、「にいがた健口文化推進月間」に合わせ、よくかんで食べることについて、集会における指導や掲示物による啓発を行った。	・市立幼稚園、小・中学校に歯科衛生士等を派遣し、口の中の健康に係わる講話とブランシング指導を実施した。 ・園児及び児童・生徒の給食の時間において、よく噛んで食べることの大切さについて指導した。 ・市立幼稚園においては、「にいがた健口文化推進月間」に合わせ、よくかんで食べることについて、集会における指導や掲示物による啓発を行った。
目標達成状況を踏まえた評価・課題	【評価】 全ての市立幼稚園、小中学校で事業を実施した。 参考：12歳むし歯有病者率 R4 9.4% (R3 11.2%)	すべての市立幼稚園及び小・中学校において、歯科衛生士派遣事業を実施した。 参考：12歳のむし歯有病者率 R5 10.1% (R4 市9.4% 県11.0%)
	【課題】 引き続き、市立幼稚園、小中学校での取組を継続していく必要がある。	引き続き、市立幼稚園、小・中学校における歯科保健の取組を継続していく必要がある。

事業No.及び事業名	8 メタボリックシンドロームの予防・改善
事業担当課	健康づくり推進課
取組の概要	メタボリックシンドロームにより引き起こされる可能性が高まる様々な病気やその原因と予防、改善について啓発する。

★年度別計画

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業計画	健診結果説明会や健康講座等でメタボリックシンドロームの予防・改善方法について啓発する。				→
目 標	メタボリックシンドローム該当者、予備群の割合の減少				→
目標に対する実績	<ul style="list-style-type: none"> ・メタボリックシンドローム該当者の割合 <u>16.5%</u> ・メタボリックシンドローム予備群の割合 <u>7.6%</u> ※上越市第2次健康増進計画資料 	<ul style="list-style-type: none"> ・メタボリックシンドローム該当者の割合 <u>17.2%</u> ・メタボリックシンドローム予備群の割合 <u>7.0%</u> 	※指標とする法定報告値は、翌年12月に公表		
目標達成状況	概ね達成	概ね達成	一		

★取組状況

主な事業実績	令和5年度		令和6年度
	<メタボリックシンドロームに関する健診項目の改善割合>		
<p>健診結果説明会等でメタボリックシンドロームのメカニズムについて説明し、予防や改善について啓発を行っている。</p> <p><メタボリックシンドロームに関する健診項目の改善割合></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高血圧Ⅱ度以上者 令和5年度 61.9% ・HbA1c6.5%以上者 令和5年度 36.3% ・LDLコレステロール140mg/dl以上者 令和5年度 43.9% 		<p>健診結果説明会等でメタボリックシンドロームのメカニズムについて説明し、予防や改善について啓発を行っている。</p> <p><メタボリックシンドロームに関する健診項目の改善割合></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高血圧Ⅱ度以上者 令和6年度 62.7% ・HbA1c6.5%以上者 令和6年度 45.6% ・LDLコレステロール140mg/dl以上者 令和6年度 47.7% 	
目標達成状況を踏まえた評価・課題	<p>【評価】 メタボリックシンドロームに関する健診結果の基準値以上の検査数値の改善割合は高血圧Ⅱ度以上者は横ばいの状況であるが、他の項目のHbA1cは7.2ポイント、LDLコレステロールは9.6ポイントの減少となった。</p> <p>【課題】 今後も引き続き、訪問や健診結果説明会などで保健指導を実施し、有所見者の生活習慣改善や医療機関への受診勧奨を促す。</p>		<p>【評価】 メタボリックシンドロームに関する健診結果の基準値以上の検査数値の改善割合は高血圧Ⅱ度以上者が0.8ポイント、HbA1cが9.3ポイント、LDLコレステロール3.8ポイントの改善となった。</p> <p>【課題】 今後も引き続き、訪問や健診結果説明会などで保健指導を実施し、有所見者の生活習慣改善や医療機関への受診勧奨を促す。</p>

事業No.及び事業名	9 適正体重維持の推進
事業担当課	健康づくり推進課
取組の概要	肥満や痩せすぎにより引き起こされる可能性が高まる様々な病気やその原因と予防、改善について啓発する。

★年度別計画

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業計画	健診結果説明会や健康講座等で肥満の予防・改善方法について啓発する。				
目 標	適正体重を維持している市民を増やす 男性 50% 女性 45%				
目標に対する実績	適正体重を維持している市民を増やす 男性 48.7% 女性 44.9%	適正体重を維持している市民を増やす 男性 47.8% 女性 44.6%	適正体重を維持している市民を増やす 男性 49.0% 女性 44.5%		
目標達成状況	未達成	未達成	未達成		

★取組状況

主な事業実績	令和5年度	令和6年度																
	<p>健診結果説明会等で、1日の食品基準量の展示を行い、基準量以上の飲食や摂取する食品の種類に偏りがないかなど食生活を振り返り、肥満の予防・改善についての啓発を行っている。</p> <p>＜適正体重を維持している人の割合＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・20歳代～60歳代の男性 <u>令和5年度 47.8%</u> ・20歳代～60歳代の女性 <u>令和5年度 44.6%</u> 	<p>健診結果説明会等で、1日の食品基準量の展示を行い、基準量以上の飲食や摂取する食品の種類に偏りがないかなど食生活を振り返り、肥満の予防・改善についての啓発を行っている。</p> <p>＜適正体重を維持している人の割合＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・20歳代～60歳代の男性 <u>令和6年度 49.0%</u> ・20歳代～60歳代の女性 <u>令和6年度 44.5%</u> 																
目標達成状況を踏まえた評価・課題	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適正体重を維持している人の割合は、昨年度と同水準であり、横ばいの状態である。 ・令和2年4月から「日本人の食事摂取基準」に高齢者の低栄養予防・フレイル予防が加わり、65歳以上のBMI下限が引き上げられ、各年代の目標とするBMIの範囲が示されたため新基準で記載をする。 <p>＜令和3年度以降のBMI値＞</p> <table> <tr><td>20歳～60歳代</td><td>=18.5～24.9</td></tr> <tr><td>20歳～49歳</td><td>=18.5～24.9</td></tr> <tr><td>50歳～64歳</td><td>=20.0～24.9</td></tr> <tr><td>65歳～69歳</td><td>=21.5～24.9</td></tr> </table> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男性の肥満の割合が多い。 ・男性の20歳から64歳の働き盛り世代の適正体重の割合が、減少傾向にある。 ・肥満者の中には、食事以外の嗜好品の摂取状況にも課題があることから、菓子や清涼飲料水、酒類などの嗜好品等の摂取状況を確認し食習慣の改善に結びつくように支援していく。 	20歳～60歳代	=18.5～24.9	20歳～49歳	=18.5～24.9	50歳～64歳	=20.0～24.9	65歳～69歳	=21.5～24.9	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適正体重を維持している人の割合は、男性は1.2ポイント改善し、女性は昨年度とほぼ同水準である。 ・令和2年4月から「日本人の食事摂取基準」に高齢者の低栄養予防・フレイル予防が加わり、65歳以上のBMI下限が引き上げられ、各年代の目標とするBMIの範囲が示されたため新基準で記載をする。 <p>＜令和3年度以降のBMI値＞</p> <table> <tr><td>20歳～60歳代</td><td>=18.5～24.9</td></tr> <tr><td>20歳～49歳</td><td>=18.5～24.9</td></tr> <tr><td>50歳～64歳</td><td>=20.0～24.9</td></tr> <tr><td>65歳～69歳</td><td>=21.5～24.9</td></tr> </table> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男性の肥満の割合が多い。 ・女性の20歳から64歳の働き盛り世代の適正体重の割合は減少傾向にある。 ・肥満者の中には、食事以外の嗜好品の摂取状況にも課題があることから、菓子や清涼飲料水、酒類などの嗜好品等の摂取状況を確認し食習慣の改善に結びつくように支援していく。 	20歳～60歳代	=18.5～24.9	20歳～49歳	=18.5～24.9	50歳～64歳	=20.0～24.9	65歳～69歳	=21.5～24.9
20歳～60歳代	=18.5～24.9																	
20歳～49歳	=18.5～24.9																	
50歳～64歳	=20.0～24.9																	
65歳～69歳	=21.5～24.9																	
20歳～60歳代	=18.5～24.9																	
20歳～49歳	=18.5～24.9																	
50歳～64歳	=20.0～24.9																	
65歳～69歳	=21.5～24.9																	

事業No.及び事業名	10 生活習慣病の予防
事業担当課	こども家庭センター、健康づくり推進課
取組の概要	健診結果から対象者を特定し、各種教室を開催することにより、生活習慣病の予防の普及・啓発を行う。

★年度別計画

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業計画	各種教室を開催し、生活習慣病の予防について普及・啓発する。				
目 標	生活習慣病の予防や改善のためにふだんから適正体重や減塩等に気を付けた食生活を実践している市民を増やす (食育市民アンケート結果) —	生活習慣病の予防や改善のためにふだんから適正体重や減塩等に気を付けた食生活を実践している市民を増やす (食育市民アンケート結果) 60%以上	生活習慣病の予防や改善のためにふだんから適正体重や減塩等に気を付けた食生活を実践している市民を増やす (食育市民アンケート結果) —	生活習慣病の予防や改善のためにふだんから適正体重や減塩等に気を付けた食生活を実践している市民を増やす (食育市民アンケート結果) 64%以上	生活習慣病の予防や改善のためにふだんから適正体重や減塩等に気を付けた食生活を実践している市民を増やす (食育市民アンケート結果) 66%以上
目標に対する実績	食育市民アンケートを実施しないため、目標に対する測定不可	生活習慣病の予防や改善のためにふだんから適正体重や減塩等に気を付けた食生活を実践している市民を増やす (食育市民アンケート結果) <u>55.7%</u>	食育市民アンケートを実施しないため、目標に対する測定不可		
目標達成状況	—	未達成	—		

★取組状況

主な事業実績	令和5年度	令和6年度
	<ul style="list-style-type: none"> 糖尿病の発症リスクのある人を対象に糖負荷検査を3コース（1コース2回）、動脈硬化の危険因子を持つ特定保健指導該当者等に、頸動脈エコー・尿中アルブミン検査を随時実施している。 令和5年度検査実施者数：67人 妊婦健診結果から将来の血管や臓器の障害を予防するため、個別訪問等を実施。 令和5年度訪問・面談数：35件（対象者数35件） 	<ul style="list-style-type: none"> 糖尿病の発症リスクのある人を対象に糖負荷検査を3コース（1コース2回）を実施している。 令和6年度検査実施者数：19人 (頸動脈エコー・尿中アルブミン検査が令和5年度で事業終了となり実施者数の減少となった) 妊婦健診結果から将来の血管や臓器の障害を予防するため、個別訪問等を実施。 令和6年度訪問・面談数： 38件（対象者数38件）
目標達成状況を踏まえた評価・課題	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病予防講座に参加した人に対しては、個々の健診結果に合わせて、食生活などの生活習慣の見直しに繋がる丁寧な保健指導を実施した。 妊婦健診結果からの妊婦への生活習慣病予防では、面談や訪問を通して保健指導を実施した。 <p>【課題】</p> <p>生活習慣病予防や改善のために、各年代の様々な機会を通して、妊娠（胎児）期から高齢期までの生涯を通じた（ライフコースアプローチ）生活習慣病予防のために、減塩や適正体重のための食事量等を継続して啓発していく必要がある。</p>	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病予防講座に参加した人に対しては、個々の健診結果や遺伝・生活歴に合わせ、食生活や運動などの生活習慣の見直しに繋がる丁寧な保健指導を実施した。 妊婦健診結果からの妊婦への生活習慣病予防では、面談や訪問を通して保健指導を実施した。 <p>【課題】</p> <p>生活習慣病予防や改善のために、各年代の様々な機会を通して、妊娠（胎児）期から高齢期までの生涯を通じた（ライフコースアプローチ）生活習慣病予防のために、減塩や適正体重のための食事量等を継続して啓発していく必要がある。</p>

事業No.及び事業名	1.1 身体活動や運動習慣の確立
事業担当課	健康づくり推進課
取組の概要	各ライフステージの様々な場面で運動習慣の確立を働き掛ける。

★年度別計画

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業計画	各ライフステージで行われる健康教育の中で、運動習慣の確立を働き掛ける。				
目 標	健診訪問項目で30分以上の運動を週2回以上、1年以上実施している人の割合を増やす。 28%	健診訪問項目で30分以上の運動を週2回以上、1年以上実施している人の割合を増やす。 28%	健診訪問項目で30分以上の運動を週2回以上、1年以上実施している人の割合を増やす。 29%	健診訪問項目で30分以上の運動を週2回以上、1年以上実施している人の割合を増やす。 29%	健診訪問項目で30分以上の運動を週2回以上、1年以上実施している人の割合を増やす。 30%
目標に対する実績	健診訪問項目で30分以上の運動を週2回以上、1年以上実施している人の割合 20～64歳 <u>27.3%</u> 65～74歳 <u>38.4%</u> 20～74歳 <u>35.5%</u>	健診訪問項目で30分以上の運動を週2回以上、1年以上実施している人の割合 20～64歳 <u>24.1%</u> 65～74歳 <u>36.8%</u> 20～74歳 <u>33.2%</u>	健診訪問項目で30分以上の運動を週2回以上、1年以上実施している人の割合 20～64歳 <u>26.0%</u> 65～74歳 <u>37.3%</u> 20～74歳 <u>33.7%</u>		
目標達成状況	達成	達成	達成		

★取組状況

主な事業実績	令和5年度	令和6年度
	<p>市健康増進計画を踏まえ、事業を上越市運動普及推進員協議会に委託し、広く市民に身体活動・運動習慣の定着につながるよう支援している。</p> <p>＜令和5年度＞ 委託事業（運動普及活動・体力測定活動） : 164回 <u>3,777人</u> 自主活動 : <u>456回 5,987人</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・健診問診項目で「30分以上の運動を週2回以上、1年以上実施している人」の割合 20～64歳 : <u>24.1%</u> (前年比3.2ポイント減) 65～74歳 : <u>36.8%</u> (前年比1.6ポイント減) ・健診問診項目（後期）「ウォーキング等の運動を週に1回以上している人」の割合 75歳以上 : <u>49.4%</u> (前年と同数) 	<p>市健康増進計画を踏まえ、事業を上越市運動普及推進員協議会に委託し、広く市民に身体活動・運動習慣の定着につながるよう支援している。</p> <p>＜令和6年度＞ 委託事業（運動普及活動・体力測定活動） : 164回 <u>3,845人</u> 自主活動 : <u>394回 5,209人</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・健診問診項目で「30分以上の運動を週2回以上、1年以上実施している人」の割合 20～64歳 : <u>26.0%</u> (前年比1.9ポイント増) 65～74歳 : <u>37.3%</u> (前年比0.5ポイント増) ・健診問診項目（後期）「ウォーキング等の運動を週に1回以上している人」の割合 75歳以上 : <u>49.7%</u> (前年比0.3ポイント増)
今後の課題 ・反省点	<p>【評価】 目標値は達成できているが、全年代で継続的に運動を実施している人の割合が減少した。</p> <p>【課題】 20～64歳と65歳以上を比較すると、若い世代・働き盛り世代の「継続的な運動実施割合」が低く、身体活動・運動習慣の普及啓発を継続して実施する必要がある。</p>	<p>【評価】 目標値を達成し、全年代で継続的に運動を実施している人の割合も増加している。</p> <p>【課題】 20～64歳と65歳以上を比較すると、若い世代・働き盛り世代の割合が低く、身体活動・運動習慣の普及啓発を継続して実施する必要がある。</p>

事業No.及び事業名	12-1 親子で参加・体験できるイベント等の実施
事業担当課	農政課
取組の概要	親子で参加できる食に関する体験活動を実施し、親と子が食への関心を高め、理解を深める機会を提供する。

★年度別計画

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業計画	食育フェアや食育実践セミナーにおいて、親子で参加できる食に関する体験の機会を設ける。				
目 標	親子で参加できる食に関する体験の場の提供 年2回以上				
目標に対する実績	親子で参加できる食に関する体験の場の提供 年2回	親子で参加できる食に関する体験の場の提供 年2回	親子で参加できる食に関する体験の場の提供 年2回		
目標達成状況	達成	達成	達成		

★取組状況

主な事業実績	令和5年度	令和6年度
	<ul style="list-style-type: none"> 6月の食育月間にあわせ、6月17日（土）に高田城址公園オーレンプラザを会場に食育実践セミナーを開催し、親子で参加できる食に関する体験の機会を設けた。 ＜食育実践セミナー＞ <ul style="list-style-type: none"> 「みそまる」作り体験 米粉料理教室 栄養成分表示クイズ 握力測定 かむかむガムチェック（咀嚼力チェック） 食育絵本のおはなし会 折り紙でしおりづくり もぐもぐジョッピーのぬりえ 保育園給食のひとくち試食 フードドライブなど 10月28日（土）に直江津屋台会館で開催した上越市農林水産フェスティバルにおいて、親子で参加できる食に関するクイズラリーを実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 6月の食育月間にあわせ、6月22日（土）に無印良品直江津Open MUJIを会場に食育啓発イベントを開催し、親子で参加できる食に関する体験の機会を設けた。 ＜食育啓発イベント＞ <ul style="list-style-type: none"> 「みそまる」作り体験 ぱぱっと朝食料理教室 食育絵本のおはなし会 たべものおりがみ もぐもぐジョッピーのぬりえ フードドライブなど 10月26日（土）に直江津屋台会館で開催した上越市農林水産フェスティバルにおいて、親子で参加できる食に関するクイズラリーを実施した。
目標達成状況を踏まえた評価・課題	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 6月の食育月間にあわせて開催した食育実践セミナーや10月に開催した上越市農林水産フェスティバルにおいて、親子で参加できる食に関する体験活動を実施し、食への関心を高め、理解を深める機会を提供することができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な団体と協力し連携するとともに、食育推進活動に興味や関心を持ってもらえるよう、さらに充実したイベント内容となるよう検討する必要がある。 	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 6月の食育月間にあわせて開催した食育啓発イベントや10月に開催した上越市農林水産フェスティバルにおいて、親子で参加できる食に関する体験活動を実施し、食への関心を高め、理解を深める機会を提供することができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な団体と協力し連携するとともに、食育推進活動に興味や関心を持ってもらえるよう、さらに充実したイベント内容となるよう検討する必要がある。

事業No.及び事業名	12-2 親子で参加・体験できるイベント等の実施
事業担当課	農村振興課
取組の概要	「上越野菜」振興協議会主催による親子食農体験教室を開催し、上越野菜のPRのほか、親子のコミュニケーション、食への関心・理解を深める機会を提供する。

★年度別計画

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業計画	「上越野菜」振興協議会主催による親子食農体験教室を開催する。				→
目 標	上越野菜のPRのほか、親子のコミュニケーション、食への関心・理解を深める機会の提供 年2回以上				→
目標に対する実績	上越野菜のPRのほか、親子のコミュニケーション、食への関心・理解を深める機会の提供 年2回	上越野菜のPRのほか、親子のコミュニケーション、食への関心・理解を深める機会の提供 年4回	上越野菜のPRのほか、親子のコミュニケーション、食への関心・理解を深める機会の提供 年4回		
目標達成状況	達成	達成	達成		

★取組状況

主な事業実績	令和5年度	令和6年度
	<p>「上越野菜」振興協議会主催で親子食農体験教室を開催した。 「上越野菜」の丸えんぴつなす、ひとくちまくわ、えだまめの収穫体験と料理体験を行った。</p> <p>＜開催日＞ 令和5年7月30日（日）午前、午後 2回開催 令和5年8月26日（土）午前、午後 2回開催 合計 4回開催</p> <p>＜参加者数＞ 7月30日 22組 49人 8月26日 10組 25人 合計 32組 74人</p>	<p>・「上越野菜」振興協議会主催で、「上越野菜」である丸えんぴつなす、ひとくちまくわ、えだまめの収穫と料理を体験する親子食農体験教室を開催した。</p> <p>＜開催日＞ 令和6年8月11日（日）午前、午後 2回開催 令和6年8月12日（月）午前、午後 2回開催 合計 4回開催</p> <p>＜参加者数＞ 8月11日 20組 41人 8月12日 20組 45人 合計 40組 86人</p>
目標達成状況を踏まえた評価・課題	<p>【評価】 ・親子食農体験教室を4回開催し、目標を達成することができた。 ・「上越野菜」の収穫と「上越野菜」を用いた料理体験することで、「上越野菜」の認知度向上と親子のコミュニケーション、食への関心・理解を深めることができた。</p> <p>【課題】 引き続き、より多くの親子から参加いただくため、開催日や収穫・調理する上越野菜、周知方法など、検討する必要がある。</p>	<p>・親子食農体験教室を4回開催し、食への関心・理解を深める機会を提供することができた。 ・体験教室へ参加しやすいように、募集チラシに料理の写真を掲載したほか、開催日の設定などの工夫を行ったことから、定員を超える応募があった。 ・「上越野菜」収穫体験と料理教室を組み合わせて実施していることにより、「上越野菜」の認知度の向上に寄与することができた。</p> <p>・応募が多く、参加者からの評価も高いため、親子食農体験教室は有効な取組である。今後も継続的に行うためには、生産者や関係者の協力を確保していく必要がある。</p>

事業No.及び事業名	13 食生活の改善に必要な情報提供
事業担当課	農政課
取組の概要	市民一人一人の日常生活の中で食育の実践が定着するよう、国が定めた「食生活指針」や「食育ガイド」により、具体的な取組例を示す。

★年度別計画

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業計画	「食育ガイド」を定期的に学校関係者や食育イベント、食に関する集会等で配布し市民に啓発する。				→
目標	「食育ガイド」を活用した食育推進の啓発回数 年3回以上				→
目標に対する実績	「食育ガイド」を活用した食育推進啓発回数 年2回	「食育ガイド」を活用した食育推進啓発回数 年2回	「食育ガイド」を活用した食育推進啓発回数 年2回		
目標達成状況	未達成	未達成	未達成		

★取組状況

主な事業実績	令和5年度	令和6年度
	<ul style="list-style-type: none"> 食育推進活動に役立ててもらうため、6月の食育月間に市内の保育園、幼稚園、小中学校に国が示す「食育ガイド」や第4次上越市食育推進計画の概要版、授業や食育活動で使用できるデジタルコンテンツを紹介した。 6月開催の食育実践セミナーにおいて、来場者が自由に持ち帰り、家庭で活用できるよう「食育ガイド」を配置した。 	<ul style="list-style-type: none"> 食育推進活動に役立ててもらうため、6月の食育月間に市内の保育園、幼稚園、小中学校に国が示す「食育ガイド」や第4次上越市食育推進計画の概要版、授業や食育活動で使用できるデジタルコンテンツを紹介した。 6月開催の食育啓発イベントにおいて、来場者が自由に持ち帰り、家庭で活用できるよう「食育ガイド」を配置した。
目標達成状況を踏まえた評価・課題	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 6月の食育月間を中心とした啓発のみとなつたため、目標を達成することができなかった。 啓発内容としては、食育の指導に役立てていただくため、保育園、幼稚園、小中学校に紹介したことでの参考にしていただけたものと考えている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 6月の食育月間にのみ「食育ガイド」を活用した周知を行っている状況にある。多岐にわたる食育の内容を分かりやすく説明している資料であることから、年間を通じた活用方法を検討する必要がある。 	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 6月の食育月間を中心とした啓発のみとなつたため、目標を達成することができなかった。 啓発内容としては、食育の指導に役立てていただくため、保育園、幼稚園、小中学校に紹介したことでの参考にしていただけたものと考えている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 6月の食育月間にのみ「食育ガイド」を活用した周知を行っている状況にある。多岐にわたる食育の内容を分かりやすく説明している資料であるが、印刷して配付していることから、別の資料（「食育」ってどんないいことがあるの？）と併せて展開を検討する必要がある。

事業No.及び事業名	14 家庭での共食についての啓発
事業担当課	農政課
取組の概要	家族と一緒に食事をとることは、家族のコミュニケーションの場であるとともに、箸使いなど食事作法やしつけの重要な場であることを啓発し、家庭での共食を推進する。

★年度別計画

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業計画	市ホームページや食育イベント等において、家族が一緒に食事をとることの有効性を啓発し、家庭での共食を推進する。				→
目 標	朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の週当たりの回数 (食育市民アンケート結果) —	朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の週当たりの回数 (食育市民アンケート結果) 週11回以上	朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の週当たりの回数 (食育市民アンケート結果) —	朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の週当たりの回数 (食育市民アンケート結果) 週11回以上	朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の週当たりの回数 (食育市民アンケート結果) 週11回以上
目標に対する実績	食育市民アンケートを実施しないため、目標に対する測定不可	朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の週当たりの回数 (食育市民アンケート結果) 週9.8回	食育市民アンケートを実施しないため、目標に対する測定不可		
目標達成状況	—	未達成	—		

★取組状況

主な事業実績	令和5年度	令和6年度
	<ul style="list-style-type: none"> 年間を通じて、市ホームページ「上越の食育」で、食事の作法やマナー、食文化を含む望ましい食習慣や知識が習得できるよう、家族揃って食卓を囲むなどの食を通じたコミュニケーションを大切にすることを啓発した。 6月に開催した食育実践セミナーにおいて、共食に関するパネル展示を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 年間を通じて、市ホームページ「上越の食育」で、食事の作法やマナー、食文化を含む望ましい食習慣や知識が習得できるよう、家族揃って食卓を囲むなどの食を通じたコミュニケーションを大切にすることを啓発した。 6月に開催した食育啓発イベントにおいて、共食に関する内容が掲載されている食育ガイドブックを配付した。
目標達成状況を踏まえた評価・課題	【評価】 ・市ホームページや食育実践セミナーを通じて、家族と会話を楽しみながら食べる共食の大切さを啓発することができた。	【評価】 ・市ホームページや食育啓発イベントを通じて、家族と会話を楽しみながら食べる共食の大切さを啓発することができた。
	【課題】 ・共食についての啓発方法を改めて検討するとともに、市ホームページでの掲載情報を充実させる必要がある。 ・食育に関するイベントを通じて、共食することの良さや大切さを継続して啓発していく必要がある。	【課題】 ・共食についての啓発方法を改めて検討するとともに、市ホームページでの掲載情報を充実させる必要がある。 ・食育に関するイベントを通じて、共食することの良さや大切さを継続して啓発していく必要がある。

事業No.及び事業名	15 ★在宅時間を有効に活用できる食育情報の提供
事業担当課	農政課
取組の概要	家族との共食の有効性や栄養バランスがとれた食事の実践方法、上越の食文化の紹介など、在宅時間に家庭で取り組むことができる食育情報を発信する。

★年度別計画

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業計画	・家庭においても手軽に食育情報が入手できるよう、市ホームページやSNSにより食育情報を提供する。 ・インターネットの利用環境にない市民に向け、紙媒体においても食育情報を提供する。				
目 標	インターネット及び紙媒体による在宅時間を有効に活用できる食育情報の提供回数。 年3回以上				
目標に対する実績	・クックパッドでのレシピ配信 月1回 ・食育実践セミナー（WEB版）の配信 1回	・クックパッドでのレシピ配信 月1回 ・食育実践セミナー（WEB版）の配信 1回	・クックパッドでのレシピ配信 月1回 ・食育啓発イベント（WEB版）の配信 1回		
目標達成状況	達成	達成	概ね達成		

★取組状況

主な事業実績	令和5年度		令和6年度
	実績内容	評価	実績内容
・料理レシピサイト「クックパッド」内の上越市公式ページにおいて、郷土料理や旬の地域食材を使用した料理レシピを毎月配信したほか、市農林水産部インスタグラムを活用し、動画による料理レシピを年3回配信した。 ・6月に開催した食育実践セミナーの内容をWEB版として市ホームページに掲載した。 ・区総合事務所や南北出張所、公民館等の窓口で「みんなの食育活動掲示板」を紙媒体で配置した。	・料理レシピサイト「クックパッド」内の上越市公式ページにおいて、郷土料理や旬の地域食材を使用した料理レシピを毎月配信したほか、市農林水産部インスタグラムを活用し、動画による料理レシピを年4回配信（予定）した。 ・6月に開催した食育啓発イベントの内容をWEB版として市ホームページに掲載した。 ・区総合事務所や南北出張所、公民館等の窓口で「みんなの食育活動掲示板」を紙媒体で配置した。	【評価】 ・クックパッドでの料理レシピや市農林水産部インスタグラムでの動画レシピを配信したほか、食育実践セミナー（WEB版）を配信したことで、在宅時間における食育活動の実践に寄与した。 ・紙媒体による「みんなの食育活動掲示板」を毎月発行し、インターネットの利用環境にない市民等に食育情報を提供することができた。	【評価】 ・クックパッドでの料理レシピや市農林水産部インスタグラムでの動画レシピを配信したほか、食育啓発イベント（WEB版）を配信したことで、在宅時間における食育活動の実践に寄与した。 ・紙媒体による「みんなの食育活動掲示板」を毎月発行し、インターネットの利用環境にない市民等に食育情報を提供することができた。
目標達成状況を踏まえた評価・課題	【課題】 ・在宅時間を有効に活用できる発信については、料理レシピの提供だけでなく、家庭での食育実践につながる内容を精査する必要がある。 ・「みんなの食育活動掲示板」の情報量が少ないとから、府内食育関係課や食育関係団体等から情報提供を促すなど、掲載情報の充実を図る必要がある。	【課題】 ・在宅時間を有効に活用できる発信については、料理レシピの提供だけでなく、家庭での食育実践につながる内容を精査する必要がある。 ・「みんなの食育活動掲示板」が講座開催の情報のみになっていることから、府内食育関係課や食育関係団体等から情報提供を促すなど、掲載情報の充実を図る必要がある。	

事業No.及び事業名	16 保育園での食の体験活動
事業担当課	幼児保育課
取組の概要	子どもたちの食に関する興味や関心が高まるよう、食に関する様々な体験活動を行う。

★年度別計画

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業計画	体験活動を取り入れた食に関する活動を実施する。				
目 標	体験活動により、子どもたちの食に関する興味・関心を高める 〔子どもの食への興味・関心の向上〕				
目標に対する実績	体験活動により、子どもの食への興味・関心が向上	体験活動により、子どもの食への興味・関心が向上	体験活動により、子どもの食への興味・関心が向上		
目標達成状況	達成	達成	達成		

★取組状況

主な事業実績	令和5年度		令和6年度
	・各園で畑やプランターでの野菜作りを行い、給食食材としての活用、クッキング活動、遊び（スタンピングや重量あてクイズ等）等を実施した。 ・園児の食への関心を深めるため、各園で食に関する絵本の読み聞かせを実施した。		・各園で畑やプランターでの野菜作りを行い、給食食材としての活用、クッキング活動、遊び（スタンピングや重量あてクイズ等）等を実施した。 ・園児の食への関心を深めるため、各園で食育集会を実施した。
目標達成状況を踏まえた評価・課題	【評価】 様々な体験活動を行うことにより、食への興味・関心を向上させることができた。	【評価】 様々な体験活動を行うことにより、食への興味・関心を向上させることができた。	【課題】 食に関する興味、関心につなげるため、園児の月齢に合わせた体験活動を継続実施する必要がある。
		【課題】 食に関する興味、関心につなげるため、園児の月齢に合わせた体験活動を継続実施する必要がある。	

事業No.及び事業名	17 幼稚園・小中学校での食の体験活動
事業担当課	学校教育課
取組の概要	子どもたちの食に関する興味や関心が高まるよう、食に関する様々な体験活動を行う。

★年度別計画

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業計画	体験活動を取り入れた食に関する活動を実施する。				
目 標	市立幼稚園、小中学校で体験活動を取り入れた食に関する活動を実施する 〔食に関する活動の実施〕				
目標に対する実績	市立幼稚園、小中学校で体験活動を取り入れた食に関する活動を実施した	市立幼稚園、小中学校で体験活動を取り入れた食に関する活動を実施した	市立幼稚園、小中学校で体験活動を取り入れた食に関する活動を実施した		
目標達成状況	達成	達成	達成		

★取組状況

主な事業実績	令和5年度		令和6年度
	・市立幼稚園においては、育てたい野菜の苗の購入、畑の世話、収穫といった一連の体験や収穫物の家庭への持ち帰りや給食への活用を行い、食に関する活動を実施した。 ・小・中学校では、生活科や総合的な学習の時間において、野菜や米を育て、食べることや売ること、料理を作つて食べること等の体験を伴う食に関する活動を実施した。		・市立幼稚園においては、育てたい野菜の苗の購入、畑の世話、収穫といった一連の体験や収穫物を調理したり、家庭への持ち帰ったりする活動、給食への活用等を行い、食に関する活動を実施した。 ・小・中学校では、生活科や総合的な学習の時間において、野菜や米を育て、食べることや売ること、料理を作つて食べること等の体験を伴う食に関する活動を実施した。
目標達成状況を踏まえた評価・課題	【評価】 市立幼稚園、小中学校で体験活動を取り入れた食に関する活動を実施できた。		【評価】 市立幼稚園、小中学校で体験活動を取り入れた食に関する活動を実施できた。
	【課題】 体験活動から得た学びは貴重であることから、今後もその活動を推進するよう働きかける。		【課題】 体験活動から得た学びは貴重であることから、今後もその活動を推進するよう働きかける。

事業No.及び事業名	18 学校における食育活動の充実
事業担当課	学校教育課
取組の概要	食に関する指導の全体計画に基づき、食に関する教育活動を行う。

★年度別計画

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業計画	「給食だより」を毎月発行するとともに、栄養教諭や栄養職員と連携した給食指導を実施する。				
目 標	事業実施により、食に対する正しい知識を持った児童生徒を増やす 〔食の正しい知識を持った児童生徒の増加〕				
目標に対する実績	事業実施により、食に対する正しい知識を持った児童生徒が増加した	事業実施により、食に対する正しい知識を持った児童生徒が増加した	事業実施により、食に対する正しい知識を持った児童生徒が増加した		
目標達成状況	達成	達成	達成		

★取組状況

主な事業実績	令和5年度		令和6年度
	食に関する指導の全体計画に基づき、食に関する教育活動を実施した。		食に関する指導の全体計画に基づき、食に関する教育活動を実施した。
目標達成状況を踏まえた評価・課題	【評価】 発達段階に合わせた内容で計画的に食に関する指導を実施した。		【評価】 発達段階に合わせた内容で計画的に食に関する指導を実施した。
	【課題】 栄養教諭の勤務が月1回の学校においては、食育推進の難しさを抱え、指導体制の整備に課題を感じている学校がある。		【課題】 栄養教諭の勤務が少ない兼務校においては、食育推進の難しさを抱え、指導体制の整備に課題を感じている学校がある。

事業No.及び事業名	19 家庭や地域とともに進める食に関する教育活動
事業担当課	学校教育課
取組の概要	学校・家庭・地域が連携し、児童生徒が自ら健全な食習慣を実践できるよう教育活動を行う。

★年度別計画

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業計画	全ての小中学校で家庭や地域と連携する取組を実施する。 (給食試食会や食に関する学校保健委員会など)	小中学校で家庭や地域と連携する取組を実施する。 (給食試食会や食に関する学校保健委員会など)			→
目 標	児童・生徒が栄養バランスのとれた食事や健全な食習慣について理解を深め実践する 児童・生徒が健全な食習慣の理解を深め実践する。	児童・生徒の栄養バランスのとれた食事や健全な食習慣を支援するよう家庭への啓発を図る。 児童・生徒の健全な食習慣を支援するよう家庭への啓発を図る。			→
目標に対する実績	食習慣の形成を目指す取組実施により、児童・生徒が栄養バランスのとれた食事や健全な食習慣についての理解を深めることができた	健全な食習慣の形成を目指す取組実施により、児童・生徒が栄養バランスのとれた食事や健全な食習慣について理解を深めることができた	健全な食習慣の形成を目指す取組実施により、児童・生徒が栄養バランスのとれた食事や健全な食習慣について理解を深めることができた		
目標達成状況	概ね達成	概ね達成	達成		

★取組状況

主な事業実績	令和5年度		令和6年度
	・小中学校で実施する給食試食会や学校保健委員会などを通じ、児童・生徒の健全な食習慣を支援するよう家庭への啓発を図った。 ・地産地消の推進に取り組み、子どもたちの地域食材への関心や健全な食に対する意識が高まった。		・小中学校で実施する給食試食会や学校保健委員会などを通じ、児童・生徒の健全な食習慣を支援するよう家庭への啓発を図った。 ・地産地消の推進に取り組み、子どもたちの地域食材への関心や健全な食に対する意識が高まった。
目標達成状況を踏まえた評価・課題	【評価】 家庭・地域・関係機関等との連携により食育を推進した。 市立小・中学校 67校/69校	【評価】 家庭・地域・関係機関等との連携により食育を推進した。 市立小・中学校 67校/67校	【課題】 給食における地場産食材を通じて食への関心を高め、健全な食生活への意識付けを図ることができることから、食材等を通じて地域との連携を図るよう今後も継続して働きかける。

事業No.及び事業名	20 小中学校における特色ある食に関する食育活動の推進
事業担当課	学校教育課
取組の概要	それぞれの地域や学校の伝統・文化等の特色をいかした食育推進を支援する。

★年度別計画

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業計画	小中学校において充実した食育活動を推進するための情報提供等を行う。				
目 標	地域や学校の伝統・文化等の特色をいかした食育を実践している学校を増やす 〔特色をいかした食育を実践している学校の増加〕				
目標に対する実績	特色をいかした食育を実践した小・中学校数 <u>42校</u>	特色をいかした食育を実践した小・中学校数 <u>67校</u>	特色をいかした食育を実践した小・中学校数 <u>67校</u>		
目標達成状況	概ね達成	達成	達成		

★取組状況

主な事業実績	令和5年度		令和6年度
	令和5年度	令和6年度	令和6年度
主な事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの地域や学校の伝統・文化等の特色をいかした食育を推進した。 ・地域の方を講師として、地域の伝統食を調理し会食する活動を行った。（一部の学校） ・小学校において、生活科や総合的な活動の時間において栽培活動を行う際に、地域の方に協力を得て教育活動を推進する中で、地域や学校の伝統・文化などの特色を理解しながら進めた。（一部の学校） 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの地域や学校の伝統・文化等の特色をいかした食育を推進した。 ・地域の講師を招き、地域の食文化を調べていく中で、地域の伝統食について知り、調理し会食したり、商品開発につなげたりする活動を行った。（一部の学校） ・小学校において、生活科や総合的な活動の時間において栽培活動を行う際に、地域の方に協力を得て教育活動を推進する中で、地域や学校の伝統・文化などの特色を理解しながら進めた。（一部の学校） 	
目標達成状況を踏まえた評価・課題	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの地域や学校の伝統・文化等の特色をいかした食育推進を支援した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの地域や学校の伝統・文化等の特色をいかした食育を工夫し実施するよう働きかける。 	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの地域や学校の伝統・文化等の特色をいかした食育推進を支援した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの地域や学校の伝統・文化等の特色をいかした食育を工夫し実施するよう働きかける。 	

事業No.及び事業名	2.1 栄養バランスを意識した食生活の促進
事業担当課	こども家庭センター、健康づくり推進課
取組の概要	各ライフステージの様々な事業で食品の基準量の普及・啓発を通じて、バランスのとれた食生活を推進する。

★年度別計画

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業計画	各ライフステージで行われる健康教育の中で、バランスのとれた食事をとることの重要性を啓発する。				
目 標	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日実践している市民を増やす (食育市民アンケート結果) — 全世代 60% 若い世代 45%	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日実践している市民を増やす (食育市民アンケート結果) — 全世代 39.7% 若い世代 25.2%	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日実践している市民を増やす (食育市民アンケート結果) — 全世代 75% 若い世代 55%	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日実践している市民を増やす (食育市民アンケート結果) — 全世代 80% 若い世代 55%	
目標に対する実績	食育市民アンケートを実施しないため、目標に対する測定不可		食育市民アンケートを実施しないため、目標に対する測定不可		
目標達成状況	—	未達成	—		

★取組状況

主な事業実績	令和5年度	令和6年度
	妊娠期（すくすく赤ちゃんセミナー）、乳幼児期（各乳児健診、相談会）、学童期（小中学校血液事後、学校保健委員会等）、思春期（高校健康教育）、成人期・高齢期（健診時、健診結果説明会、企業での健康教育、地区健康講座等）において、各ライフステージの特性を踏まえ、バランスのとれた食事をとることの必要性について、健康教育を実施している。	妊娠期（すくすく赤ちゃんセミナー）、乳幼児期（各乳児健診、相談会）、学童期（小中学校血液事後、学校保健委員会等）、思春期（高校健康教育）、成人期・高齢期（健診時、健診結果説明会、企業での健康教育、地区健康講座等）において、ライフコースアプローチを踏まえ、バランスのとれた食事をとることの必要性について、健康教育を実施している。
目標達成状況を踏まえた評価・課題	<p>【評価】 すくすく赤ちゃんセミナー参加者や乳幼児健診に参加者する保護者等の若い世代から食生活の乱れが伺える。</p> <p>【課題】 今後も引き続き、各ライフステージにおいて様々な場面でバランスのとれた食生活について健康教育の実施が必要である。</p>	<p>【評価】 すくすく赤ちゃんセミナー参加者や乳幼児健診に参加者する保護者、企業での健康講座参加者等の若い世代から食生活の乱れが伺える。</p> <p>【課題】 今後も引き続き、ライフコースアプローチにより、様々な場面でバランスのとれた食生活について健康教育の実施が必要である。</p>

事業No.及び事業名	22 日本国型食生活の普及活動
事業担当課	農政課
取組の概要	米を中心に多様な農林水産物を食材とした副食で構成され、栄養バランスに優れた「日本型食生活」を推進するため、市ホームページやSNS、イベント等での配布物などを通じてその普及を図る。

★年度別計画

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業計画	市ホームページやSNS、イベント等での配布物により、日本型食生活のメリットや実践例を紹介し、市民の実践につなげる。				
目 標	日本型食生活を実践している市民を増やす (食育市民アンケート結果) — 74.1%以上 (R3アンケート結果比較)	日本型食生活を実践している市民を増やす (食育市民アンケート結果) — 74.1%以上 (R3アンケート結果比較)	日本型食生活を実践している市民を増やす (食育市民アンケート結果) — R5アンケート結果以上の値	日本型食生活を実践している市民を増やす (食育市民アンケート結果) — R7アンケート結果以上の値	
目標に対する実績	食育市民アンケートを実施しないため、目標に対する測定不可 75.4%	日本型食生活を実践している市民を増やす (食育市民アンケート結果) 75.4%	食育市民アンケートを実施しないため、目標に対する測定不可		
目標達成状況	—	達成	—		

★取組状況

主な事業実績	令和5年度		令和6年度
	<ul style="list-style-type: none"> 10月に開催した上越市農林水産フェスティバルにおいて、日本型食生活に関するパネル展示を行った。 年間を通じて、市ホームページ「上越の食育」において、ごはんを中心とした日本型食生活の良さを継続して情報発信した。 NPO法人上越地域学校教育支援センターが発行する「地域教育往来」に「日本型食生活のススメ」の記事を掲載した。 		<ul style="list-style-type: none"> 6月に開催した食育啓発イベントにおいて、日本型食生活に関するパネル展示を行った。 年間を通じて、市ホームページ「上越の食育」において、ごはんを中心とした日本型食生活の良さを継続して情報発信した。
目標達成状況を踏まえた評価・課題	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 上越市農林水産フェスティバルや市ホームページ等を通じて、栄養バランスに優れた日本型食生活の良さをPRすることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本型食生活についての啓発方法を改めて検討するとともに、市ホームページでの掲載情報を充実させる必要がある。 食育に関するイベントを通じて、日本型食生活のメリットなどを継続して啓発していく必要がある。 	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 食育啓発イベントや市ホームページ等を通じて、栄養バランスに優れた日本型食生活の良さをPRすることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本型食生活についての啓発方法を改めて検討するとともに、市ホームページでの掲載情報を充実させる必要がある。 食育に関するイベントを通じて、日本型食生活のメリットなどを継続して啓発していく必要がある。 	

事業No.及び事業名	2 3 地域や職場での共食の有効性の発信
事業担当課	農政課
取組の概要	孤食が多い人が様々な人たちと食事をする機会を増やすため、市ホームページやSNS、イベント等での配布物などを通じて、地域での共食の有効性を紹介し、「新しい生活様式」に対応した地域での共食につなげる。

★年度別計画

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業計画	市ホームページやSNS、イベント等での配布物により、地域での共食の有効性を紹介し、市民の実践につなげる。				
目 標	地域等で共食したいと思う市民が共食する割合 (食育市民アンケート結果) —	地域等で共食したいと思う市民が共食する割合 (食育市民アンケート結果) 55%以上	地域等で共食したいと思う市民が共食する割合 (食育市民アンケート結果) —	地域等で共食したいと思う市民が共食する割合 (食育市民アンケート結果) 68%以上	地域等で共食したいと思う市民が共食する割合 (食育市民アンケート結果) 75%以上
目標に対する実績	食育市民アンケートを実施しないため、目標に対する測定不可	地域等で共食したいと思う市民が共食する割合 (食育市民アンケート結果) <u>60.1%</u>	食育市民アンケートを実施しないため、目標に対する測定不可		
目標達成状況	—	達成	—		

★取組状況

主な事業実績	令和5年度		令和6年度
	令和5年度	令和6年度	令和6年度
主な事業実績	・6月に開催した食育実践セミナーにおいて、共食に関するパネル展示を実施した。		・6月に開催した食育啓発イベントにおいて、共食に関する内容が掲載されている食育ガイドブックを配付した。
目標達成状況を踏まえた評価・課題	<p>【評価】 ・食育実践セミナーを通じて、仲間との共食の大切さを啓発することができた。</p> <p>【課題】 ・孤食により、栄養バランスの偏りや食習慣の乱れなどが報告されていることから、食育実践セミナーなどでの啓発活動を継続するほか、市ホームページやSNSなどで共食のメリットを積極的に発信する必要がある。</p>		<p>【評価】 ・食育ガイドブックの配付を通じて、仲間との共食の大切さを啓発することができた。</p> <p>【課題】 ・孤食により、栄養バランスの偏りや食習慣の乱れなどが報告されていることから、食育啓発イベントなどでの啓発活動を継続するほか、市ホームページやSNSなどで共食のメリットを積極的に発信する必要がある。</p>

事業No.及び事業名	24 郷土料理、食文化の普及を推進する講座の実施
事業担当課	社会教育課
取組の概要	地域資源の活用や地域住民のニーズの精査を行い、料理教室や食をテーマとする体験講座を実施することで、郷土料理や食文化の関心を高め、普及・継承につなげる。

★年度別計画

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業計画	公民館事業で、郷土料理や食文化をテーマとする講座を実施する。				
目 標	郷土料理や食文化について理解を深め、興味・関心を高めた参加者の割合 80%以上				
目標に対する実績	郷土料理や食文化について理解を深め、興味・関心を高めた参加者の割合 <u>95.6%</u>	郷土料理や食文化について理解を深め、興味・関心を高めた参加者の割合 <u>97.8%</u>	郷土料理や食文化について理解を深め、興味・関心を高めた参加者の割合 <u>99.2%</u>		
目標達成状況	達成	達成	達成		

★取組状況

主な事業実績	令和5年度	令和6年度
	<p>【実施済：各地区公民館】</p> <p>高田 ・ 笹寿司とそば打ち体験 2回</p> <p>金谷 ・ 地域に伝わる郷土料理作り 2回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 棚田米でおにぎり作り 1回 ・ スキー汁づくり 1回 <p>春日 ・ 上越野野菜を使った料理教室 1回</p> <p>直江津 ・ 上越産野菜の調理、味噌の健康効果を学ぶ 2回</p> <p>八千浦 ・ 発酵食作り 1回</p> <p>北諏訪 ・ 食から学ぶSDGs（環境に優しい料理）3回</p> <p>保倉 ・ 発酵を学び、発酵調理実習 2回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 郷土料理体験、地域交流活動（ちまき作り） 2回 <p>谷桑 ・ そば打ち、ピザ作り 2回</p> <p>安塚 ・ 小中学生食育講座 1回</p> <p>牧 ・ 地域交流活動（ちまき作り） 1回</p> <p>・ 伝承料理体験（料理を作り昔の行事を語り合う） 1回</p> <p>柿崎（分館活動を含む） <ul style="list-style-type: none"> ・ 柿崎産の野菜・魚の種類と料理方法、地産地消について考える 1回 ・ きのこ学習会 1回 </p> <p>大潟 ・ かんたん朝ごはん作り 1回</p> <p>頸城（分館活動を含む） <ul style="list-style-type: none"> ・ そば打ち教室 1回 ・ 地域交流活動（餅つき） 1回 ・ 親子郷土料理教室 1回 </p> <p>吉川 ・ 旬野菜の料理教室 1回</p> <p>中郷 ・ 郷土料理を食べながら「孤食」を考える 1回</p> <p>※郷土料理や食文化について理解を深め、興味・関心を高めた参加者の割合 実施済のアンケート結果 : <u>97.8%</u></p>	<p>【実施済：各地区公民館】</p> <p>中央 ・ 上越ばかりうまい弁当プロジェクト（上越の食材を使ったお弁当の開発） 3回</p> <p>高田 ・ 笹団子作り 1回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ おむすび・とん汁作り 1回 <p>金谷 ・ 伝統保存食講座 2回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ そば打ち体験 1回 <p>和田 津有 春日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 枝豆収穫・試食体験 1回 ・ 地産地消促進に向けた料理講座 1回 ・ 上越野野菜を使用したケーキ作り 1回 ・ そば打ち体験 1回 ・ ちまき作り体験 1回 <p>諏訪 保倉 有田</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 健康増進のための発酵料理体験1回 ・ 発酵文化の学習、塩麹づくり 1回 ・ 笹団子作り 1回 ・ 麹を使用した料理体験 1回 ・ そば打ち体験 2回 ・ そば打ち体験 1回 ・ 塩麹づくり体験 1回 ・ 郷土料理講座 3回 <p>谷桑 大島</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 卵の花を使用した料理体験 1回 ・ 郷土料理教室 4回 ・ 親子料理体験 1回 ・ 親子で郷土料理 1回 ・ 文化的伝承講座（伝統料理講座）1回 <p>柿崎 大潟 吉川 清里 三和 牧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ そば打ち体験 1回 ・ 餅つき大会 2回 ・ 料理教室 1回 <p>頸城（分館活動を含む） <ul style="list-style-type: none"> ・ そば打ち体験 1回 ・ 餅つき大会 2回 ・ 料理教室 1回 </p> <p>※郷土料理や食文化について理解を深め、興味・関心を高めた参加者の割合 実施済のアンケート結果 : <u>99.2%</u></p>
目標達成状況を踏まえた評価・課題	<p>【評価】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、公民館講座における調理実習や会食を伴う体験活動を制約なく実施できるようになり、より多くの市民から郷土料理や食文化について学んでいただくことができた。</p>	<p>【評価】</p> <p>幅広い世代の市民から郷土料理や食文化について学んでいただくことができた。</p>
	<p>【課題】</p> <p>引き続き基本的な感染対策に配慮しながら、幅広い世代に向けて食育講座を実施することにより、豊かな地域づくりへの一助としていきたい。</p>	<p>【課題】</p> <p>引き続き基本的な感染対策に配慮しながら、幅広い世代に向けて食育講座を実施することにより、豊かな地域づくりへの一助としていきたい。</p>

事業No.及び事業名	25 謙信KIDSプロジェクト
事業担当課	社会教育課
取組の概要	小学生にふるさと上越の魅力ある食材を紹介し、各種活動を通じてその魅力を体験させることで、郷土への愛着の育成を図る。

★年度別計画

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業計画	謙信KIDSプロジェクトで実施する講座に、上越の食をテーマとする講座を設ける。				
目 標	講座のテーマである上越の食について、興味・関心を深めた参加者の割合を90%以上とする				
目標に対する実績	講座のテーマである上越の食について、興味・関心を深めた参加者の割合 <u>97.3%</u>	講座のテーマである上越の食について、興味・関心を深めた参加者の割合 <u>97.3%</u>	講座のテーマである上越の食について、興味・関心を深めた参加者の割合 <u>91.4%</u>		
目標達成状況	達成	達成	達成		

★取組状況

主な事業実績	令和5年度	令和6年度
	<p><「しょく」の講座（小学1～3年生対象、全3回）> 上越野菜について学ぶ</p> <p>1回目：なす・ひとくちまくわの収穫体験、 青果市場の見学（7/29 19人参加）</p> <p>2回目：枝豆の収穫と選別作業の体験 (8/19 18人参加)</p> <p>3回目：収穫体験した上越野菜を使った 調理実習（9/9 19人参加）</p> <p><「食」の講座（小学4～6年生対象、全3回）> 発酵について学ぶ</p> <p>1回目：発酵のしくみとみそづくりについて 学び、みその仕込みを体験 (6/4 19人参加)</p> <p>2回目：醤油について学び、醤油を使った 料理体験（8/27 19人参加）</p> <p>3回目：1回目で仕込んだみそを使った調理 実習（12/2 17人参加）</p> <p>講座のテーマである上越の食について、興味・関心を深めた参加者の割合 講座アンケート結果 <u>97.3%</u></p>	<p><「しょく」の講座（小学1～3年生対象、全3回）> 上越野菜について学ぶ</p> <p>1回目：なすの収穫体験、 青果市場の見学（7/27 17人参加）</p> <p>2回目：枝豆の収穫と選別作業の体験 (8/17 15人参加)</p> <p>3回目：収穫体験した上越野菜を使った 調理実習（9/1 19人参加）</p> <p><「食」の講座（小学4～6年生対象、全3回）> 発酵について学ぶ</p> <p>1回目：発酵のしくみとみそづくりについて 学び、みその仕込みを体験 (6/1 16人参加)</p> <p>2回目：醤油について学び、醤油を使った 料理体験（8/4 15人参加）</p> <p>3回目：1回目で仕込んだみそを使った調理 実習（12/8 17人参加）</p> <p>講座のテーマである上越の食について、興味・関心を深めた参加者の割合 講座アンケート結果 <u>91.4%</u></p>
目標達成状況を踏まえた評価・課題	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実体験を通して楽しみながら学ぶことができた。 ・自分たちで調理することで、今まで苦手だった食材を食べることができた子どももいた。 ・今年度も保護者からのアンケート結果では、子どもにとって良い経験ができたと答えた割合が100%と保護者からも高評価だった。 <p>【課題】</p> <p>今後も参加者の安心・安全に配慮しながら、収穫体験や調理実習などの実体験を伴った講座に取り組んでいく必要がある。</p>	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「上越野菜」「発酵」について目を向けるきっかけを作ることができた。 ・今年度も保護者からのアンケート結果では、子どもにとって良い経験ができたと答えた割合が100%と保護者からも高評価だった。 <p>【課題】</p> <p>今後も参加者の安心・安全に配慮しながら、収穫体験や調理実習などの実体験を伴った講座に取り組んでいく。</p>

事業No.及び事業名	26 「発酵のまち上越」の啓発活動
事業担当課	上越ものづくり振興センター
取組の概要	「発酵のまち上越」を情報発信するとともに、古くから根付き受け継がれてきた発酵食品文化を次世代へ継承する。

★年度別計画

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業計画	上越の発酵食品をホームページやイベント等で広く発信するとともに、発酵食品文化を次世代へ継承する。				
目 標	SNSでの情報発信により、上越は「発酵のまち」というイメージを持つ市民を増加させる 情報発信回数：月1回				
目標に対する実績	SNSでの情報発信回数 <u>月1.6回</u>	SNSでの情報発信回数 <u>月0.6回</u>	SNSでの情報発信回数 <u>月1回</u>		
目標達成状況	達成	未達成	達成		

★取組状況

主な事業実績	令和5年度	令和6年度
	<p><情報発信></p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNSで「発酵のまち上越」をPRした。 ・広報Jステーションで「発酵のまち上越」をPRした（1月10日）。 <p><講演・講座・学習会等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・謙信KIDSプロジェクト「食」の講座において、小学生向けに味噌の仕込み体験や味噌、醤油を使った調理実習などを行い、次世代に発酵食品の魅力をPRした（6月4日、8月27日、12月2日）。 ・春日小学校の総合学習で市内の発酵食品について学習している児童へ授業を行った（11月27日）。 <p><イベント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育実践セミナーにおいて、みそまる作り体験を実施することで、発酵食品文化の啓発に努めた。 ・越後・謙信SAKEまつりに合わせ、高田まちかど交流館にて上越の発酵に関するパネル展示を行う。また、市内の発酵食品関連事業者の支援を通して発酵食品のPRを行う。（10月20日、21日） 	<p><情報発信></p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNSで「発酵のまち上越」をPRした。 <p><講演・講座・学習会等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・謙信KIDSプロジェクト「食」の講座において、小学生向けに味噌の仕込み体験や味噌、醤油を使った調理実習などを行い、次世代に発酵食品の魅力をPRした（6月1日、8月4日、12月8日）。 ・イオンチアーズクラブ上越店の体験学習において、小中学生向けに味噌の仕込み体験や調理実習などをを行うため、講師を派遣した。 ・北城高校の家庭クラブにおいて、味噌をテーマにした学習を行うため、講師を派遣した。 ・北城高校の総合探究の授業において、SDGsに関するコンテストへの出品に向けた資料作成に協力した。 <p><イベント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育啓発イベントにおいて、みそまる作り体験を実施することで、発酵食品文化の啓発に努めた（6月22日）。
目標達成状況を踏まえた評価・課題	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNSでの情報発信を月に1回行うことができなかった（2月に1回程度）。 ・食育実践セミナーや謙信KIDSプロジェクト、総合学習などを通して、市民や次世代の子ども達に対し、上越の発酵食文化について興味関心を深めてもらうことができた。 ・SAKEまつりでは、市外からの来場者に対して「発酵のまち上越」をPRすることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発酵食品を製造、販売する個々の事業者ではそれぞれ活動しているが、まとまって活動することが少ないのが現状である。活動の方向性について検討しながらPRに努めていきたい。 	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNSでの情報発信を月1回行い、目標を達成した。 ・食育実践セミナーや謙信KIDSプロジェクトなどを通して、市民や次世代の子ども達に対し、上越の発酵食文化について興味関心を深めてもらうことができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、活動の方向性について検討しながらPRに努めていきたい。

事業No.及び事業名	27 SNS等を活用した若い世代への郷土料理の継承
事業担当課	農政課
取組の概要	郷土料理になじみの薄い若い世代に向け、SNS等にレシピや由来を掲載し、郷土料理の継承につなげる。

★年度別計画

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業計画	料理レシピ検索サイトに上越の郷土料理や上越の旬の食材を使用したレシピや由来を掲載する。				
目標	郷土料理や上越の旬の食材を使用したレシピの投稿回数 月1回				
目標に対する実績	郷土料理や上越の旬の食材を使用したレシピの投稿回数 <u>概ね月1回</u>	郷土料理や上越の旬の食材を使用したレシピの投稿回数 月1回	郷土料理や上越の旬の食材を使用したレシピの投稿回数 月1回		
目標達成状況	達成	達成	概ね達成		
目標	郷土料理や伝統料理を月1回以上食べている市民の割合 (食育市民アンケート結果) —	郷土料理や伝統料理を月1回以上食べている市民の割合 (食育市民アンケート結果) 48%	郷土料理や伝統料理を月1回以上食べている市民の割合 (食育市民アンケート結果) —	郷土料理や伝統料理を月1回以上食べている市民の割合 (食育市民アンケート結果) 49%	郷土料理や伝統料理を月1回以上食べている市民の割合 (食育市民アンケート結果) 50%以上
目標に対する実績	食育市民アンケートを実施しないため、目標に対する測定不可	郷土料理や伝統料理を月1回以上食べている市民の割合 (食育市民アンケート結果) <u>49.5%</u>	食育市民アンケートを実施しないため、目標に対する測定不可		
目標達成状況	—	達成	—		

★取組状況

主な事業実績	令和5年度	令和6年度
	<p>・料理レシピサイト「クックパッド」内の上越市公式ページにおいて、郷土料理や旬の地域食材を使用した料理レシピを毎月配信したほか、市農林水産部インスタグラムを活用し、令和5年度から料理レシピの動画配信を開始し、年度内に4本配信した。</p> <p>※参考 <クックパッド> ・フォロワー数：199件 ・R5.4～R6.3のアクセス数：112,745件 (月平均9,395件、日平均309件) <インスタグラム> ・フォロワー数：234件 ・レシピ動画再生数：1,515件 (379件/本)</p>	<p>・料理レシピサイト「クックパッド」内の上越市公式ページにおいて、郷土料理や旬の地域食材を使用した料理レシピを配信したほか、市農林水産部インスタグラムを活用し、令和5年度から料理レシピの動画配信を開始し、年度内に4本配信(予定)する。</p> <p>※参考 <クックパッド> (R7.3.10現在) ・フォロワー数：226件 ・全アクセス数：745,355件 <インスタグラム> ・フォロワー数：332件 ・レシピ動画再生数(R6年度掲載)：973件 (324件/本)</p>
目標達成状況を踏まえた評価・課題	<p>【評価】 ・NPO法人食の工房ネットワークと連携し、旬の食材を逃すことなく、手軽な料理レシピを紹介することができた。</p> <p>・郷土料理については、特に年末年始にアクセス数が格段に増えることから、一定の需要があるものと感じている。</p>	<p>【評価】 ・NPO法人食の工房ネットワークと連携し、手軽な料理レシピを紹介することができた。</p> <p>・郷土料理については、特に年末年始にアクセス数が格段に増えることから、一定の需要があるものと感じている。</p>
	<p>【課題】 ・クックパッドにおいて、一般的な上越の郷土料理レシピは概ね掲載を終えており、現在、旬の食材や上越野菜を使用したレシピが主であることから、各地域で伝わっている郷土料理などの掲載も検討したい。</p>	<p>【課題】 ・クックパッドにおいて、一般的な上越の郷土料理レシピは概ね掲載を終えており、現在、旬の食材や上越野菜を使用したレシピが主であることから、各地域で伝わっている郷土料理などの掲載を引き続き検討したい。</p>

事業No.及び事業名	28 地場産食材、郷土料理を取り入れた学校給食の推進
事業担当課	教育総務課
取組の概要	給食献立において、地場産食材、郷土料理を取り入れるなど、「上越の食」について考える取組を行う。

★年度別計画

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業計画	毎月、地場産食材や郷土料理を取り入れた学校給食を提供する。				
目 標	地場産食材や郷土料理を取り入れた給食献立の提供回数 月1回				
目標に対する実績	地場産食材や郷土料理を取り入れた給食献立の提供回数 月1回	地場産食材や郷土料理を取り入れた給食献立の提供回数 月1回	地場産食材や郷土料理を取り入れた給食献立の提供回数 月1回		
目標達成状況	達成	達成	達成		

★取組状況

主な事業実績	令和5年度	令和6年度
	<p>○地場産食材や郷土料理を通じて、上越市の自然・食文化・産物についての理解を深めることを目的に、市立小中学校（69校）において、毎月「ふるさと献立」を実施する。</p> <p>○地場産食材を活用した「ふるさと献立」の一例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上越ならではの魚を使用 「めぎすの米粉揚げ」「めぎすのつみれ汁」「手作りめぎすのハンバーグ」「さめフライのごまケチャップソース」 ・上越の特産物を使用 「車麩のみそ汁」「姫竹汁」「上越産大豆いりコロッケ」 ・上越野菜を使用 「キャベツのみそ汁」「枝豆サラダ」「越の丸なすと豚肉の揚げ煮」 ・発酵食品を使用 「マスの塩こうじ焼き」「鶏肉のみそ焼き」 ・新潟の郷土料理 「春ののっべい汁」 	<p>○地場産食材や郷土料理を通じて、上越市の自然・食文化・産物についての理解を深めることを目的に、市立小中学校（67校）において、毎月「ふるさと献立」を実施した。</p> <p>○地場産食材を活用した「ふるさと献立」の一例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上越ならではの魚を使用 「めぎすの米粉揚げ」「めぎすのつみれ汁」「さめフライのごまケチャップソース」「さめのからあげバーガー」 ・上越の特産物を使用 「車麩の揚げ煮」「粟あめトースト」 ・上越野菜・大豆を使用 「上越産キャベツとエリンギのソテー」「枝豆サラダ」「なすとツナのナポリタン」「上越産大豆サラダ」 ・発酵食品を使用 「鶏肉の甘酒塩こうじ焼き」「上越産野菜の粕汁」「みそドレッシングサラダ」 ・新潟の郷土料理 「お花見のっべい汁」
目標達成状況を踏まえた評価・課題	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地場産食材や郷土料理を取り入れた給食献立を月1回提供できた。 ・学校栄養教諭がふるさと献立の提供前までに、可能な範囲で生産者へ取材し、地場産食材に関する資料や動画を作成、給食指導に活用した中で、食べるまでに関わる工程や生産者の直接の声に、興味深く反応する児童生徒の様子もみられた。 ・保護者からは、家庭では普段食べることのない食材やメニューが給食で出ることに関して感謝の言葉をいただいている。 	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地場産食材や郷土料理を取り入れた給食献立を月1回提供できた。 ・ふるさと献立の提供時は、可能な範囲で作成した地場産食材に関する資料や動画を給食指導に活用したところ、興味深く反応する児童生徒の様子がみられた。 ・保護者からは、家庭では普段食べることのない食材やメニューが給食で出ることに関して感謝の言葉をいただいている。 ・さらに今年度は、例年1月に実施される全国学校給食週間のテーマを「上越の魅力再発見～上越市合併20周年～」とし、1月20日～24日の学校給食の献立に地場産食材を多く使用した。これにより、児童生徒が上越市の気候風土と食の関連に気づいたり、給食に関心を持って食べる様子がみられた。
	<p>【課題】</p> <p>引き続き、学校給食に提供可能な地場産食材や郷土料理を取り入れながら、「食」について考える取組を推進することが必要である。</p>	<p>【課題】</p> <p>引き続き、学校給食に提供可能な地場産食材や郷土料理を取り入れながら、「食」について考える取組を推進することが必要である。</p>

事業No.及び事業名	29 ★食育関係団体の食育活動の集約と情報発信
事業担当課	農政課
取組の概要	市内で行われる食育に関するイベントや教室、体験活動等を集約し、市ホームページ等で市民に広く周知する。

★年度別計画

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業計画	市内で行われる食育に関するイベントや教室、体験活動等を集約する体制を整備し、集約した食育情報は時宜を捉えて市民へ発信する。				
目 標	食育情報集約体制の整備 集約した市内の食育情報の発信回数 月1回以上				
目標に対する実績	市内で行われる食育に関するイベント等の情報発信回数 月1回	市内で行われる食育に関するイベント等の情報発信回数 月1回	市内で行われる食育に関するイベント等の情報発信回数 月1回		
目標達成状況	達成	達成	達成		

★取組状況

	令和5年度	令和6年度
主な事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 市内で行われる食育に関するイベントや教室等を情報収集し、「みんなの食育活動掲示板」として市ホームページに毎月掲載した。 区総合事務所や南北出張所、公民館等の窓口において、紙媒体による「みんなの食育活動掲示板」を配置した。 	<ul style="list-style-type: none"> 市内で行われる食育に関するイベントや教室等を情報収集し、「みんなの食育活動掲示板」として市ホームページに毎月掲載した。 区総合事務所や南北出張所、公民館等の窓口において、紙媒体による「みんなの食育活動掲示板」を配置した。
目標達成状況を踏まえた評価・課題	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「みんなの食育活動掲示板」を市ホームページに毎月掲載し、食育に関するイベントや教室、体験活動などの情報を広く周知した。 紙媒体による「みんなの食育活動掲示板」を毎月発行し、インターネットの利用環境がない市民等に食育情報を提供することができた。 <p>・「みんなの食育活動掲示板」の情報量が少ないとから、庁内食育関係課や食育関係団体等から情報提供を促すなど、掲載情報の充実を図る必要がある。</p>	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「みんなの食育活動掲示板」を市ホームページに毎月掲載し、食育に関するイベントや教室、体験活動などの情報を広く周知した。 紙媒体による「みんなの食育活動掲示板」を毎月発行し、インターネットの利用環境がない市民等に食育情報を提供することができた。 <p>・「みんなの食育活動掲示板」の情報量が少ないとから、庁内食育関係課や食育関係団体等から情報提供を促すなど、掲載情報の充実を図る必要がある。また、紙媒体での周知による効果を見極めながら、新たな情報発信を検討する必要がある。</p>

事業No.及び事業名	30 健康づくり推進協議会の開催
事業担当課	健康づくり推進課
取組の概要	医療機関等の関係機関と連携し、健康や医療の最新状況について情報交換、意識の共有を図り、食育推進施策にいかす。

★年度別計画

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業計画	健康づくり推進協議会を開催し、医療機関等の関係機関との協議から得た知見を、食育推進施策に活用する。				→
目 標	健康づくり推進協議会の開催回数 年2回				→
目標に対する実績	健康づくり推進協議会の開催回数 <u>年2回</u>	健康づくり推進協議会の開催回数 <u>年5回</u>	健康づくり推進協議会の開催回数 年2回		
目標達成状況	達成	達成	達成		

★取組状況

主な事業実績	令和5年度		令和6年度
	・上越市第2次健康増進計画（案）（計画期間：令和6年度～令和17年度）を策定するため、健康づくり推進協議会を年5回開催した。市の健康増進に係る施策の方針を協議するとともに、現行の上越市健康増進計画の評価を行い、次期計画の方針や重点的に取り組む健康課題等を協議した。		・市民の健康づくり活動を包括的に推進するため上越市第2次健康増進計画に基づき、当市の健康に関する現状と課題を共有し、関係機関との情報共有や連携により、総合的な健康づくりの方途及びその実践化について協議した。
目標達成状況を踏まえた評価・課題	<p>【評価】 医療、教育、介護等の関係者と当市の健康課題から見えてきた今後12年間の計画の基本方針や目標、重点取組等を協議し、上越市第2次健康増進計画を策定することができた。</p> <p>【課題】 上越市第2次健康増進計画に示した「栄養・食生活」領域の目標や施策等の進捗状況について協議会委員に情報提供を行い、医療機関等の関係機関との協議から得た知見を、食育推進施策に活用する。</p>	<p>【評価】 医療、教育、介護等の関係者と当市の健康課題等を共有し各関係者の分野においての現状の共有、今後の課題解決に向けた取組について共有することができた。</p> <p>【課題】 上越市第2次健康増進計画に示した「栄養・食生活」領域の目標や施策等の進捗状況について共有、意見交換することはできたが、さらに広く市民へポピュレーションアプローチしていくことに課題がある。</p>	

事業No.及び事業名	3.1 食育に関する積極的な情報提供
事業担当課	農政課、関係課
取組の概要	市ホームページ「上越の食育」や広報上越、メディア等を活用し、市内の食育活動やイベント、食育に関する啓発事項等を積極的にPRする。

★年度別計画

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業計画	市ホームページやSNS、広報上越、メディア等を通じて、市民へ食育情報を定期的に発信する。				→
目標	食育情報の発信回数 月4回以上				→
目標に対する実績	食育情報の発信回数 月4回	食育情報の発信回数 月4回	食育情報の発信回数 月4回		
目標達成状況	達成	達成	達成		

★取組状況

主な事業実績	令和5年度		令和6年度
	令和5年度	令和6年度	令和6年度
<p>・市ホームページ「上越の食育」において、市内の食育情報や食育に関する話題などを「もぐもぐジョッピーの食育気まぐれ日記」として毎月掲載し、広く情報発信した。</p> <p>・教育総務課と連携し、市ホームページに小中学校給食献立表を毎月掲載した。</p> <p>・料理レシピサイト「クックパッド」内の上越市公式ページにおいて、郷土料理や旬の地域食材を使用した料理レシピを毎月配信したほか、市農林水産部インスタグラムを活用し、令和5年度から料理レシピの動画を3本配信した。</p> <p>・市内で行われる食育に関するイベントや教室等を情報収集し、「みんなの食育活動掲示板」として市ホームページに毎月掲載した。</p> <p>・インターネットの利用環境にない市民に対応するため、区総合事務所や南北出張所、公民館等の窓口で「みんなの食育活動掲示板」を紙媒体で配置した。</p> <p>・その他、市ホームページ内の「上越の食育」ページや農林水産部のインスタグラムを活用し、食や農林水産業の魅力について情報発信した。</p>	<p>・もぐもぐジョッピーの食育気まぐれ日記></p> <p>・市ホームページ「上越の食育」において、市内の食育情報や食育に関する話題などを「もぐもぐジョッピーの食育気まぐれ日記」として掲載し、広く情報発信した。</p> <p>・教育総務課と連携し、市ホームページに小中学校給食献立表を毎月掲載した。</p> <p>・料理レシピサイト「クックパッド」内の上越市公式ページにおいて、郷土料理や旬の地域食材を使用した料理レシピを配信したほか、市農林水産部インスタグラムを活用し、令和6年度は料理レシピの動画を4本配信した。</p> <p>・市内で行われる食育に関するイベントや教室等を情報収集し、「みんなの食育活動掲示板」として市ホームページに毎月掲載した。</p> <p>・インターネットの利用環境にない市民に対応するため、区総合事務所や南北出張所、公民館等の窓口で「みんなの食育活動掲示板」を紙媒体で配置した。</p> <p>・その他、市ホームページ内の「上越の食育」ページや農林水産部のインスタグラムを活用し、食や農林水産業の魅力について情報発信した。</p>	<p>・もぐもぐジョッピーの食育気まぐれ日記></p> <p>・市ホームページ「上越の食育」において、市内の食育情報や食育に関する話題などを「もぐもぐジョッピーの食育気まぐれ日記」として掲載し、広く情報発信した。</p> <p>・教育総務課と連携し、市ホームページに小中学校給食献立表を毎月掲載した。</p> <p>・料理レシピサイト「クックパッド」内の上越市公式ページにおいて、郷土料理や旬の地域食材を使用した料理レシピを配信したほか、市農林水産部インスタグラムを活用し、令和6年度は料理レシピの動画を4本配信した。</p> <p>・市内で行われる食育に関するイベントや教室等を情報収集し、「みんなの食育活動掲示板」として市ホームページに毎月掲載した。</p> <p>・インターネットの利用環境にない市民に対応するため、区総合事務所や南北出張所、公民館等の窓口で「みんなの食育活動掲示板」を紙媒体で配置した。</p> <p>・その他、市ホームページ内の「上越の食育」ページや農林水産部のインスタグラムを活用し、食や農林水産業の魅力について情報発信した。</p>	
<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係課と連携し、市ホームページやSNS等を通じて、食育に関する様々な情報を定期的に発信することができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に発信している食育関連情報が市民に確実に届くよう、食育イベント等を通じて、市ホームページで食育情報を発信していることやインスタグラムを開設していることを積極的に周知する必要がある。 	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係課と連携し、市ホームページやSNS等を通じて、食育に関する様々な情報を定期的に発信することができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に発信している食育関連情報が市民に確実に届くよう、食育イベント等を通じて、市ホームページで食育情報を発信していることやインスタグラムを開設していることを積極的に周知する必要がある。 		

事業No.及び事業名	3.2 学校給食だよりの発行による情報提供
事業担当課	教育総務課
取組の概要	毎月、学校給食だよりを発行し、給食献立や旬の食材、地域の食材の紹介などを通じて「食」への関心や知識を高める。

★年度別計画

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業計画	学校給食だよりを作成し、保護者へ提供する。				
目標	給食だよりの発行回数 月1回				
目標に対する実績	給食だよりの発行回数 月1回	給食だよりの発行回数 月1回	給食だよりの発行回数 月1回		
目標達成状況	達成	達成	達成		

★取組状況

主な事業実績	令和5年度	令和6年度
	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒やその保護者に対し、毎月の給食だより等を通じて、給食に関する情報（レシピや旬の食材、地域の伝統的な献立等）を継続的に提供した。 市ホームページにおいて、給食だよりを掲載した。 地元のケーブルテレビ局へ給食だよりを情報提供した。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒やその保護者に対し、毎月の給食だより等を通じて、給食に関する情報（レシピや旬の食材、地域の伝統的な献立等）を継続的に提供した。 市ホームページにおいて、給食だよりを掲載した。 地元のケーブルテレビ局へ給食だよりを情報提供した。
目標達成状況を踏まえた評価・課題	<p>【評価】 児童生徒やその保護者、並びに広く市民に学校給食について情報提供を行うことができた。</p> <p>【課題】 今後も継続して給食だより等を通じて「学校給食情報」を発信し、「食」への関心や知識を高める必要がある。</p>	<p>【評価】 児童生徒やその保護者、並びに広く市民に学校給食について情報提供を行うことができた。</p> <p>【課題】 今後も継続して給食だより等を通じて「学校給食情報」を発信し、「食」への関心や知識を高める必要がある。</p>

事業No.及び事業名	33 「食育月間」や「食育の日」を中心とした食育推進運動
事業担当課	農政課、関係課
取組の概要	6月の「食育月間」や毎月19日の「食育の日」を中心に、市民向けのイベントを開催するほか、市ホームページや広報上越等を通じた食育の実践の定着につながる情報を発信する。

★年度別計画

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業計画	・6月の食育月間に「食育フェア」を開催するとともに、食育の実践につながる食育情報を保育園、学校等に配布し啓発する。 ・毎月19日の食育の日に「もぐもぐジョッピーの食育気まぐれ日記」を市ホームページ、SNSに掲載する。 ・市ホームページや広報上越を通じて、定期的に食育情報を発信する。				
目 標	「食育月間」及び「食育の日」の認知度の向上 (食育市民アンケート結果) — <u>24.3%以上</u> (R3アンケート結果比較)	「食育月間」及び「食育の日」の認知度の向上 (食育市民アンケート結果) — <u>19.0%</u>	「食育月間」及び「食育の日」の認知度の向上 (食育市民アンケート結果) —	「食育月間」及び「食育の日」の認知度の向上 (食育市民アンケート結果) R5アンケート結果以上の値	「食育月間」及び「食育の日」の認知度の向上 (食育市民アンケート結果) R7アンケート結果以上の値
目標に対する実績	食育市民アンケートを実施しないため、目標に対する測定不可	「食育月間」及び「食育の日」の認知度の向上 (食育市民アンケート結果)	食育市民アンケートを実施しないため、目標に対する測定不可		
目標達成状況	—	未達成	—		

★取組状況

主な事業実績	令和5年度	令和6年度
	<p><6月の食育月間における啓発></p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育実践セミナーの開催 開催日：6月17日（土） 場所：高田城址公園オーレンプラザ 内容：調理体験、健康コーナー、 こどもコーナー、食育パネル展示等 参加者：308人 ・市内の保育園、幼稚園、小中学校へ第4次上越市食育推進計画の概要版や国が発行している「食育ガイド」を配布したほか、授業や活動で使用できるデジタルコンテンツを紹介した。 <p><毎月19日の食育の日></p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月19日を目安に「もぐもぐジョッピーの食育気まぐれ日記」を市ホームページや市農林水産部インスタグラムで情報発信した。 ・学校給食において、19日を目安に「食育の日献立」や「ふるさと献立」を提供し、食を考える機会とした。 ・公立保育園では、毎月19日を目安に食育集会を実施し、食について学ぶ機会とした。 	<p><6月の食育月間における啓発></p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育啓発イベントの開催 開催日：6月22日（土） 場所：無印良品 直江津 Open MUJI 内容：調理体験、健康コーナー、 こどもコーナー、食育パネル展示等 参加者：738人 ・市内の保育園、幼稚園、小中学校へ第4次上越市食育推進計画の概要版や国が発行している「食育ガイド」を配布したほか、授業や活動で使用できるデジタルコンテンツを紹介した。 <p><毎月19日の食育の日></p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月19日を目安に「もぐもぐジョッピーの食育気まぐれ日記」を市ホームページや市農林水産部インスタグラムで情報発信した。 ・学校給食において、19日を目安に「食育の日献立」や「ふるさと献立」を提供し、食を考える機会とした。 ・公立保育園では、毎月19日を目安に食育集会を実施し、食について学ぶ機会とした。
目標達成状況を踏まえた評価・課題	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月の食育月間にあわせ、関係課や食育関連団体等と連携して食育実践セミナーを開催し、食育活動の実践につながる機会を提供することができた。 ・毎月19日の食育の日を目安に実施する食育関連事業を通じて、児童や生徒などから食育に関心を持つてもらえるような機会を提供することができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月の食育月間にあわせて食育に関するイベントを開催するほか、毎月19日の食育の日を中心に、保育園や幼稚園、学校、地域へ食育情報を発信し、全市民的な運動として食育に関する取組を継続的に行っていく必要がある。 	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月の食育月間にあわせ、関係課や食育関連団体等と連携して食育実践セミナーを開催し、食育活動の実践につながる機会を提供することができた。 ・毎月19日の食育の日を目安に実施する食育関連事業を通じて、児童や生徒などから食育に関心を持つてもらえるような機会を提供することができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月の食育月間にあわせて食育に関するイベントを開催するほか、毎月19日の食育の日を中心に、保育園や幼稚園、学校、地域へ食育情報を発信し、全市民的な運動として食育に関する取組を継続的に行っていく必要がある。

事業No.及び事業名	34 食育実践セミナーの開催
事業担当課	農政課、関係課
取組の概要	食に関する講演会や食体験を通じて、市民の食への関心を高めるとともに、家族や自らの食生活を考え、食育の実践の定着につながる機会とする「食育実践セミナー」を開催する。

★年度別計画

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業計画	市内の食育関係団体や府内食育推進関係課と連携して、食育実践セミナーを開催する。				
目 標	食育実践セミナーの開催回数 年1回				
目標に対する実績	食育実践セミナーの開催回数 年1回（10月29日）	食育実践セミナーの開催回数 年1回（6月17日）	食育啓発イベントの開催回数 年1回（6月22日）		
目標達成状況	達成	達成	達成		
目 標	食育に関心を持っている市民の割合 —	食育に関心を持っている市民の割合 82.5%	食育に関心を持っている市民の割合 —	食育に関心を持っている市民の割合 87.5%	食育に関心を持っている市民の割合 90%以上
実 績	食育市民アンケートを実施しないため、目標に対する測定不可	食育に関心を持っている市民の割合 70.8%	食育市民アンケートを実施しないため、目標に対する測定不可		
目標達成状況	—	未達成	—		

★取組状況

主な事業実績	令和5年度	令和6年度
	<p>・市民全世代が食への関心を高め、自分や家族の食生活を考える食育の実践の環を広げるため、食育実践セミナーを開催した。</p> <p>＜食育実践セミナー＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：6月17日（土） ・場 所：高田城址公園オーレンプラザ ・内 容：調理体験、健康コーナー、こどもコーナー、食育パネル展示等 ・参加者：308人 <p>＜食育実践セミナー（WEB版）の配信＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭においても食について学べるよう、食育実践セミナーの内容をWEB版として市ホームページで広く公開した。 	<p>・市民全世代が食への関心を高め、自分や家族の食生活を考える食育の実践の環を広げるため、食育実践セミナーを開催した。</p> <p>＜食育啓発イベント＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：6月22日（土） ・場 所：無印良品 直江津 Open MUJI ・内 容：調理体験、健康コーナー、こどもコーナー、食育パネル展示等 ・参加者：738人 <p>＜食育啓発イベント（WEB版）の配信＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭においても食について学べるよう、食育実践セミナーの内容をWEB版として市ホームページで広く公開した。
目標達成状況を踏まえた評価・課題	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育実践セミナーを通じて、食育に関する様々な体験や展示を行い、食育の実践につながるよう啓発活動を行うことができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な団体と協力し連携するとともに、食育推進活動に興味や関心を持ってもらえるよう、さらに充実したイベント内容となるよう検討する必要がある。 	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育啓発イベントを通じて、食育に関する様々な体験や展示を行い、食育の実践につながるよう啓発活動を行うことができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な団体と協力し連携するとともに、食育推進活動に興味や関心を持ってもらえるよう、さらに充実したイベント内容となるよう検討する必要がある。

事業No.及び事業名	35 ★デジタル技術を活用した食育情報の発信
事業担当課	農政課
取組の概要	市民がいつでも手軽に食育情報が入手できるよう、市ホームページやSNSを活用して食育情報を発信する。

★年度別計画

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業計画	市ホームページ及びSNSから食育情報を随時発信する。				→
目 標	市ホームページ及びSNSに食育情報（食育関係情報全て）を発信する回数 月3回以上				→
目標に対する実績	市ホームページ及びSNSに食育情報（食育関係情報全て）を発信する回数 月4回	市ホームページ及びSNSに食育情報（食育関係情報全て）を発信する回数 月4回	市ホームページ及びSNSに食育情報（食育関係情報全て）を発信する回数 月4回		
目標達成状況	達成	達成	達成		

★取組状況

主な事業実績	令和5年度	令和6年度
	<p>※31 食育に関する積極的な情報提供の再掲</p> <p>くもぐもぐジョッピーの食育気まぐれ日記> ・市ホームページ「上越の食育」において、市内の食育情報や食育に関する話題などを「もぐもぐジョッピーの食育気まぐれ日記」として、広く情報発信した。</p> <p><小中学校給食献立表> ・教育総務課と連携し、市ホームページに小中学校給食献立表を毎月掲載した。</p> <p><郷土料理や旬の地域食材を使用した料理のレシピ> ・料理レシピサイト「クックパッド」内の上越市公式ページにおいて、郷土料理や旬の地域食材を使用した料理レシピを毎月配信したほか、市農林水産部インスタグラムを活用し、令和5年度から料理レシピの動画を3回配信した。</p> <p><市内の食育イベント等の情報> ・市内で行われる食育に関連するイベントや教室等を情報収集し、「みんなの食育活動掲示板」として市ホームページに毎月掲載した。 ・インターネットの利用環境にない市民に対応するため、区総合事務所や南北出張所、公民館等の窓口で「みんなの食育活動掲示板」を紙媒体で配置した。 ・その他、市ホームページ内の「上越の食育」ページや農林水産部のインスタグラムを活用し、食や農林水産業の魅力について情報発信した。</p>	<p>※31 食育に関する積極的な情報提供の再掲</p> <p>くもぐもぐジョッピーの食育気まぐれ日記> ・市ホームページ「上越の食育」において、市内の食育情報や食育に関する話題などを「もぐもぐジョッピーの食育気まぐれ日記」として掲載し、広く情報発信した。</p> <p><小中学校給食献立表> ・教育総務課と連携し、市ホームページに小中学校給食献立表を毎月掲載した。</p> <p><郷土料理や旬の地域食材を使用した料理のレシピ> ・料理レシピサイト「クックパッド」内の上越市公式ページにおいて、郷土料理や旬の地域食材を使用した料理レシピを配信したほか、市農林水産部インスタグラムを活用し、令和6年度は料理レシピの動画を4本配信した。</p> <p><市内の食育イベント等の情報> ・市内で行われる食育に関連するイベントや教室等を情報収集し、「みんなの食育活動掲示板」として市ホームページに毎月掲載した。 ・インターネットの利用環境にない市民に対応するため、区総合事務所や南北出張所、公民館等の窓口で「みんなの食育活動掲示板」を紙媒体で配置した。 ・その他、市ホームページ内の「上越の食育」ページや農林水産部のインスタグラムを活用し、食や農林水産業の魅力について情報発信した。</p>
目標達成状況を踏まえた評価・課題	<p>※31 食育に関する積極的な情報提供の再掲</p> <p>【課題】 ・関係課と連携し、市ホームページやSNS等を通じて、食育に関する様々な情報を定期的に発信することができた。</p>	<p>※31 食育に関する積極的な情報提供の再掲</p> <p>【評価】 ・関係課と連携し、市ホームページやSNS等を通じて、食育に関する様々な情報を定期的に発信することができた。</p>
	<p>※31 食育に関する積極的な情報提供の再掲</p> <p>【課題】 ・定期的に発信している食育関連情報が市民に確実に届くよう、食育イベント等を通じて、市ホームページで食育情報を発信していることやインスタグラムを開設していることを積極的に周知する必要がある。</p>	<p>※31 食育に関する積極的な情報提供の再掲</p> <p>【課題】 ・定期的に発信している食育関連情報が市民に確実に届くよう、食育イベント等を通じて、市ホームページで食育情報を発信していることやインスタグラムを開設していることを積極的に周知する必要がある。</p>

事業No.及び事業名	3 6 食の安全に関する情報発信
事業担当課	健康づくり推進課
取組の概要	国、県からの食の安全に関する健康被害情報を市ホームページや広報紙を活用して情報提供する。

★年度別計画

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業計画	県からの食の安全に関する健康被害情報等を市ホームページや広報紙などを活用し、情報提供する。				
目 標	【36、37、38共通目標】食品の安全性について基礎的な知識を持つ、自ら判断する市民の割合 (食育市民アンケート結果) — 全世代 77% 若い世代 66%	【36、37、38共通目標】食品の安全性について基礎的な知識を持つ、自ら判断する市民の割合 (食育市民アンケート結果) — 全世代 77% 若い世代 66%	【36、37、38共通目標】食品の安全性について基礎的な知識を持つ、自ら判断する市民の割合 (食育市民アンケート結果) — 全世代 85% 若い世代 69%	【36、37、38共通目標】食品の安全性について基礎的な知識を持つ、自ら判断する市民の割合 (食育市民アンケート結果) — 全世代 90% 若い世代 70%	
目標に対する実績	食育市民アンケートを実施しないため、目標に対する測定不可	食品の安全性について基礎的な知識を持つ、自ら判断する市民の割合 (食育市民アンケート結果) 全世代 60.7% 若い世代 59.9%	食育市民アンケートを実施しないため、目標に対する測定不可		
目標達成状況	—	未達成	—		

★取組状況

主な事業実績	令和5年度	令和6年度
	広報上越7月号と上越タイムス「上越市民の窓」(6月23日付) 市ホームページで食中毒の予防等「食の安全」に関する情報提供を行った。	広報上越7月号と上越タイムス「上越市民の窓」(6月28日付) 市ホームページで食中毒の予防等「食の安全」に関する情報提供を行った。
目標達成状況を踏まえた評価・課題	<p>【評価】 市ホームページに食中毒予防等「食の安全」に関する情報を掲載することで、市民に情報発信することができた。</p> <p>【課題】 今後も継続して「食の安全」に関する情報を市民に発信していく。</p>	<p>【評価】 市ホームページに食中毒予防等「食の安全」に関する情報を掲載することで、市民に情報発信することができた。</p> <p>【課題】 今後も継続して「食の安全」に関する情報を市民に発信していく。</p>

事業No.及び事業名	37 農林水産物等の放射性物質検査等の情報発信
事業担当課	農村振興課、農林水産整備課
取組の概要	消費者の信頼に応えるため、新潟県等が実施する農林水産物等の放射性物質の検査結果や残留農薬検査結果などを市民に情報提供する。

★年度別計画

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業計画	必要に応じ、県からの農林水産物等の放射性物質の検査結果を市ホームページで周知する。				
目 標	【36、37、38共通目標】食品の安全性について基礎的な知識を持つ、自ら判断する市民の割合 (食育市民アンケート結果) —	【36、37、38共通目標】食品の安全性について基礎的な知識を持つ、自ら判断する市民の割合 (食育市民アンケート結果) 全世代 77% 若い世代 66%	【36、37、38共通目標】食品の安全性について基礎的な知識を持つ、自ら判断する市民の割合 (食育市民アンケート結果) —	【36、37、38共通目標】食品の安全性について基礎的な知識を持つ、自ら判断する市民の割合 (食育市民アンケート結果) 全世代 85% 若い世代 69%	【36、37、38共通目標】食品の安全性について基礎的な知識を持つ、自ら判断する市民の割合 (食育市民アンケート結果) 全世代 90% 若い世代 70%
目標に対する実績	食育市民アンケートを実施しないため、目標に対する測定不可	食品の安全性について基礎的な知識を持つ、自ら判断する市民の割合 (食育市民アンケート結果) 全世代 60.7% 若い世代 59.9%	食育市民アンケートを実施しないため、目標に対する測定不可		
目標達成状況	—	未達成	—		

★取組状況

主な事業実績	令和5年度	令和6年度
	<ul style="list-style-type: none"> 上越市ホームページ「上越の食育」内の食の安全・安心情報ページで、新潟県等が実施する農林水産物等の放射性物質の検査結果や残留農薬検査結果などが掲載された「にいがた食の安全インフォメーション」の外部リンクを表示し、市民への周知を行った。 令和5年度は市内の検査で異常は確認されなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 上越市ホームページ「上越の食育」内の食の安全・安心情報ページにおいて、新潟県等が実施する農林水産物等の放射性物質の検査結果や残留農薬検査結果などが掲載された「にいがた食の安全インフォメーション」の外部リンクを表示し、市民への周知を行った。 令和6年度は市内の検査で異常は確認されなかった。
目標達成状況を踏まえた評価・課題	<p>【評価】 <農村振興課、農林水産整備課> 市内での検査の時期や結果を適宜確認し、周知漏れがないよう努めた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 市内での検査時期や検査結果を適宜確認し、周知漏れがないよう努めた。
	<p>【課題】 <農村振興課、農林水産整備課> 基準値以上の放射性物質が検出された場合には、市ホームページなどで市民に広く情報提供を行い、市民の不安解消に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 基準値以上の放射性物質が検出された場合には、市ホームページなどで速やかに市民に広く情報提供を行い、市民の不安解消に努める。

事業No.及び事業名	38 食品表示に関する普及啓発
事業担当課	農村振興課
取組の概要	市民一人一人が安全で安心な食生活を送ることができるよう、食品表示に関する知識の普及を図る。

★年度別計画

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業計画	県からの食品表示の情報について市ホームページや食育実践セミナーなどのイベントにおいて、情報提供する。				
目 標	【36、37、38共通目標】食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する市民の割合 (食育市民アンケート結果) —	【36、37、38共通目標】食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する市民の割合 (食育市民アンケート結果) 全世代 77% 若い世代 66%	【36、37、38共通目標】食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する市民の割合 (食育市民アンケート結果) —	【36、37、38共通目標】食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する市民の割合 (食育市民アンケート結果) 全世代 85% 若い世代 69%	【36、37、38共通目標】食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する市民の割合 (食育市民アンケート結果) 全世代 90% 若い世代 70%
目標に対する実績	食育市民アンケートを実施しないため、目標に対する測定不可	食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する市民の割合 (食育市民アンケート結果) 全世代 60.7% 若い世代 59.9%	食育市民アンケートを実施しないため、目標に対する測定不可		
目標達成状況	—	未達成	—		

★取組状況

主な事業実績	令和5年度		令和6年度
	・上越市ホームページ「上越の食育」内の食の安全・安心情報ページで、食品表示に関する情報などが掲載された「にいがた食の安全インフォメーション」の外部リンクを表示し、市民への周知を行った。 ・「上越市食育実践セミナー」において、食品表示に関するパネルを展示し、市民の意識啓発を行った。 開催日：令和5年6月17日（土） 会 場：高田城址公園オーレンプラザ		・市ホームページ「上越の食育」内の食の安全・安心情報ページにおいて、食品表示に関する情報などが掲載された「にいがた食の安全インフォメーション」の外部リンクを表示し、市民への周知を行った。 ・「上越市食育啓発イベント」において、食品表示に関するパネルを展示し、市民の意識啓発を行った。 開催日：令和6年6月22日（土） 会 場：無印良品 直江津店内のOpen MUJI
目標達成状況を踏まえた評価・課題	【評価】 親子や子育て世代が多く参加した「上越市食育実践セミナー」で展示することで、広く市民に意識啓発を行うことができた。	【課題】 引き続き、食品表示に関する啓発を行い、食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断できる市民の増加に努める。	・親子や子育て世代が多く参加した「上越市食育啓発イベント」において、食品表示のパネルを展示することで、広く市民に意識啓発を行うことができた。 ・食品表示に関する啓発を継続し、食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断できる市民の増加に努める。

事業No.及び事業名	39 地場産物（青果物）を使用した給食の提供
事業担当課	教育総務課、農政課
取組の概要	関係団体、生産者等と連携し、学校給食への地場産物（青果物）の利用促進を図る。

★年度別計画

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業計画	関係団体等との連携を強化し、地場産物（青果物）の利用を促進する。				→
目 標	学校給食の地場産物（青果物）の使用量の拡大 地場産物（青果物）の使用率 16%以上	学校給食の地場産物（青果物）の使用量の拡大 地場産物（青果物）の使用率 17%以上	学校給食の地場産物（青果物）の使用量の拡大 地場産物（青果物）の使用率 18%以上	学校給食の地場産物（青果物）の使用量の拡大 地場産物（青果物）の使用率 19%以上	学校給食の地場産物（青果物）の使用量の拡大 地場産物（青果物）の使用率 20%以上
目標に対する実績	地場産物（青果物）の使用率 <u>12.58%</u>	地場産物（青果物）の使用率 <u>13.44%</u>	地場産物（青果物）の使用率 <u>13.99%</u>		
目標達成状況	未達成	未達成	未達成		

★取組状況

主な事業実績	令和5年度	令和6年度
	<p>＜教育総務課＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係団体や生産者等との連携により確立してきた地場産野菜の納入体制を基に、年間を通じて情報を共有しながら、給食に地場産野菜を取り入れるよう努めた。 ・全体の野菜使用量に対する地場産野菜使用率目標：17 %以上（3学期末：13.44%） <p>＜農政課＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月6日に学校給食に野菜を提供する農業者をはじめ、JAえちご上越、上越青果などの流通関係者、行政が参集し、「意見交換会」を開催、課題を共有するとともに、引き続き検討していくことを確認した。 ・令和5年4月28日開催の上越地域農業振興協議会園芸振興部会では、令和5年度事業計画や園芸1億円産地計画等の検討を行った。令和6年2月28日に園芸1億円産地計画の取組結果や次年度の取組について検討を行った。（令和5年度：園芸振興部会5回開催、研修会4回開催） 	<p>＜教育総務課＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係団体や生産者等との連携により確立してきた地場産野菜の納入体制を基に、年間を通じて情報を共有しながら、給食に地場産野菜を取り入れるよう努めた。 ・全体の野菜使用量に対する地場産野菜使用率目標：18%以上（3学期末：13.99%） ・秋冬野菜に係る関係団体や生産者等との意見交換会に農政課とともに出席し、取組拡大に向けた課題の情報共有を行った。 <p>＜農政課＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月4日、関係機関・団体で秋冬野菜の学校給食への出荷に関する意見交換会を実施し、合併前上越地域の秋冬野菜の取組拡大と頸城区における農業者の取組拡大に関する意向を確認した。 ・7月9日、JA頸城区担当職員に秋冬野菜の取組について情報収集とあわせ取組拡大の可能性について意見交換を行った。また、集荷業者が同一の板倉区への秋冬野菜出荷の可能性についても意見交換を行った。令和6年から人参生産に取り組むこととし、JAが種子代を支援（4生産者）。 ・10月31日、JAが種子代を支援した生産者の秋冬野菜作付状況の現地確認（頸城区）を実施。
目標達成状況を踏まえた評価・課題	<p>【評価】</p> <p>＜教育総務課＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食での青果物の必要量や地場産野菜の収穫時期について、関係団体等と共有し、献立に反映することができた。 ・地元商店の廃業等により、給食用の地場産野菜の確保が困難となつた地区において、引き続きJAや近隣地区的商店等の協力を得て、地場産野菜の使用につなげることができた。 ・とりわけ合併前上越市において玉ねぎやキャベツ、大根等の生産・供給量が安定したことで、前年度より使用率が上昇した。 <p>＜農政課＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校給食における地場産野菜活用に関する意見交換会を開催したことで、生産者などから現状や課題、利用率向上に向けた取組などについて、率直な意見を聞くことができた。 <p>【課題】</p> <p>＜教育総務課＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元商店の廃業や生産者の減少等により、今後地場産野菜の仕入れが難しくなることが想定されることから、必要量を確保し、安定した納入体制を維持するため、関係団体等との更なる連携強化を図る必要がある。 ・青果物は天候による影響を受けやすいため、地場産野菜の使用率に毎年変動が見られる。 <p>＜農政課＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園芸作付面積は主にえだまめの作付けが拡大しているが、少量多品目の生産者が多く、年間を通じて学校給食に使用できる野菜の種類や数量が確保できていない状況である。 ・引き続き、利用率向上に向けて、関係者と情報共有や意見交換を行っていく必要がある。 	<p>＜教育総務課＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食での青果物の必要量や地場産野菜の収穫時期について、関係団体や学校栄養職員等と共有し、献立に反映することができた。（上越産野菜である枝豆や越の丸なすを給食に使用） ・合併前上越市では、人参、キャベツ等の生産量・供給量が安定したことと、前年度より使用率が上昇した。 ・頸城区では、新たにJAが人参の種子代を支援し、生産者が秋冬野菜の生産量の拡大を図ったことから、前年度より使用率が上昇した。 <p>＜教育総務課＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元商店の廃業や生産者の減少等により、今後地場産野菜の仕入れが難しくなることが想定されることから、必要量を確保し、安定した納入体制を維持するため、関係団体等との更なる連携強化を図る必要がある。 ・市内2つの区に拠点を持つ納入業者が、それぞれの地元で採れた野菜について区を跨いで納入している事例があり、地場産野菜の使用に効果があることから、同様の取組を進める必要がある。 ・青果物は天候による影響を受けやすいため、地場産野菜の使用率に毎年変動が見られる。

事業No.及び事業名	40 ★上越産農産物等の情報発信
事業担当課	農振興課
取組の概要	「上越野菜」を始めとした、上越産農産物等のPR、販売促進及び農産物直売所への誘客を図るため、上越産農産物等に関する情報を発信する。

★年度別計画

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業計画	「上越野菜」を始めとした上越産農産物等に関する情報発信を行う。				
目標	facebookでの情報発信の回数 年24回				
目標に対する実績	facebookでの情報発信の回数 <u>年28回</u>	facebookでの情報発信の回数 <u>年24回</u>	facebookでの情報発信の回数 <u>年34回</u>		
目標達成状況	達成	達成	達成		

★取組状況

主な事業実績	令和5年度		令和6年度
	令和5年度	令和6年度	令和6年度
主な事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 上越産農産物等に関する情報を始め、販売促進に関する補助事業、農場見学ツアーや直売所のイベント情報などについて、facebook、Instagram、市ホームページ、報道機関への情報提供により情報発信を行った。 「上越野菜」を学校給食の食材として使用するとともに、「上越野菜」の生産者に関する情報を給食だより等で児童及び保護者に発信した。 	<ul style="list-style-type: none"> 上越産農産物等に関する情報を始め、販売促進に関する補助事業、農場見学ツアーや直売所のイベント情報などを、facebook、Instagram、市ホームページ、報道機関への情報提供を通じて、広く情報発信を行った。 「上越野菜」を学校給食の食材として使用してもらえるため、小中学校へ働きかけを行った結果、越の丸なすや枝豆が提供される「上越野菜」の日を設けてもらい、あわせて、生産者を紹介するチラシを配布することで「上越野菜」の認知度の向上を図った。 	
目標達成状況を踏まえた評価・課題	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> Facebookでの情報発信回数が年24回となり、目標を達成することができた。 facebookやInstagramを活用することで、上越産農産物等の情報を全国に即时発信することができた。 <p>【課題】</p> <p>イベントの開催案内や開催結果のほか、「上越野菜」を始めとした上越産農産物等に関し、より多くの人から閲覧してもらえるように、引き続き掲載内容を工夫していく必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> Facebookでの情報発信回数が年34回となり、目標を達成することができた。そのほか、Instagramも活用し上越産農産物等の情報発信を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> イベントの開催案内や開催結果のほか、「上越野菜」を始めとした上越産農産物等に関し、より多くの人から閲覧してもらえるように、引き続き掲載内容の工夫や定期的な掲載をしていく必要がある。

事業No.及び事業名	4 1 地産地消推進の店認定事業
事業担当課	農政課
取組の概要	小売店や飲食店等に地域食材を積極的に活用するよう働き掛けるとともに、一定基準以上の地域食材を積極的に活用する店舗に対して認定を行う。 さらに「プレミアム認定店」を認定し、認定店から地産地消の情報発信を行うことで、地産地消の推進を図る。

★年度別計画

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業計画	認定事業を周知し、地域食材を積極的に取り扱う市内の小売店、飲食店等を地産地消推進の店に認定する。				
目 標	認定事業の周知を行い、地域食材を積極的に活用する地産地消推進の店を増やす ・地産地消推進の店 認定数：172軒 ・プレミアム認定店 : 18軒以上	認定事業の周知を行い、地域食材を積極的に活用する地産地消推進の店を増やす ・地産地消推進の店 認定数：174軒	認定事業の周知を行い、地域食材を積極的に活用する地産地消推進の店を増やす ・地産地消推進の店 認定数：176軒	認定事業の周知を行い、地域食材を積極的に活用する地産地消推進の店を増やす ・地産地消推進の店 認定数：178軒	認定事業の周知を行い、地域食材を積極的に活用する地産地消推進の店を増やす ・地産地消推進の店 認定数：180軒
目標に対する実績	・地産地消推進の店 認定数： <u>174軒</u> ・プレミアム認定店 : <u>16軒</u>	地産地消推進の店認定数 <u>169店舗</u>	地産地消推進の店認定数 <u>168店舗</u>		
目標達成状況	未達成	未達成	未達成		

★取組状況

主な事業実績	令和5年度	令和6年度
	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度中に新たに認定した店舗は1店舗のみで、令和5年度末現在の認定店数は169店舗となった。 地産地消の推進と地産地消推進の店の利用促進を目的に、10月15日（日）から11月30日（木）までの間で「地産地消推進キャンペーン」を実施した。（参加店舗数：42店舗、キャンペーン応募件数：2,062件） 地産地消推進の店の認知度向上とデジタル化に対応するため、認定店のホームページや販売促進資材等で使用できるロゴマークを作成した。 プレミアム認定店の募集については、令和4年度第2回地産地消推進会議の意見を踏まえ、2年に1回募集することとした。（次回は令和6年度に募集・認定） 	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度中に新たに認定した店舗は7店舗だったが、店舗都合などによる更新・辞退が8店舗あり、令和6年度末現在の認定店数は168店舗となった。 地産地消の推進と地産地消推進の店の利用促進を目的に、10月15日（火）から11月30日（土）までの間で「地産地消推進キャンペーン」を実施した。（参加店舗数：42店舗、キャンペーン応募件数：2,153件） 地産地消推進の店の認知度向上とデジタル化に対応するため、認定店のホームページや販売促進資材等で使用できるロゴマークを作成した。 プレミアム認定店の募集を行い、小売店2店舗、飲食店6店舗が新たに認定され、令和7年4月1日現在で小売店4店舗、飲食店等18店舗の計22店舗となった。
目標達成状況を踏まえた評価・課題	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地産地消推進キャンペーンでは、昨年度よりも多い42店舗から参加いただいた。応募数は減少したが、多くの市民や観光客からキャンペーンに参加していただくことができた。 地産地消推進の店ロゴマークのデザイン募集や一般投票による選考の過程において、市民の皆さんが地産地消推進の取組に関心を持つ機会を提供することができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 認定基準を満たすと思われる店舗へ申請を促すなど、認定店の増加に向けた取組を進める。 地産地消推進キャンペーンは、さらに多くの市民や観光客から参加していただけるよう広く周知する必要がある。 作成したロゴマークは、地産地消推進の店の新たなシンボルとして、認定店のホームページや店頭の販売促進資材などに活用していただけるよう促進する必要がある。 	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地産地消推進キャンペーンでは、42店舗から参加いただいた。応募数は増加し、多くの市民や観光客からキャンペーンに参加していただくことができた。 地産地消推進の店ロゴマークの使用マニュアルを作成し、横展開を図っていくことができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 認定基準を満たすと思われる店舗へ申請を促すなど、認定店の増加に向けた取組を進める。 地産地消推進キャンペーンは、さらに多くの市民や観光客から参加していただけるよう広く周知する必要がある。 作成したロゴマークは、地産地消推進の店の新たなシンボルとして、認定店のホームページや店頭の販売促進資材などに活用していただけるよう促進する必要がある。

事業No.及び事業名	4.2 農産物直売所と消費者のつながり強化
事業担当課	農振興課
取組の概要	消費者に上越の食と農の魅力を知ってもらい、積極的に選んでもらえるよう、直売所と消費者がつながる機会を提供する。

★年度別計画

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業計画	消費者と直売所がつながる機会を提供する直売所を知るツアーやイベントを開催する。	消費者と直売所がつながる機会を提供するイベントを開催する。			
目標	事業の参加者数 10人	事業の参加者数 50人			
目標に対する実績	事業の参加者数 <u>33人</u>	事業の参加者数 <u>60人</u>	事業の参加者数 <u>162人</u>		
目標達成状況	達成	達成	達成		

★取組状況

主な事業実績	令和5年度	令和6年度
	<ul style="list-style-type: none"> 7月8日(土)～9月30日(土)まで「直売所祭り」と題して、市内7か所の直売所を巡り、一定金額以上の商品を購入しレシートを集めて応募すると豪華景品が当たるイベントを開催した。 応募者数：60人 地元報道機関に直売所のイベント等の情報掲載を依頼し、市民への周知を行ったほか、市ホームページ、SNSで情報発信を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 7月27日(土)～8月31日(土)まで「直売所祭り」と題して、市内7か所の直売所を巡るスタンプラリーを開催し、スタンプを集めて応募すると豪華景品が当たるイベントを開催した。 参加者数：162人 地元報道機関に直売所のイベント等の情報掲載を依頼し、市民への周知を行ったほか、SNS等で情報発信を行った。
目標達成状況を踏まえた評価・課題	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「直売所祭り」について、R4年度の反省を踏まえ、消費者がより参加しやすい応募方法に見直したほか、景品内容を見直したことにより、目標を達成することができた。 イベント開催や情報発信することで、市内直売所の利用促進と食と農の魅力を発信することができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 直売所の利用促進に向け、引き続き「直売所祭り」を開催する。 より多くの消費者から参加いただけるよう、応募方法や景品、期間など事業内容を検討する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 消費者がより参加しやすい応募方法にしたほか、景品内容の見直しやチラシのデザインを工夫したことにより、目標を大幅に超えて、達成することができた。 イベントの開催を報道機関へ情報提供することで、市内直売所の利用促進と魅力を市民へ発信することができた。 <p>・応募者の声では、「直売所祭り」により初めて訪れた直売所があったなど、消費者と直売所がつながる機会を提供する重要なイベントとなっていることから、今後も継続的に行う必要がある。</p>

事業No.及び事業名	4 3 農林漁業体験活動等の情報提供
事業担当課	農村振興課
取組の概要	市内で行われている農林漁業体験活動等の情報をとりまとめ、情報提供を行う。

★年度別計画

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業計画	市ホームページや広報上越等による情報提供を行う。				→
目 標	市民が容易に農林漁業体験に関する情報を入手できるようにする 情報の提供と更新				→
目標に対する実績	上越市ホームページと広報上越にて、情報の提供を行った。	上越市ホームページと広報上越にて、情報の提供を行った。	上越市ホームページと広報上越にて、情報の提供を行った。		
目標達成状況	達成	達成	達成		

★取組状況

主な事業実績	令和5年度	令和6年度
	<ul style="list-style-type: none"> ・上越市ホームページ「上越の食育」内の食育体験メニュー・指導者紹介ページで、グリーン・ツーリズムやNPO法人等による体験活動などの情報が掲載された外部リンクを表示し、市民への情報提供を行った。 ・また、市内のNPO法人等が実施する農林漁業体験イベントの情報を広報上越を通じて提供した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページ「上越の食育」内の食育体験メニュー・指導者紹介ページで、グリーン・ツーリズムやNPO法人等による体験活動などの情報が掲載された外部リンクを表示し、市民への情報提供を行った。 ・広報上越を通じて、市内のNPO法人等が実施する農林漁業体験イベントの情報を広報上越を通じて提供を行った。
目標達成状況を踏まえた評価・課題	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上越市ホームページに農林漁業体験に関する外部リンクを表示することにより、市民が常時情報を把握できる環境を提供した。 ・農業体験イベントを広報上越に掲載することにより、多くの市民に情報発信することができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上越市ホームページに掲載する情報を適宜更新していく必要がある。 ・市内で行われている農林漁業体験活動等の情報をより広く把握し、情報提供する必要がある。 	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページ（上越の食育・食育体験メニュー・指導者紹介）に農林漁業体験に関する外部リンクを表示することにより、市民が常時情報を把握できる環境を提供した。 ・農業体験イベントを広報上越に掲載することにより、多くの市民に情報発信することができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページに掲載する情報については、時期を逸すことなく適宜更新していく必要がある。 ・市内で行われている農林漁業体験活動等の情報をより広く把握し、情報提供する必要がある。

事業No.及び事業名	4 4 都市・農村交流促進
事業担当課	農振興課
取組の概要	こだわりを持った地域農産物の購入や市民農園等での農作業体験を楽しみとする都市住民に、食や農への認識を深める機会を広く提供し、都市と農村の交流活動を促進する。

★年度別計画

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業計画	農作業体験やオンライン等による都市との交流事業を実施する。				
目 標	都市との交流体験者数 330人	都市との交流体験者数 330人	都市との交流体験者数 350人	都市との交流体験者数 350人	都市との交流体験者数 350人
目標に対する実績	都市との交流体験者数 <u>108人</u>	都市との交流体験者数 <u>380人</u>	都市との交流体験者数 <u>363人</u>		
目標達成状況	未達成	達成	達成		

★取組状況

主な事業実績	令和5年度	令和6年度
	<ul style="list-style-type: none"> ・都市生協パルシステム東京の組合員が当市を訪れての交流体験（田植え体験、稻刈り体験、中山間スタディツアーや大根収穫体験、酒仕込み体験）を5回、東京に出向き体験交流（味噌作り体験、そば打ち体験、棚田米学習会）を5回、オンライン交流会を2回開催し、パルシステム東京と取引のある商品のPRと販売促進を図るとともに当市の食と農に対する理解や関心を深めることができた。 <u>交流者数：328人（生協パルシステム東京組合員）</u> ・大島ふるさと農園田植え・稻刈り体験参加者数：52人 	<ul style="list-style-type: none"> ・都市生協であるパルシステム東京の組合員が当市を訪れての交流体験（田植え体験、稻刈り体験、中山間スタディツアーや酒仕込み体験）を4回、東京に出向き体験交流（味噌作り体験2回、棚田米学習会1回）を3回、オンライン交流会、パルシステム東京職員研修を開催し、パルシステム東京で取引のある商品のPRと販売促進を図るとともに当市の食と農に対する理解や関心を深めることができた。 交流者数：287人 (生協パルシステム東京組合員、職員) ※パルシステム東京からの申し出により、体験交流回数が3回減ったことからR5年度に比べ41人の減となった。 ・大島ふるさと農園田植え・稻刈り体験参加者数：76人
目標達成状況を踏まえた評価・課題	<p>【評価】 産地交流事業の開催回数を増やすことができたため、交流体験者数が令和4年度から大幅に増加し、目標を達成することができた。 また、交流体験事業やオンライン交流会を通して、組合員から産地の想いやこだわりをもった当市の農産物への理解を深めてもらうことで、当市のファンの獲得、上越産品の購入意欲の向上に繋がった。</p> <p>【課題】 引き続き、子供から大人まで参加をしてもらえるよう、交流会のスケジュールや体験内容の見直しなどを行い、魅力的な体験事業となるよう検討する必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある産地交流事業を実施したことから、目標を達成することができた。 ・交流体験事業やオンライン交流会を通して、組合員から産地の想いやこだわりをもった当市の農産物への理解を深めてもらうことで、当市のファンの獲得と上越産品の購入意欲の向上につなげることができた。 <p>・子供から大人まで世代を問わず参加をしてもらえる魅力的な体験事業となるよう、スケジュールや体験内容の見直しなどを継続的に行っていく必要がある。</p>

事業No.及び事業名	4 5 環境保全型農業の推進
事業担当課	農政課
取組の概要	今後ニーズが見込まれる有機農産物に対応するため、有機農業に取り組んでいる農業者を講師に、有機農業の実情を学ぶ研修会を開催し、有機農業に取り組む農業者の裾野を拡大する。

★年度別計画

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業計画	食の安全や自然環境の保全につながる有機農産物の生産を推進するため、農業者に対し、環境保全型農業直接支払交付金を活用し支援する。				
目 標	環境保全型農業に取り組んでいる面積の維持と、有機農業に取り組んでいる面積の拡大 環境保全型農業に取り組んでいる面積 : 1,896ha うち、有機農業に取り組んでいる面積 : 75ha	環境保全型農業に取り組んでいる面積の維持と、有機農業に取り組んでいる面積の拡大 環境保全型農業に取り組んでいる面積 : 1,896ha うち、有機農業に取り組んでいる面積 : 75ha	環境保全型農業に取り組んでいる面積の維持と、有機農業に取り組んでいる面積の拡大 環境保全型農業に取り組んでいる面積 : 1,896ha うち、有機農業に取り組んでいる面積 : 80ha	環境保全型農業に取り組んでいる面積の維持と、有機農業に取り組んでいる面積の拡大 環境保全型農業に取り組んでいる面積 : 1,896ha うち、有機農業に取り組んでいる面積 : 85ha	環境保全型農業に取り組んでいる面積の維持と、有機農業に取り組んでいる面積の拡大 環境保全型農業に取り組んでいる面積 : 1,896ha うち、有機農業に取り組んでいる面積 : 90ha
目標に対する実績	環境保全型農業に取り組んでいる面積 <u>1,513ha</u> うち、有機農業に取り組んでいる面積 <u>62ha</u>	環境保全型農業に取り組んでいる面積 <u>1,516ha</u> うち、有機農業に取り組んでいる面積 <u>62ha</u>	環境保全型農業に取り組んでいる面積 <u>1,484ha</u> うち、有機農業に取り組んでいる面積 <u>63ha</u>		
目標達成状況	未達成	未達成	未達成		

★取組状況

主な事業実績	令和5年度	令和6年度
	<R5年度環境保全型農業直接支払交付金取組（確定）> ・取組面積 : 652ha ・交付金額 : 36,848,000円 ・取組内容 : 堆肥の施用 カバークロップ 長期中干し 秋耕 有機農業 冬期湛水管理 I P M (秋耕)	<R6年度環境保全型農業直接支払交付金取組（確定）> ・取組面積 : 790ha ・交付金額 : 36,763,520円 ・取組内容 : 堆肥の施用 カバークロップ 長期中干し 秋耕 有機農業 冬期湛水管理 I P M (秋耕)
目標達成状況を踏まえた評価・課題	【評価】 ・夏の高温、渇水の影響により計画どおり取り組みを実施できないほ場があったことなどにより、目標の達成には至らなかった。	【評価】 ・緑肥種子の価格高騰を踏まえ、カバークロップの取組の中止やカバークロップよりも交付単価の低い別の取組への変更があったほか、令和5年の渇水の影響により、冬期湛水の取組の中止や冬期湛水よりも交付単価の低い別の取組へ変更した組織があったことなどにより、目標の達成には至らなかった。
	【課題】 ・農業者が高齢化しており、労働力不足が深刻化し、環境保全型農業の維持・拡大が困難になる見込みがあることから、今後も環境保全型農業に新たに取り組む農業者の確保などについて、「みどりの食料システム戦略」をはじめとした、他事業との連携も含め、検討を行う必要がある。	【課題】 ・農業者が高齢化しており、労働力不足が深刻化し、環境保全型農業の維持・拡大が困難になる見込みがあることから、今後も環境保全型農業に新たに取り組む農業者の確保などについて、「みどりの食料システム戦略」をはじめとした、他事業との連携も含め、検討を行う必要がある。

事業No.及び事業名	4 6 ★環境と調和した方法で作られた農林水産物や食品の消費喚起
事業担当課	農政課
取組の概要	持続可能な農林水産業の発展につなげるため、市民に対し化学合成農薬や化学肥料の使用を控えた環境と調和した生産方法による農林水産物や食品を消費することの意義を伝え、市民の消費につなげる。

★年度別計画

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業計画	環境と調和した生産方法による農林水産物の消費を推進するため、市民に対し、それらを消費することの意義を発信する。				→
目 標	環境に配慮した農林水産物・食品を選ぶ市民の割合 (食育市民アンケート結果) —	環境に配慮した農林水産物・食品を選ぶ市民の割合 (食育市民アンケート結果) 65%	環境に配慮した農林水産物・食品を選ぶ市民の割合 (食育市民アンケート結果) —	環境に配慮した農林水産物・食品を選ぶ市民の割合 (食育市民アンケート結果) 72%	環境に配慮した農林水産物・食品を選ぶ市民の割合 (食育市民アンケート結果) 75%以上
目標に対する実績	食育市民アンケートを実施しないため、目標に対する測定不可	環境に配慮した農林水産物・食品を選ぶ市民の割合 (食育市民アンケート結果) 55.6%	食育市民アンケートを実施しないため、目標に対する測定不可		
目標達成状況	—	未達成	—		

★取組状況

主な事業実績	令和5年度		令和6年度
	<にいがたオーガニックフェスタにおける有機農業の紹介> 10月29日（日）に開催した「にいがたオーガニックフェスタ」（にいがたオーガニックフェスタ実行委員会主催）を後援し、市民に対し有機農業を紹介することで、環境と調和した農産物への理解を促進した。		<にいがたオーガニックフェスタにおける有機農業の紹介> 10月27日（日）に開催した「にいがたオーガニックフェスタ」（にいがたオーガニックフェスタ実行委員会主催）を後援し、市民に対し有機農業を紹介することで、環境と調和した農産物への理解を促進した。
目標達成状況を踏まえた評価・課題	<p>【評価】 昨年度に引き続き、有機農業に関心のある農業者・料理人・消費者・流通業者の4者間の交流を図るイベントに参加し、環境に配慮した農業の取組をPRすることができた。</p> <p>【課題】 オーガニックフェスタ等を通じ、有機農産物への関心は年々高まっていることから、継続してPRし消費を促すことで、生産者の拡大にもつなげていく必要がある。</p>		<p>【評価】 昨年度に引き続き、有機農業に関心のある農業者・料理人・消費者・流通業者の4者間の交流を図るイベントに参加し、環境に配慮した農業の取組をPRすることができた。</p> <p>【課題】 オーガニックフェスタ等を通じ、有機農産物への関心は年々高まっていることから、継続してPRし消費を促すことで、生産者の拡大にもつなげていく必要がある。</p>

事業No.及び事業名	47 食品ロス削減に向けた取組の推進
事業担当課	農政課
取組の概要	食品ロスの削減は、資源の有効活用や環境負荷の低減はもとより、食の大切さを再認識することにもつながることから、家庭や外食時における食品ロス削減に向けた取組を啓発する。

★年度別計画

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業計画	市ホームページやSNS、イベントにおいて食品ロスの現状や削減に向けた方策を周知する。				→
目 標	宴会時の食べきり運動「食の宝庫上越 おいしく残さず食べ切ろう20・10運動」を始めとした食品ロス削減に向けた取組の啓発回数 年3回以上				→
目標に対する実績	・年3回 ・その他、市ホームページで継続的に啓発	・年3回 ・その他、市ホームページで継続的に啓発	・年3回 ・その他、市ホームページで継続的に啓発		
目標達成状況	達成	達成	達成		
目 標	食品ロス削減のために何らかの行動をしている市民の割合(食育市民アンケート結果) — 92%以上	食品ロス削減のために何らかの行動をしている市民の割合(食育市民アンケート結果) — 92%以上	食品ロス削減のために何らかの行動をしている市民の割合(食育市民アンケート結果) — 92%以上	食品ロス削減のために何らかの行動をしている市民の割合(食育市民アンケート結果) 92%以上	食品ロス削減のために何らかの行動をしている市民の割合(食育市民アンケート結果) 92%以上
目標に対する実績	食育市民アンケートを実施しないため、目標に対する測定不可 — 90.5%	食品ロス削減のため何らかの行動をしている市民の割合(食育市民アンケート結果) — 90.5%	食育市民アンケートを実施しないため、目標に対する測定不可 —		
目標達成状況	—	未達成	—		

★取組状況

主な事業実績	令和5年度	令和6年度
	<ul style="list-style-type: none"> 6月の「食育推進月間」にあわせて実施した食育実践セミナーにおいて、食品ロス削減に関するパネル展示を行ったほか、フードドライブを開設し食品の寄付を受け付けた。 10月の「食品ロス削減月間」にあわせ、広報上越（10月からの連載）を活用し、食品ロスの現状と削減に向けた対策等について啓発した。（記事は生活環境課が作成） 10月開催の農林水産フェスティバルにおいて、食品ロス削減に関するパネル展示を行うとともに、フードドライブを開設し食品の寄付を受け付けた。 宴会時の食べ切りを呼びかけるため、「食の宝庫上越 おいしく残さず食べ切ろう 20・10運動」を市ホームページでの紹介を継続している。 	<ul style="list-style-type: none"> 6月の「食育推進月間」にあわせて実施した食育啓発イベントにおいて、食品ロス削減に関するパネル展示を行ったほか、フードドライブを開設し食品の寄付を受け付けた。 10月の「食品ロス削減月間」にあわせ、広報上越を活用し、食品ロスの現状と削減に向けた対策等について啓発した。 10月開催の農林水産フェスティバルにおいて、食品ロス削減に関するパネル展示を行うとともに、フードドライブを開設し食品の寄付を受け付けた。 宴会時の食べ切りを呼びかけるため、「食の宝庫上越 おいしく残さず食べ切ろう 20・10運動」を市ホームページでの紹介を継続している。
目標達成状況を踏まえた評価・課題	【評価】 ・各種取組を通じて、食品ロスの現状や削減に向けた対策等について啓発することができた。 ・食育実践セミナー及び上越市農林水産フェスティバルで開設したフードドライブにおいて、実際に家庭などで余っている食品を寄付いただいたことで、食品ロス対策の一助となった。	【評価】 ・各種取組を通じて、食品ロスの現状や削減に向けた対策等について啓発することができた。 ・食育啓発イベント及び上越市農林水産フェスティバルで開設したフードドライブにおいて、実際に家庭などで余っている食品を寄付いただいたことで、食品ロス対策の一助となった。
	【課題】 ・食品ロス対策については、消費者への地道な啓発活動が重要であるため、食育に関するイベント等を通じて、継続的に啓発していく必要がある。	【課題】 ・食品ロス対策については、消費者への地道な啓発活動が重要であるため、食育に関するイベント等を通じて、継続的に啓発していく必要がある。

令和7年度食育啓発イベントの 報告について



令和7年度 第1回上越市食育推進会議

「令和7年度上越市食育啓発イベント」の開催結果について



- 市民全世代が食への関心を高め、自分や家族の食生活を考える食育の実践の環を広げる機会を提供し、市の食育を推進するため、6月の食育月間にあわせて、郷土料理などをテーマに食育啓発イベントを開催した。

項目	内容
日 時	令和7年6月28日(土) (午前10時から午後4時まで)
会 場	無印良品 直江津 Open MUJI
主 催	上越市、上越市農林水産業振興協議会
出 展	<ul style="list-style-type: none">・上越市 (農政課、農村振興課、上越市創造行政研究所、健康づくり推進課、幼児保育課、上越ものづくり振興センター、教育総務課)・上越地域振興局健康福祉環境部・新潟県栄養士会上越支部
参 加 者	497人 (令和6年度738人)

毎年6月は食育月間です

／もぐもぐジョッピーと学ぼう／

食べる楽しさ学ぶ驚き

とき 6/28 土
10:00~16:00

ところ 無印良品 直江津 Open MUJI
(西本町3-8-8 直江津ショッピングモール 2F)

上越市食育推進キャラクター
もぐもぐジョッピー

かわいい！「みそまる」作り体験

おみそだし、具材をまるめて作る「みそまる」。お湯を注ぐだけで美味しいお味噌汁になります

時間 10:00~12:00 定員 先着100名
参加費 無料 申込み 不要

簡単！オリジナル笹寿司を作ろう！

笹の葉にごはんと具材をのせて、世界上ひとつだけの笹寿司を作ろう！1人1枚、トッピングは自由、七タバンジンもおすすめ！

体験時間 約30分 (笹の豆知識&作り方説明含む)

1回目 12:30~ 2回目 13:15~
3回目 14:00~ 4回目 14:45~

定員 各回9組(申込多数の場合抽選)

参加費 無料

特典 笹の葉プレゼント(1組5枚)
郷土料理「のっべ」のふるまい付き！

申込み 6月18日(水)までに
電子申請システムまたは市農政課
(025-520-5747)へ

※景品がなくなり次第終了です。お早めに！

電子申請システム

うら面へ

○簡単!オリジナル笹寿司を作ろう[参加者:28組72名](新潟県栄養士会上越支部)



笹の葉にごはんと具材をのせて、郷土料理の笹寿司を作る体験を行いました。また、地産地消推進の店「プレミアム認定店」の協力を得て、郷土料理「のっぺ」のふるまいを実施しました。



○「みそまる」作り体験[参加者:105名](上越ものづくり振興センター)

味噌と乾燥具材をまるめて、お湯を注ぐと味噌汁になる「みそまる」作り体験には、105名の方から参加いただきました。





○郷土料理について(農政課、教育総務課など)

上越の郷土料理などをパネルなどに展示を行いました。



上越地域で昔から食べられてきた食品の紹介や、給食週間での献立・レシピなどを通して学校給食の魅力を発信しました。



生活習慣病予防と野菜(健康づくり推進課)、公立保育園の食育大作戦(幼児保育課)



生活習慣病予防とし、子どもから大人までの1日の野菜の目安量を分かりやすく紹介したほか、公立保育園での食育の取り組みを紹介しました。



「上越野菜」などの紹介(農村振興課)

「上越野菜」レシピ動画や「棚田米」PR動画の放映や、「上越野菜」の展示やパネルなどの展示を行いました。





○ もぐもぐジョッピーのワクワクくじ引きの実施

- 多くの人がイベントに参加できるようくじ引きを実施
- 食育クイズラリー、アンケートなどに回答すると「くじ」が一回引ける
- 景品は地場産のものを用意

**もぐもぐジョッピーの
ワクワクくじ引き！**

地場産のうれしい景品が
その場で当たる！

参加方法（どれか1つでOK）

①【小学生以下】食育クイズラリーに参加して回答提出！
②【中学生以上】アンケートに答えて提出！
③【全年代】体験<みそまるOR笹寿司>後に、上越市農林水産部
インスタグラムをフォローし、#上越の食育 をつけて
投稿→画面を見てね



○ 食育啓発イベントアンケートの実施（回答数=134 <男=31 女=90 無回答=13>）

食育啓発イベントアンケート～上越市の食文化を見つめ直そう～

このアンケートは、上越市の伝統的な食文化や郷土料理について、皆様のご意見を伺い、今後の食育活動などに役立てることを目的としています。ご協力をお願いいたします。



問1 上越市の郷土料理と聞いて、思い浮かべるものは何ですか？（3つまで✓してください）

- 笹寿司 押し寿司 けんさん焼き する天 のっぺい くじら汁 たけのこ汁
 スキーチ おぼろ汁 メギス料理 サメ料理（煮凝り、フライなど） えご（えごねり）
 缶団子 みょうが団子 ちまき 缶餅 その他（_____）

問2 以下の項目は、1978年の論文[※]から、上越地域に特徴的、あるいは現在では珍しい可能性のあるものを抜き出したものです。食べたことがある料理全てに✓をつけてください。（複数回答可）

- アンブ（あんぽ） もぐさ団子 ジョロウアザミの煮物 ののば（ツリガネニンジン）
 鰯子の麹漬け みずな（ウワバミソウ）漬物 ぜんまい入り雑煮 ジンギスカン
 その他（珍しい郷土料理があれば記入：_____） 全てなし

※ 洪谷歌子ほか、新潟県の郷土食に関する研究（第1報）（1978）、県立新潟女子短期大学研究紀要、第15集、p127-141の「表6 伝統的食べ物」から抜粋

問3 上記論文では、他の地域にはない「スキ焼き」、「ジンギスカン」が冬の伝統的食べ物として記載されました。これらの料理について、どのようなイメージをお持ちですか？（複数回答可）

- 家庭料理として一般的 飲食店で提供される料理 昔の上越地域特有の食べ物
 お祝い事や特別な日に食べる 普段の食事でよく食べる 旅行先で食べるもの
 他の地域でも食べられているもの その他（_____）

問4 あなたは「のっぺい」を食べたことがありますか？

- ある ない（「ない」と答えた方は、問12に進んでください。）

問5 あなたは、「のっぺい」をどのように呼んでいますか？

- ののっぺい ののっぺ いとこ煮 こくしょう のうへい おおびら
 こにもん だいかい こくしうざい その他（具体的に：_____）

問6 「のっぺい」を食べる時期と頻度について教えてください。

- a. 食べる時期（複数回答可）
 お正月 法事 結婚式 おもてなし料理 日常食 お盆 その他（_____）
b. 食べる頻度
 月1回以上 年に3回程度 年に6回程度 年に1回程度 ほとんど食べない
 その他（具体的に：_____）

問7 「のっぺい」はどのようにして食べることが多いですか？

- 家で作る 飲食店で食べる スーパーなどで買って食べる その他（_____）

裏面へ→

問8 問7で「家で作る」を選んだ方に質問します。ご家庭で「のっぺい」を作るとき、主に作る方は誰ですか？

- 私 配偶者 父 母 祖父 祖母 その他の家族 その他（_____）

問9 あなたがよく食べる「のっぺい」に入っている食材はどれですか？（複数回答可）

- 鮭 イクラ 鶏肉 豚肉 貝柱 かまぼこ ちくわ 豆腐 油揚げ
 里芋 人参 大根 白菜 ごぼう しいたけ さやえんどう たけのこ
 銀杏 こんにゃく 片栗粉 その他（具体的に：_____）

問10 あなたは「のっぺい」が好きですか？

- 好き 普通 嫌い

問11 問10で「好き」と答えた方にお聞きします。「のっぺい」のどんなところが好きですか？（複数回答可）

- 新潟の伝統料理だから 家庭の味だから 里芋のぬめりが好き 里芋の食感が好き
 食材が多く健康的だから その他（具体的に：_____）

問12 上越市の郷土料理を、今後も残していくために重要だと思うことは何ですか？（複数回答可）

- 家庭で伝える 学校給食で提供 イベントでPR 観光に活用 飲食店で提供を増やす
 メディアで紹介 特になし その他（具体的に：_____）

問13 今回のイベントに参加されたきっかけを教えてください。（複数回答可）

- チラシを見て 学校からのお知らせ 家族や友人から聞いて
 SNS（Instagram等） 広報上越 その他（具体的に：_____）

問14 今回のイベントに参加する前の、あなたの「食」への関心度はどのくらいでしたか。

- 関心がある どちらかといえば関心がある どちらかといえば関心がない 関心がない

問15 今回のイベントに参加して、あなたの「食」への関心度はどのように変化しましたか。

- ほとんど変化がなかった 少し高まった 高まった 非常に高まった

問16 今回のイベントについてのご感想や、今後体験してみたいこと、ご意見・ご要望などがありましたらご自由にお書きください。

[Large empty box for writing responses.]

以下は任意です。（あなたご自身の性別、年齢、住まいを教えてください。）

性別 ア 男性 イ 女性 ウ 無回答

年齢 10代以下 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80代以上

住まい 市内（□ 合併前上越市 _____区） 市外（_____市）

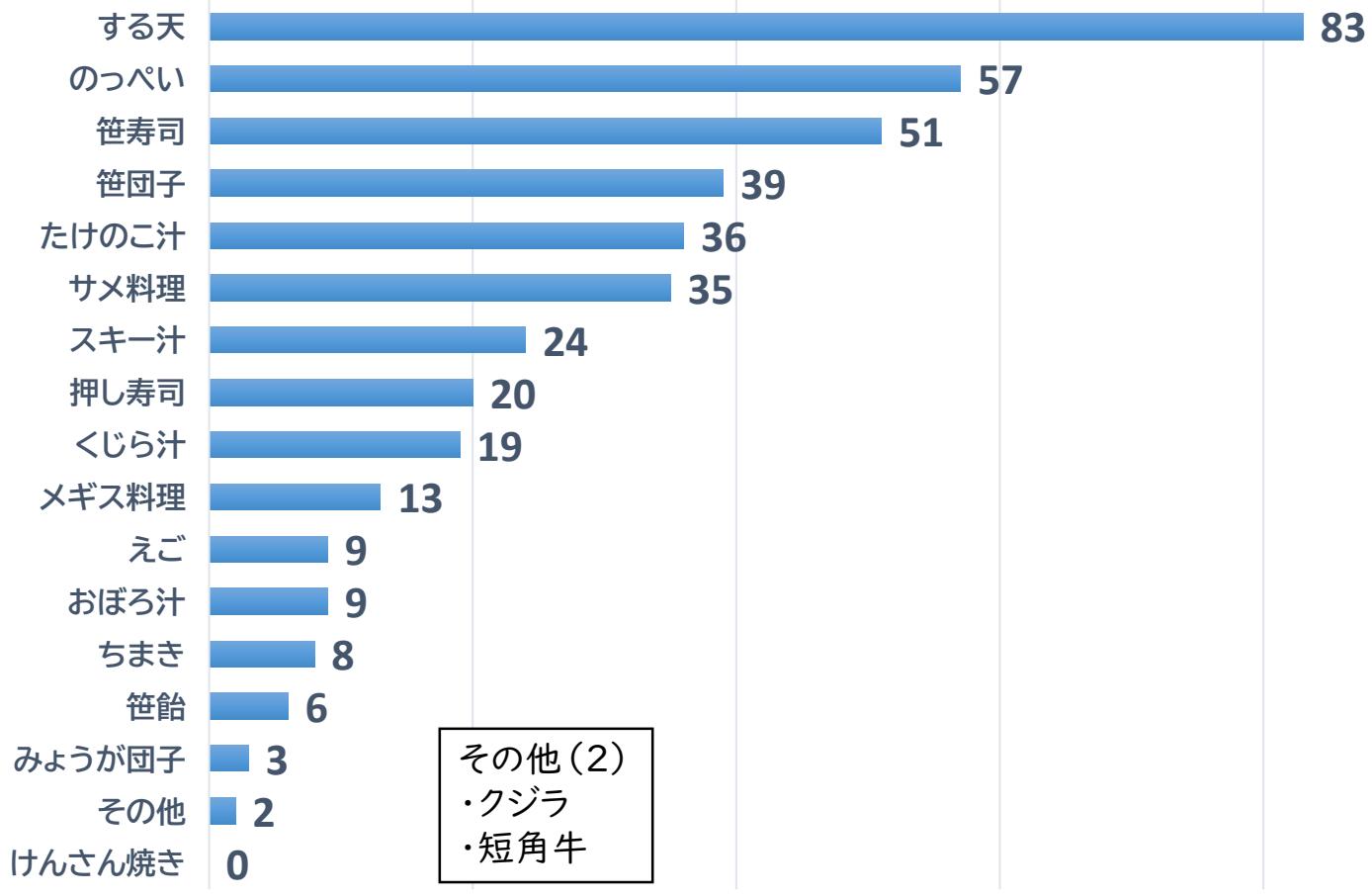
※以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。



○アンケート結果(問1)

問1 上越市の郷土料理と聞いて、思い浮かべるものは何ですか？(3つまで☑してください)

上越の郷土料理と聞いて、思い浮かべるもの



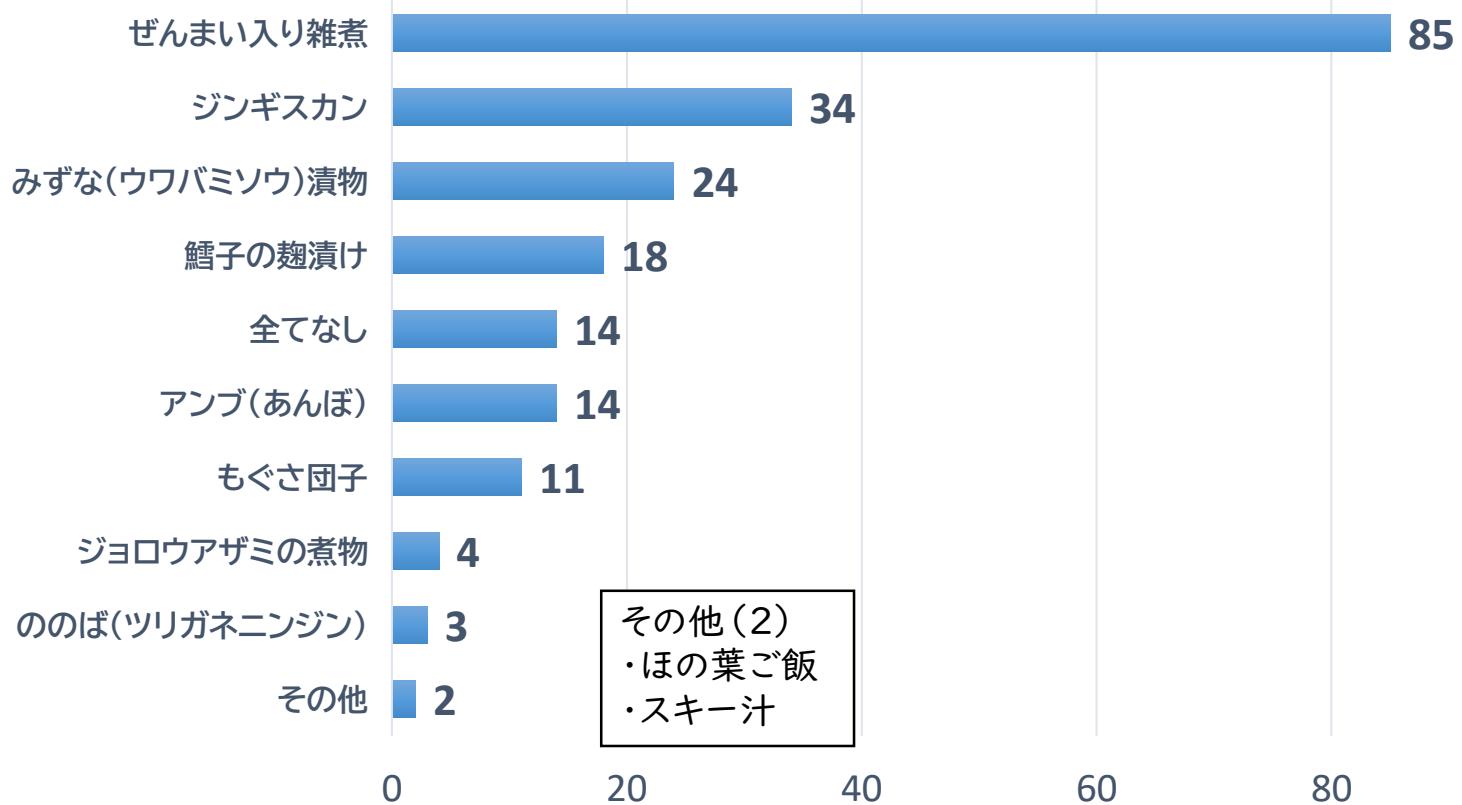


○アンケート結果(問2)

問2 以下の項目は、1978年の論文※から、上越地域に特徴的、あるいは現在では珍しい可能性のあるものを抜き出したものです。食べたことがある料理全てに✓をつけてください。(複数回答可)

※ 渋谷歌子ほか, 新潟県の郷土食に関する研究(第1報)(1978), 県立新潟女子短期大学研究紀要, 第15集, p127-141の「表6伝統的食べ物」から抜粋

上越地域に特徴的、珍しい可能性のある郷土料理を食べたことがあるか

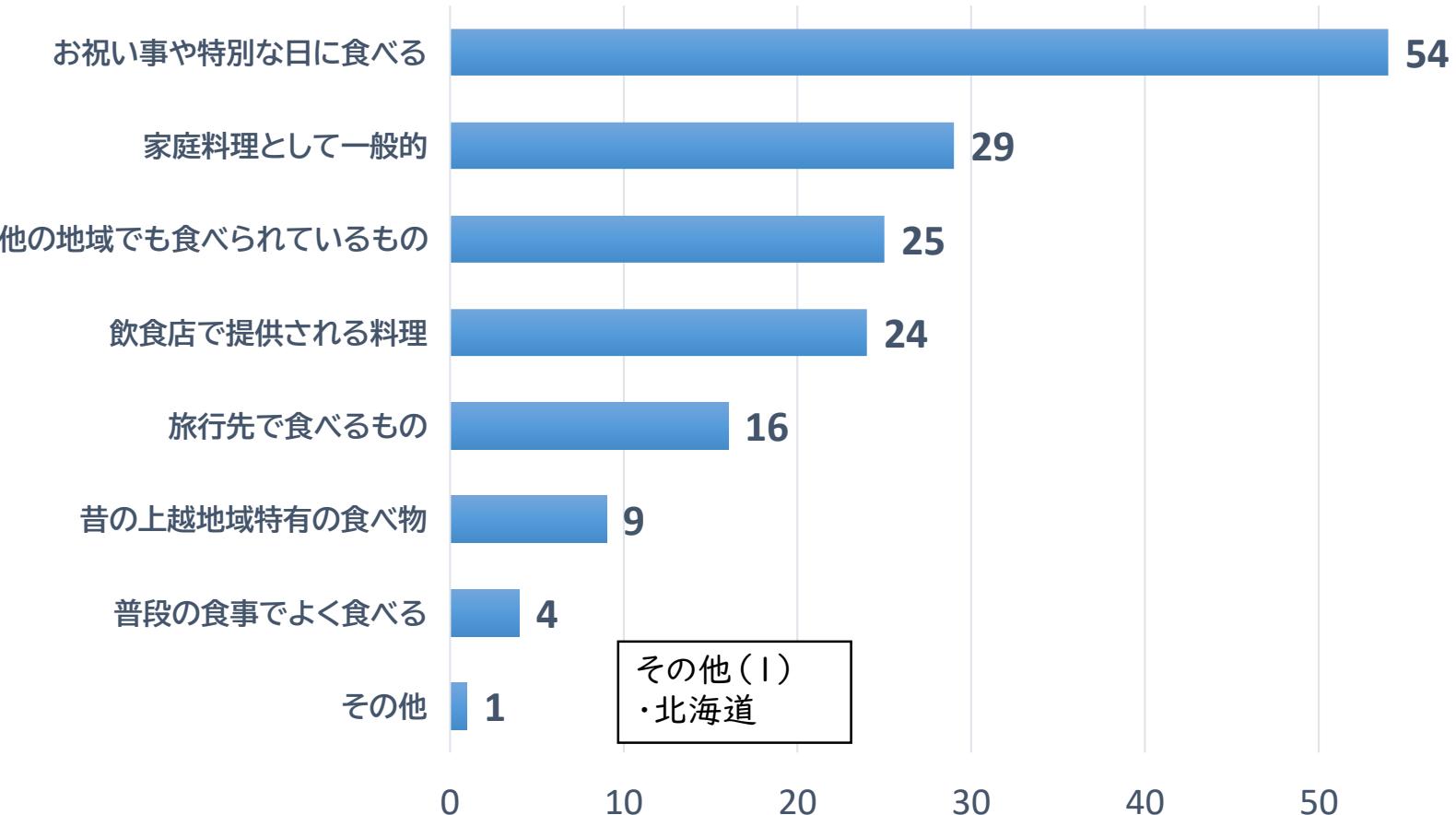




○アンケート結果(問3)

問3 上記論文では、他の地域にはない「スキ焼き」、「ジンギスカン」が冬の伝統的食べ物として記載されていました。これらの料理について、どのようなイメージをお持ちですか？(複数回答可)

「スキ焼き」、「ジンギスカン」のイメージについて



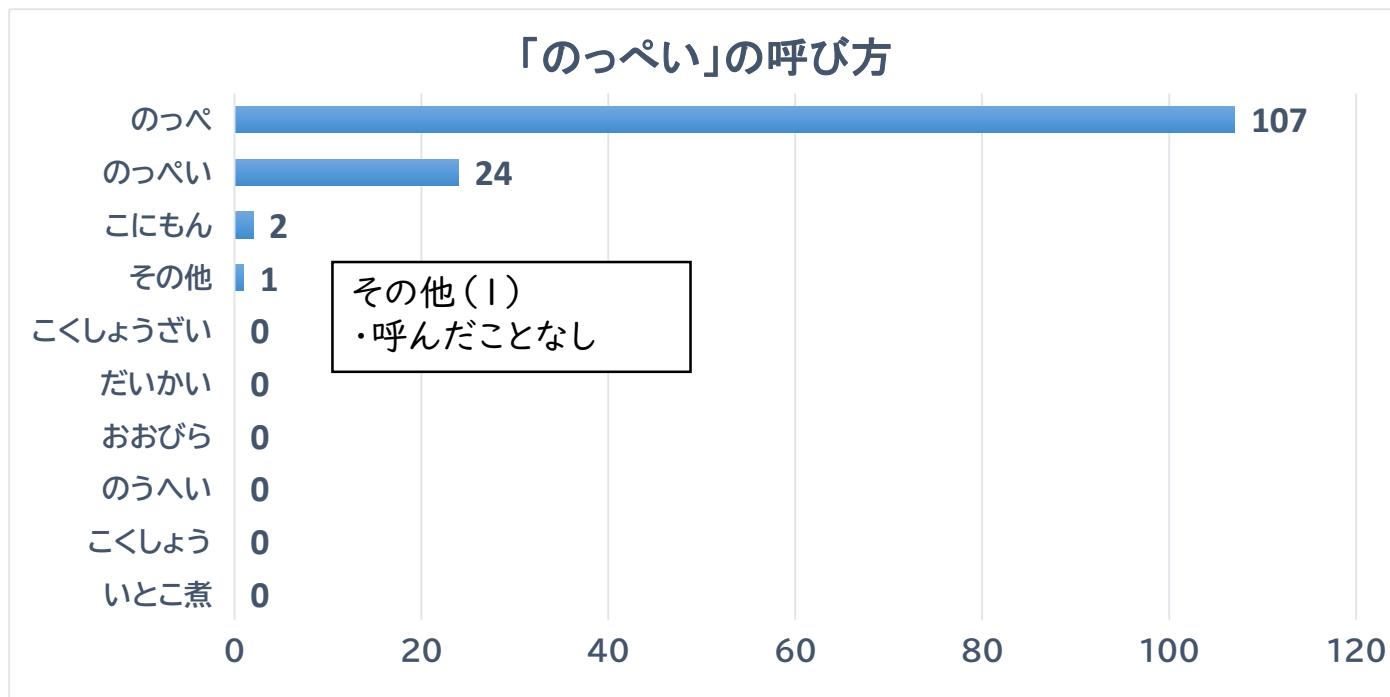


○アンケート結果(問4、問5)

問4 あなたは「のっぺい」を食べたことがありますか？



問5 あなたは、「のっぺい」をどのように呼んでいますか？

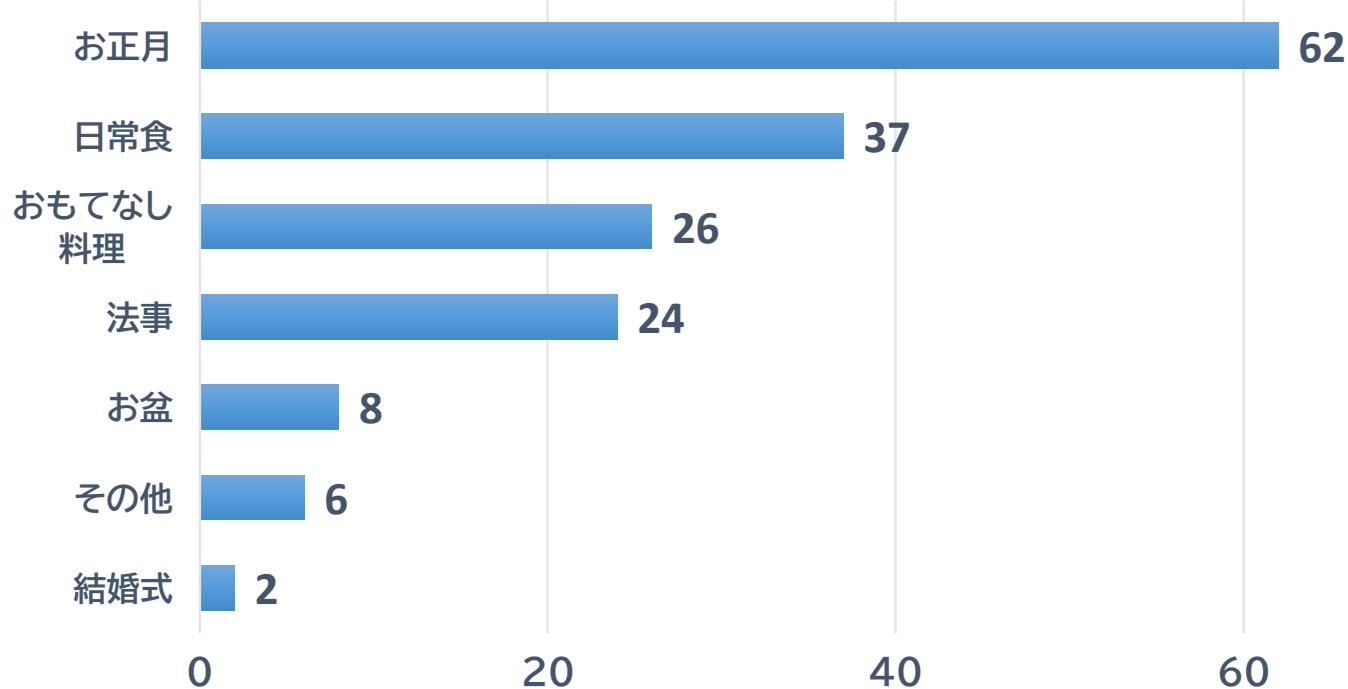




○アンケート結果(問6-1)

問6-1 「のっぺい」を食べる時期を教えてください。(複数回答可)

「のっぺい」を食べる時期



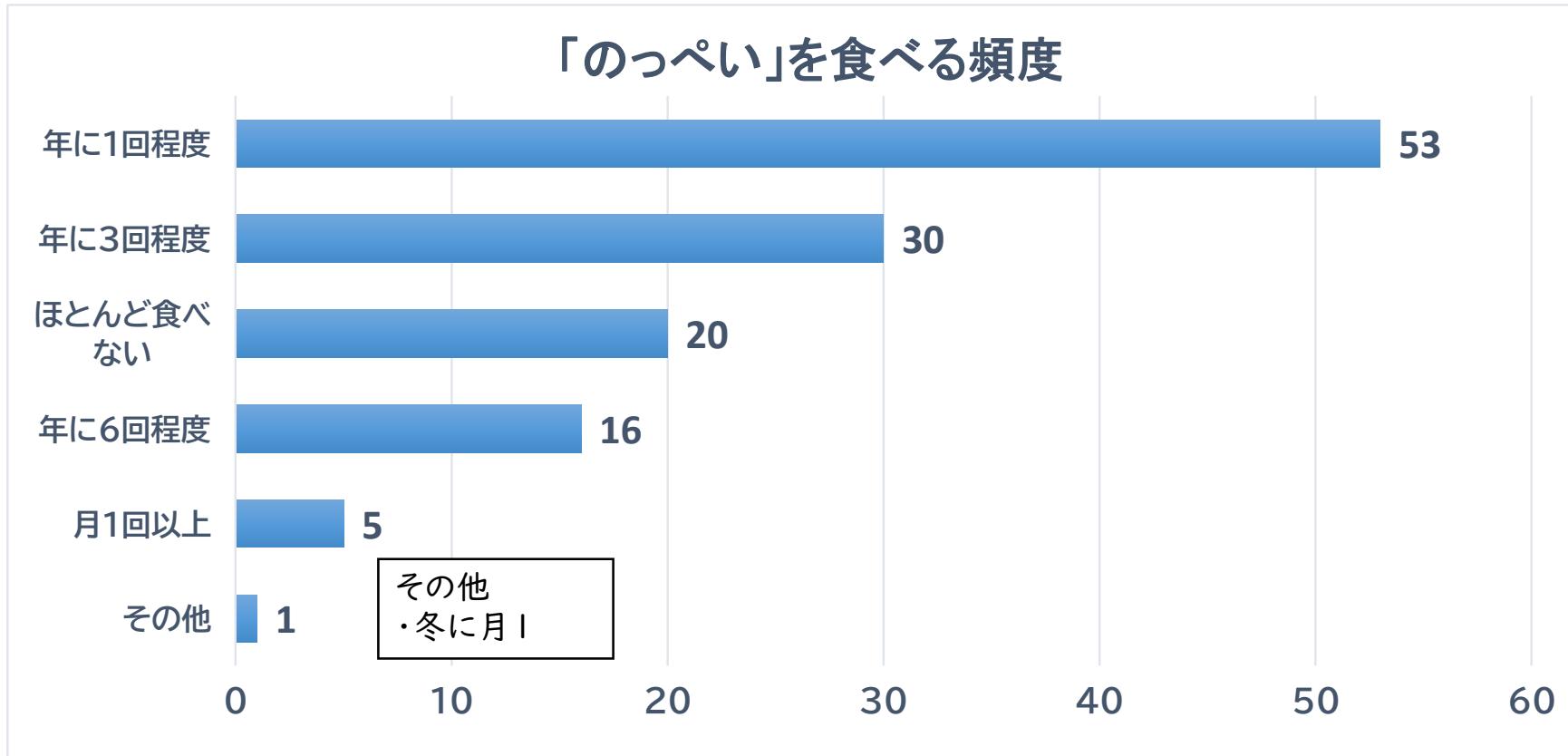
その他(6)
・冬(2)、給食(2)、学校(1)、旅行(1)



○アンケート結果(問6-2)

問6-2 「のっぺい」を食べる頻度を教えてください。

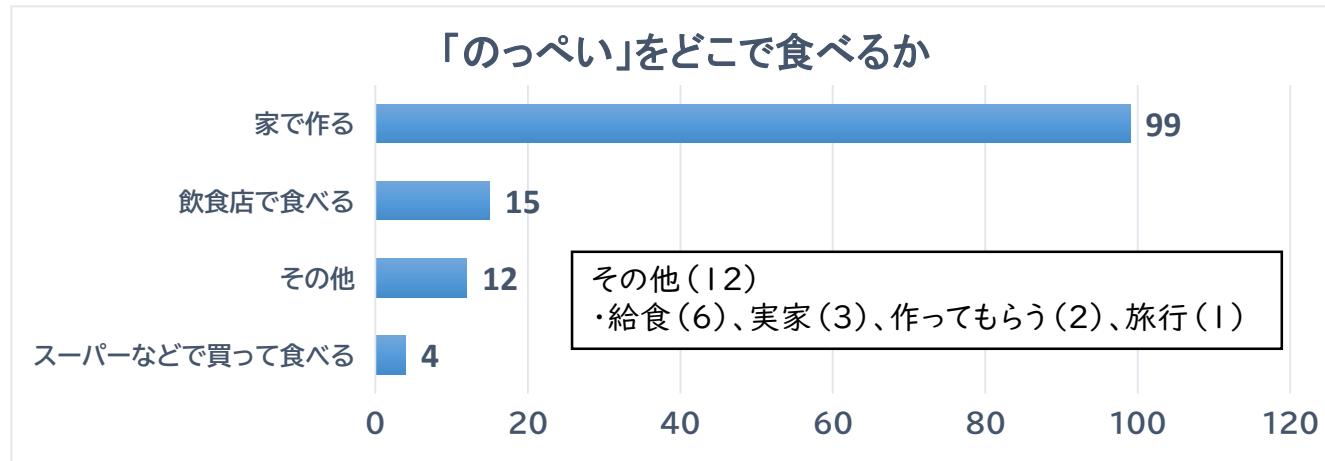
「のっぺい」を食べる頻度



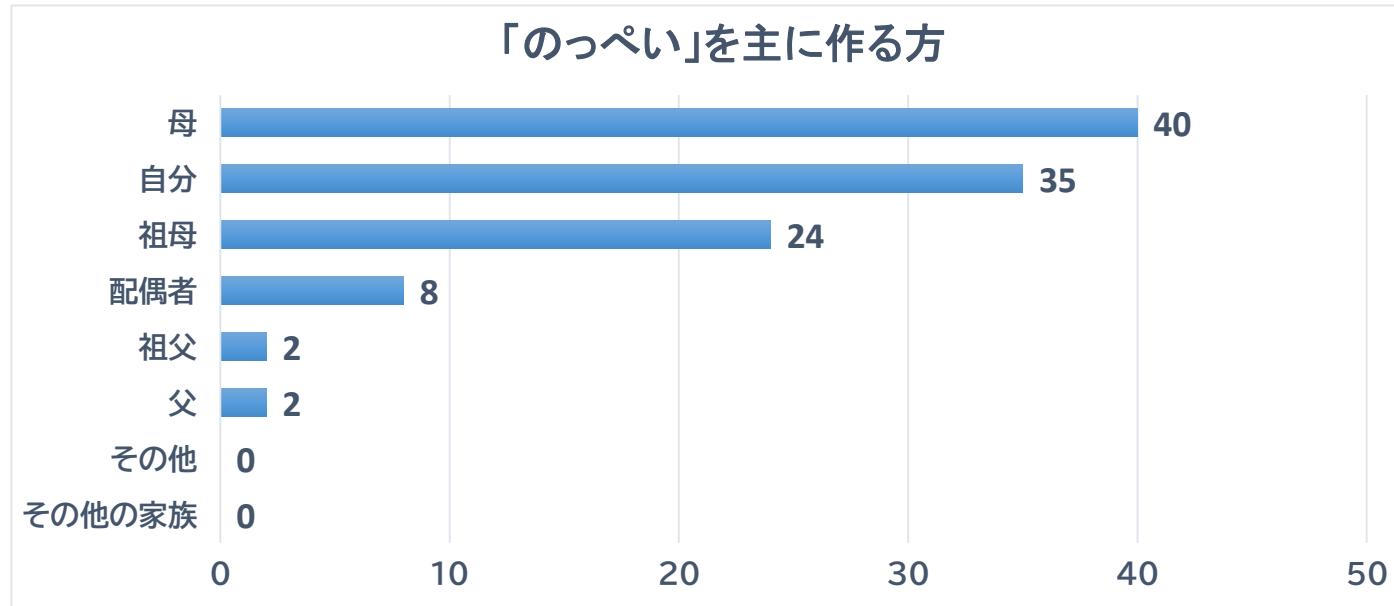


○アンケート結果(問7、8)

問7 「のっぺい」はどのようにして食べることが多いですか？



問8 問7で「家で作る」を選んだ方に質問します。ご家庭で「のっぺい」を作るとき、主に作る方は誰ですか？

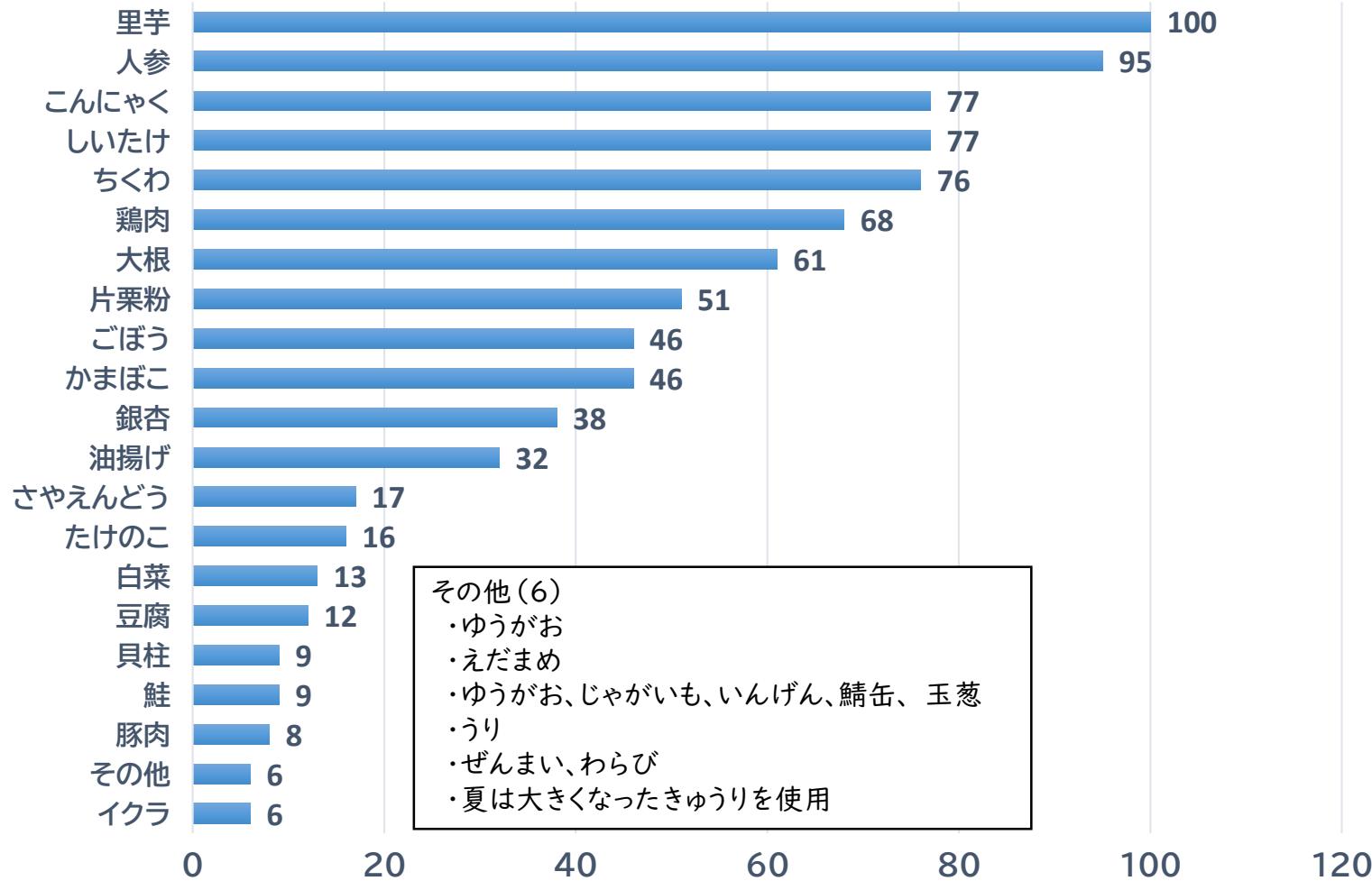




○アンケート結果(問9)

問9 あなたがよく食べる「のっぺい」に入っている食材はどれですか？(複数回答可)

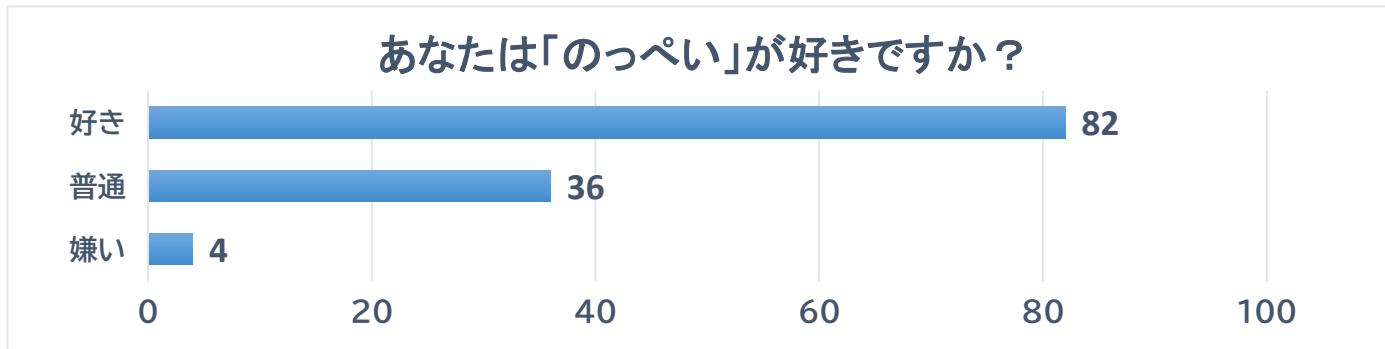
「のっぺい」に入っている食材について



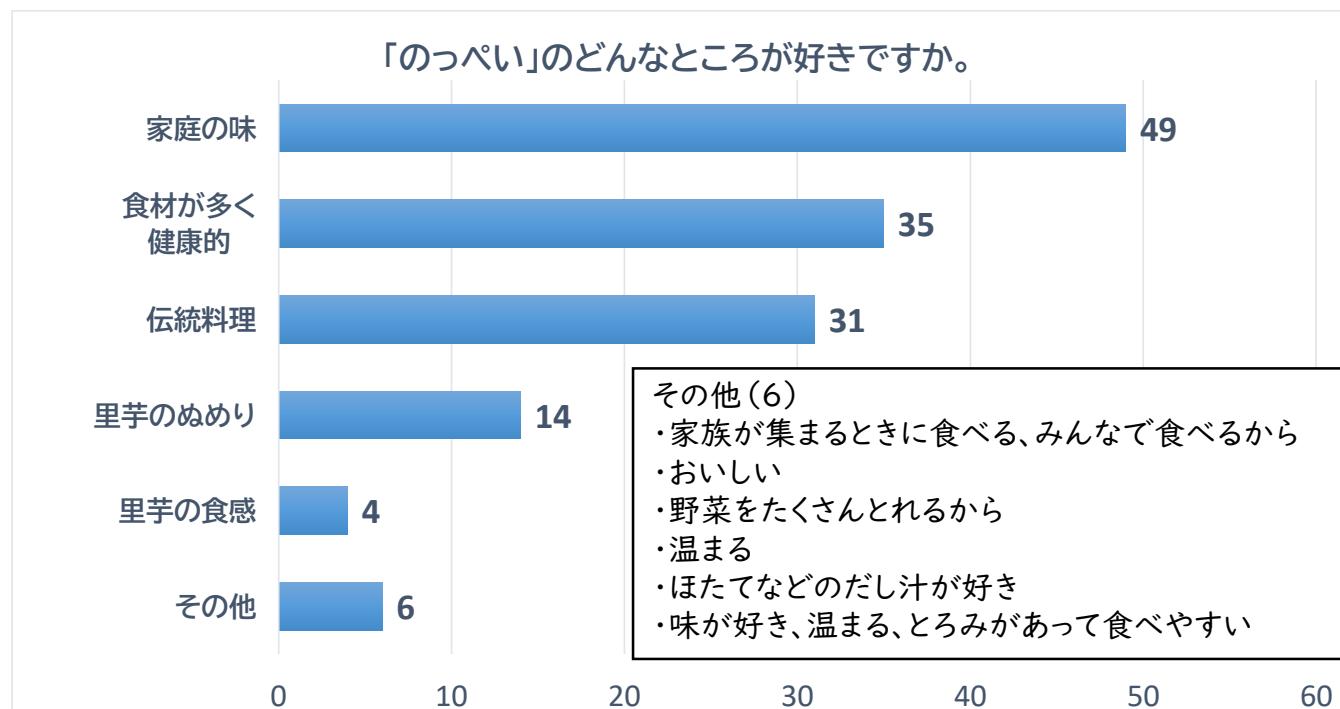


○アンケート結果(問10、11)

問10 あなたは「のっぺい」が好きですか？



問11 問10で「好き」と答えた方にお聞きします。「のっぺい」のどんなところが好きですか？
(複数回答可)

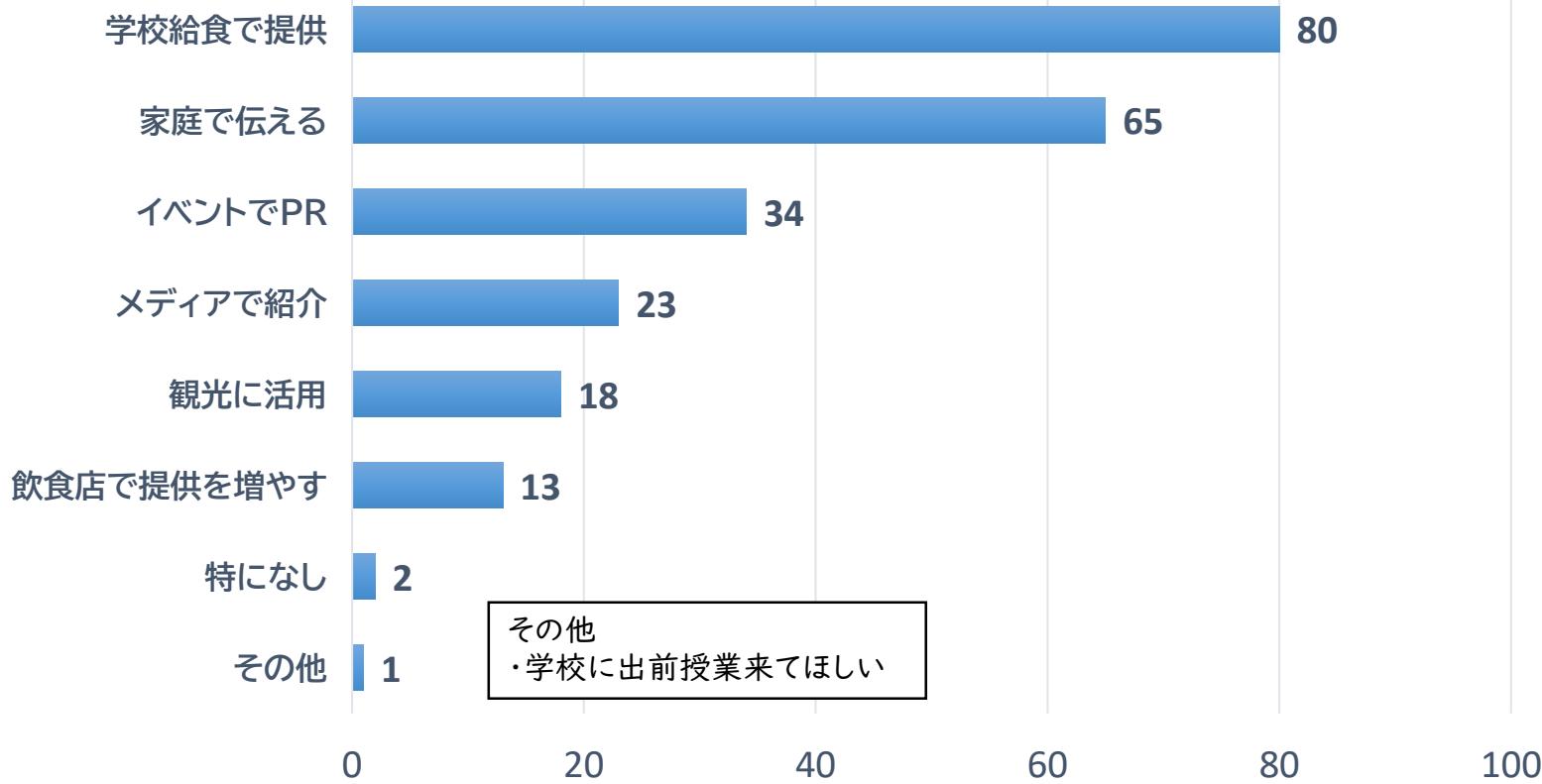




○アンケート結果(問12)

問12 上越市の郷土料理を、今後も残していくために重要だと思うことは何ですか？(複数回答可)

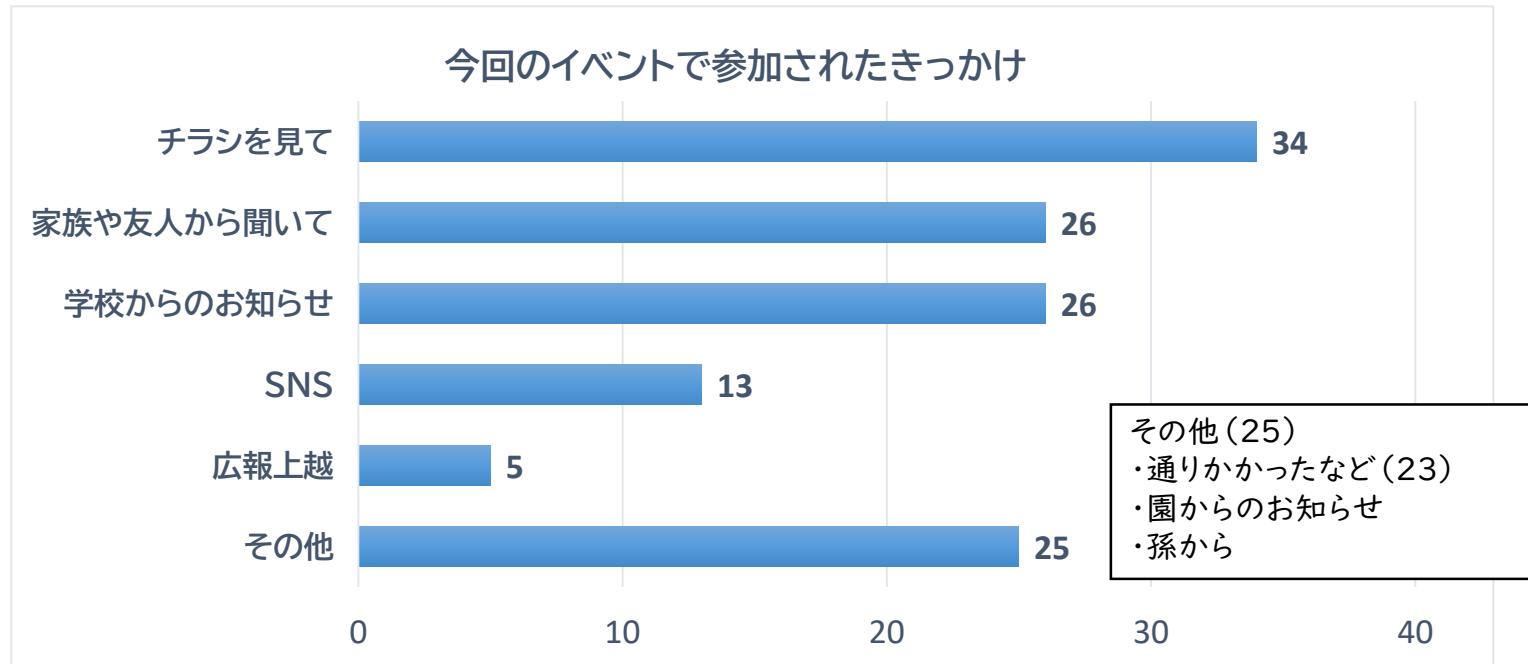
郷土料理を今後も残していくために重要なこと





○アンケート結果(問13、14、15)

問13 今回のイベントに参加されたきっかけを教えてください。(複数回答可)



問14、15 今回のイベントに参加された食の関心度の変化

イベント参加前	イベント参加後	ほとんど変化がなかった	少し高まった	高まった	非常に高まった
関心がある	(n=54)	13%	39%	31%	17%
どちらかといえば関心がある	(n=58)	9%	79%	10%	2%
どちらかといえば関心がない	(n=11)	18%	73%	9%	0%
関心がない	(n= 0)	-	-	-	-



○アンケート結果(自由記述欄)

【体験イベントへの感想・今後の希望】

- ・みそまる作りが楽しかったです。
- ・初めてみそまる作りをして楽しかったです。
- ・忙しい朝のため、以前から気になっていたみそまるを作れてよかったです。家でも作って、毎日味噌汁を飲みたいです。
- ・みそまるを作った時に、味噌の話を聞けたのがよかったです。
- ・料理教室があれば参加したいと思いました。
- ・男の料理教室にも興味があります。
- ・また料理のイベントに参加したいです。
- ・今回の笹寿司体験はとても楽しく、のっぺも美味しかったです。
- ・笹寿司作り体験やクイズラリーなど、子どもも楽しめるイベントで良かったです。
- ・笹寿司作りが楽しかったです。
- ・子どもと一緒に寿司づくりから参加できて良かったです。
- ・子どもたちと一緒に料理をするイベントは、子どもたちも喜んで体験できるので定期的に行ってほしいです。
- ・のっぺ作りをやってみたいです。
- ・笹団子やちまき作り体験もやってみたいです。
- ・折り紙が楽しかったです。
- ・みそまる体験と折り紙が子どもに好評でした。
- ・子どもも楽しめる折り紙やぬり絵があり、家族みんなで楽しめました。
- ・午後のイベント(笹寿司)は希望者多数で参加できませんでした。

【イベント全体への感想】

- ・このようなイベントには今後も参加したいと思います。
- ・楽しいイベントありがとうございました。
- ・子どもがとても喜んでいました。
- ・今後も続けてほしいです。
- ・アンケートを大切にしてください。
- ・よい取り組みだと思います。



○アンケート結果（自由記述欄）

【上越の食・郷土料理への関心】

- ・もっと上越の郷土料理を大切にしたいです。
- ・上越の食をより知ることができました。
- ・上越市に住んでいましたが、地域によってさまざまな郷土料理があることを知りました。（問1の約半分の料理を知りませんでした。）
- ・家でも郷土料理に挑戦して、子どもに上越の味を伝えていきたいです。
- ・のっぺいなど郷土料理を家庭でも作ってみたいと思いました。
- ・引っ越したばかりなので、上越の「食」について知りたいと思っています。
- ・いつも上越野菜を使っています。

【学び・情報提供に関する意見】

- ・食育についての情報がたくさんあり、刺激になりました。
- ・食に関する情報をもっと周知していただきたいです。
- ・食に関するイベントがもっと増えてほしいです。
- ・学びが多かったです。
- ・上越について知り、学び、体験できる良い機会だと思いました。

【その他（体験希望など）】

- ・料理体験をやってみたいです。
- ・かまどで米を炊く体験をしたいです。
- ・田んぼ体験をしてみたいです。
- ・給食試食に興味があります。
- ・給食試食会に参加してみたいです。

令和 7 年度 食育に関する市民アンケートについて（案）

前回（令和 5 年度）	今回（令和 7 年度）
1 調査対象	1 調査対象
<ul style="list-style-type: none"> 市の住民基本台帳に登録されている満 18 歳以上の市民 3,000 人を無作為で抽出（令和 5 年 4 月 1 日現在満 18 歳以上…高等学校卒業以上） 	<ul style="list-style-type: none"> 市の住民基本台帳に登録されている満 18 歳以上の市民 <u>2,000</u> 人を無作為で抽出（<u>令和 7 年 4 月 1 日</u> 現在満 18 歳以上…高等学校卒業以上）
2 調査期間	2 調査期間
<ul style="list-style-type: none"> 令和 5 年 11 月～12 月の間のうちの約 3 週間 	<ul style="list-style-type: none"> <u>令和 7 年 9 月～10 月の間のうちの約 3 週間</u>
3 調査方法	3 調査方法
<ul style="list-style-type: none"> 郵送によるアンケートの配布及び回収（回収は料金受取人扱） 二次元コード読み取りによる Web 機能を付加（アンケート調査票に貼付） 	<ul style="list-style-type: none"> 郵送によるアンケートの配布及び回収（回収は料金受取人扱） 二次元コード読み取りによる Web 機能を付加（アンケート調査票に貼付）
4 調査項目の設定	4 調査項目の設定
<ul style="list-style-type: none"> 前回（令和 3 年度）からの傾向を把握する。（前回と同じ項目を設定） 第 4 次上越市食育推進計画（アクションプラン）の評価・検証に必要な内容を調査する。 第 4 次上越市食育推進計画における新規事業を調査する。 	<ul style="list-style-type: none"> 前回（令和 5 年度）からの傾向を把握する。（前回と同じ項目を設定） 第 4 次上越市食育推進計画（アクションプラン）の評価・検証に必要な内容を調査する。 第 4 次上越市食育推進計画における新規事業を調査する。
5 アンケート調査票	5 アンケート調査票
<p>■アンケートの目的</p> <p>○市では、令和 4 年 3 月に、令和 4 年度から令和 8 年度までの市の食育施策の基本方針となる「第 4 次上越市食育推進計画」を策定し、様々な施策を進めています。</p> <p>○全市民的運動として食育を推進していく上で、今後の施策の参考とするため、市民の皆さんを対象に実態調査を行います。</p> <p>○このアンケートは、無作為で抽出した 18 歳以上の市民の方、3,000 人に送付しています。</p>	<p>■アンケートの目的</p> <p>○市では、令和 4 年 3 月に、令和 4 年度から令和 8 年度までの市の食育施策の基本方針となる「第 4 次上越市食育推進計画」を策定し、様々な施策を進めています。</p> <p>○全市民的運動として食育を推進していく上で、今後の施策の参考とするため、市民の皆さんを対象に実態調査を行います。</p> <p>○このアンケートは、無作為で抽出した 18 歳以上の市民の方、<u>2,000</u> 人に送付しています。</p>

令和7年度 食育に関する市民アンケートについて（案）

資料 3-1

前回（令和5年度）	今回（令和7年度）
<p>■属性</p> <p>○性別（男子・女子・無回答） ○年齢（令和5年11月1日現在）</p> <p>【追加理由】 ・各地域の食育や郷土料理の認知度・関心度の違いを明らかにし、地域ごとの効果的な取組を検討する基礎資料とするため。</p> <p>■設問（全41問：新規2問、継続38問、内容変更1問、削除4問） ～食育への関心についておたずねします～</p> <p><【説明1】 食育について></p> <p>○[問1]（継続） あなたは、「食育」という言葉やその意味を知っていましたか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。 ア 言葉も意味も知っていた イ 言葉は知っていたが、意味は知らなかった ウ 言葉も意味も知らなかった</p> <p>○[問2]（継続） あなたは、食育に関する情報をどこから入手していますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。 ア 広報上越 イ 新聞、雑誌、本 ウ テレビ、ラジオ エ 上越市ホームページ オ インターネット上のニュースサイト カ YouTube等の動画サイト キ ブログ、SNS ク 生産者や食品企業、販売業者のウェブサイトや広報物 ケ 家族、友人、知人 コ 学校 サ 職場 シ 医療機関、保健所、保健センター ス 生産者（農家） セ スーパーマーケットなどの食品売場 ソ イベントやシンポジウム サ その他（ ） シ 特にない</p>	<p>■属性</p> <p>○性別（男子・女子・無回答） ○年齢（令和7年9月1日現在） <u>○あなたが現在お住いの地域自治区</u></p> <p>■設問（全30問：新規2問、継続27問、内容変更1問、削除13問） ～食育への関心についておたずねします～</p> <p><【説明1】 食育について></p> <p>○[問1]（継続） あなたは、「食育」という言葉やその意味を知っていましたか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。 ア 言葉も意味も知っていた イ 言葉は知っていたが、意味は知らなかった ウ 言葉も意味も知らなかった</p> <p>○[問2]（継続） あなたは、食育に関する情報をどこから入手していますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。 ア 広報上越 イ 新聞、雑誌、本 ウ テレビ、ラジオ エ 上越市ホームページ オ インターネット上のニュースサイト カ YouTube等の動画サイト キ ブログ、SNS ク 生産者や食品企業、販売業者のウェブサイトや広報物 ケ 家族、友人、知人 コ 学校、<u>保育園、幼稚園</u> サ 職場 シ 医療機関、保健所、保健センター ス 生産者（農家） セ スーパーマーケットなどの食品売場 ソ イベントやシンポジウム サ その他（ ） シ 特にない</p>

令和7年度 食育に関する市民アンケートについて（案）

前回（令和5年度）	今回（令和7年度）
<p>【食育推進計画指標項目 3-1】 【アクションプランNo.34（農政課、関係課）】</p> <p>○[問3]（継続） あなたは「食育」に関心がありますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。</p> <p>ア 関心がある イ どちらかといえば関心がある ウ どちらかといえば関心がない エ 関心がない オ わからない</p> <p>○[問4]（継続） あなたが「食育」に関心がある理由は何ですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。</p> <p>ア 子どもの心身の健全な発育に必要だから イ 食生活の乱れが問題になっているから ウ 肥満や痩せすぎが問題になっているから エ 生活習慣病の増加が問題になっているから オ 食品の安全性が気になるから カ 地域の食文化や伝統を守ることが重要だから キ 地域の食材や旬のものを食べたいから ク 食べ残しなどの食品廃棄物が問題だから ケ その他 ()</p> <p>【追加理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回調査では、食育に「関心がない」または「どちらかといえば関心がない」と回答した市民が2割以上存在しており（令和5年度調査結果 23.2%）、その要因を把握する必要がある。 ・国が実施している「食育に関する意識調査」の設問を参考にし、関心の低さの背景（生活習慣、経済的理由、情報不足など）を分析できるようにするため、理由を具体的に尋ねる項目を新設する。 	<p>【食育推進計画指標項目 3-1】 【アクションプランNo.34（農政課、関係課）】</p> <p>○[問3]（継続） あなたは「食育」に関心がありますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。</p> <p>ア 関心がある イ どちらかといえば関心がある ウ どちらかといえば関心がない エ 関心がない オ わからない</p> <p>○[問4]（継続） <u>問3でア、イと回答した方にお聞きします。</u> あなたが「食育」に関心がある理由は何ですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。</p> <p>ア 子どもの心身の健全な発育に必要だから イ 食生活の乱れが問題になっているから ウ 肥満や痩せすぎが問題になっているから エ 生活習慣病の増加が問題になっているから オ 食品の安全性が気になるから カ 地域の食文化や伝統を守ることが重要だから キ 地域の食材や旬のものを食べたいから ク 食べ残しなどの食品廃棄物が問題だから ケ その他 ()</p> <p>○[問4-2]（新規） <u>問3でウ、エと回答した方にお聞きします。</u> あなたが「食育」に関心がない理由は何ですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。</p> <p>ア 自分や家族の食事や食生活に関心がないから イ 他のこと（仕事、趣味など）で忙しいから ウ 食費を安くすることの方が重要だから エ 食品の安全性に関心がないから オ 食事や食生活を特に意識しなくても健康だから カ 食べ残しや食品の大量廃棄など、日頃から気にしたことがないから キ 産地や製造過程など気にしたことがないから ク 「食育」自体についてよくわからないから ケ その他 ()</p>

令和 7 年度 食育に関する市民アンケートについて（案）

前回（令和 5 年度）					今回（令和 7 年度）				
【アクションプランNo.33（農政課、関係課）】					【アクションプランNo.33（農政課、関係課）】				
○[問5]（継続） あなたは6月の「食育月間」、毎月19日の「食育の日」を知っていますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。					○[問5]（継続） あなたは6月の「食育月間」、毎月19日の「食育の日」を知っていますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。				
ア どちらも知っている イ 6月の「食育月間」のみ知っている ウ 每月19日の「食育の日」のみ知っている エ どちらも知らない					ア どちらも知っている イ 6月の「食育月間」のみ知っている ウ 每月19日の「食育の日」のみ知っている エ どちらも知らない				
～ 現在の食生活・生活習慣についておたずねします～									
【食育推進計画指標項目 1-(1)-3…問⑤】					【食育推進計画指標項目 1-(1)-3…問⑤】				
【食育推進計画指標項目 1-(1)-5…問④】					【食育推進計画指標項目 1-(1)-5…問④】				
【食育推進計画指標項目 1-(2)-2…問①】					【食育推進計画指標項目 1-(2)-2…問①】				
【アクションプランNo.7（健康づくり推進課、幼児保育課、学校教育課）…問⑤】					【アクションプランNo.7（健康づくり推進課、幼児保育課、学校教育課）…問⑤】				
【アクションプランNo.10（健康づくり推進課）…問④】					【アクションプランNo.10（健康づくり推進課）…問④】				
【アクションプランNo.22（農政課）…問③】					【アクションプランNo.22（農政課）…問③】				
○[問6]（継続） あなたは、普段の食生活で、下記の内容をどの程度実践していますか。①～⑤のそれぞれについて、当てはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。					○[問6]（継続） あなたは、普段の食生活で、下記の内容をどの程度実践していますか。①～⑤のそれぞれについて、当てはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。				
	ほとんど できている	おおむね できている	あまりでき ていない	まったくで きていない		ほとんど できている	おおむね できている	あまりでき ていない	まったくで きていない
①食べることを楽しんでいる	ア	イ	ウ	エ	①食べることを楽しんでいる	ア	イ	ウ	エ
②規則正しい食事から、健やかな生活リズムを心掛けている	ア	イ	ウ	エ	②規則正しい食事から、健やかな生活リズムを心掛けている	ア	イ	ウ	エ
③ごはんを中心とした和食（日本型食生活）を実践している	ア	イ	ウ	エ	③ごはんを中心とした和食（日本型食生活）を実践している	ア	イ	ウ	エ
④生活習慣病の予防や改善のため、適正体重の維持や減塩等に気をつけた食生活を実践している	ア	イ	ウ	エ	④生活習慣病の予防や改善のため、適正体重の維持や減塩等に気をつけた食生活を実践している	ア	イ	ウ	エ
⑤食事の際に、ゆっくりよく噛んで食べている	ア	イ	ウ	エ	⑤食事の際に、ゆっくりよく噛んで食べている	ア	イ	ウ	エ

令和 7 年度 食育に関する市民アンケートについて（案）

前回（令和 5 年度）	今回（令和 7 年度）
<p><【説明 2】 主食・主菜・副菜について></p> <p>【食育推進計画指標項目 1-(2)-3】</p> <p>【アクションプランNo.21（健康づくり推進課）】</p> <p>○[問 7]（継続） あなたは、主食（ごはん、パン、麺など）・主菜（肉・魚・卵・大豆製品などを使ったメインの料理）・副菜（野菜・きのこ・いも・海藻などを使った小鉢・小皿の料理）を 3 つそろえて食べることが 1 日に 2 回以上あるのは、週に何日程度ありますか。次の中から 1 つだけ選んで○をつけてください。</p> <p>週に [每日 6 日 5 日 4 日 3 日 2 日 1 日 0 日] 程度</p>	<p><【説明 2】 主食・主菜・副菜について></p> <p>【食育推進計画指標項目 1-(2)-3】</p> <p>【アクションプランNo.21（健康づくり推進課）】</p> <p>○[問 7]（継続） あなたは、主食（ごはん、パン、麺など）・主菜（肉・魚・卵・大豆製品などを使ったメインの料理）・副菜（野菜・きのこ・いも・海藻などを使った小鉢・小皿の料理）を 3 つそろえて食べることが 1 日に 2 回以上あるのは、週に何日程度ありますか。次の中から 1 つだけ選んで○をつけてください。</p> <p>週に [每日 6 日 5 日 4 日 3 日 2 日 1 日 0 日] 程度</p>
<p><【説明 3】 朝食を食べることについて></p> <p>【食育推進計画指標項目 1-(1)-1】</p> <p>【アクションプランNo.6（健康づくり推進課、幼児保育課、学校教育課）】</p> <p>○[問 8]（継続） あなたは朝食を週に何日程度食べますか。次の中から 1 つだけ選んで○をつけてください。</p> <p>週に [每日 6 日 5 日 4 日 3 日 2 日 1 日 0 日] 程度</p>	<p><【説明 3】 朝食を食べることについて></p> <p>【食育推進計画指標項目 1-(1)-1】</p> <p>【アクションプランNo.6（健康づくり推進課、幼児保育課、学校教育課）】</p> <p>○[問 8]（継続） あなたは朝食を週に何日程度食べますか。次の中から 1 つだけ選んで○をつけてください。</p> <p>週に [每日 6 日 5 日 4 日 3 日 2 日 1 日 0 日] 程度</p>
<p>○[問 9]（内容変更） あなたは、普段の食事を自分で準備しますか。次の中から 1 つだけ選んで○をつけてください。</p> <p>ア ほとんどのものを食材から調理して、食事を準備している イ 一部市販食品を取り入れて、食事を準備している ウ ほとんどのものに市販食品を利用して、食事を準備している エ 自分で食事を準備していない</p>	<p>○[問 9]（継続） あなたは、普段の食事を自分で準備しますか。次の中から 1 つだけ選んで○をつけてください。</p> <p>ア ほとんどのものを食材から調理して、食事を準備している イ 一部市販食品を取り入れて、食事を準備している ウ ほとんどのものに市販食品を利用して、食事を準備している エ 自分で食事を準備していない</p>
<p>【食育推進計画指標項目 1-(2)-1】</p> <p>【アクションプランNo.14（農政課）】</p> <p>○[問 10]（継続） ご家族と同居されている方（2 人以上の世帯の方）にお聞きします。あなたは、朝食または夕食を家族と一緒に食べる「共食」を実践している回数は週に何回程度ありますか。（ ）に回数を記入してください。 ※1 週間 7 日で、朝食・夕食の 2 回、最大 14 回が上限となります。</p> <p>1 週間に () 回程度</p>	<p>【食育推進計画指標項目 1-(2)-1】</p> <p>【アクションプランNo.14（農政課）】</p> <p>○[問 10]（継続） ご家族と同居されている方（2 人以上の世帯の方）にお聞きします。あなたは、朝食または夕食を家族と一緒に食べる「共食」を実践している回数は週に何回程度ありますか。（ ）に回数を記入してください。 ※1 週間 7 日で、朝食・夕食の 2 回、最大 14 回が上限となります。</p> <p>1 週間に () 回程度</p>

令和7年度 食育に関する市民アンケートについて（案）

前回（令和5年度）	今回（令和7年度）
<p>○[問11]（継続） 地域等での共食についておたずねします。あなたは、地域や所属コミュニティ（職場等を含む）で食事会等の機会があれば、参加したいと思いますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。</p> <p>ア とてもそう思う イ そう思う ウ どちらともいえない エ あまりそう思わない オ 全くそう思わない</p>	<p>○[問11]（継続） 地域等での共食についておたずねします。あなたは、地域や所属コミュニティ（職場等を含む）で食事会等の機会があれば、参加したいと思いますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。</p> <p>ア とてもそう思う イ そう思う ウ どちらともいえない エ あまりそう思わない オ 全くそう思わない</p>
<p>【食育推進計画指標項目 1-(2)-4】 【アクションプランNo.23（農政課）】</p> <p>○[問11-1]（継続） [問11]で「ア とてもそう思う」又は「イ そう思う」を選択した方におたずねします。あなたは、過去1年間に、地域や所属コミュニティでの食事会等に参加しましたか。</p> <p>ア 参加した イ 参加していない</p> <p style="text-align: center;">～ 地域の食文化についておたずねします ～</p>	<p>【食育推進計画指標項目 1-(2)-4】 【アクションプランNo.23（農政課）】</p> <p>○[問11-1]（継続） [問11]で「ア とてもそう思う」又は「イ そう思う」を選択した方におたずねします。あなたは、過去1年間に、地域や所属コミュニティでの食事会等に参加しましたか。</p> <p>ア 参加した イ 参加していない</p> <p style="text-align: center;">～ 地域の食文化についておたずねします ～</p>
<p><【説明4】郷土料理や伝統料理について></p> <p>【食育推進計画指標項目 2-1、2-2】</p> <p>○[問12]（継続） 郷土料理や伝統料理の作法の継承・伝承についておたずねします。あなたは、郷土料理や伝統料理など、地域や家庭において受け継がれてきた料理や味、箸づかいなどの食べ方・作法を受け継いでいますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。</p> <p>ア 受け継いでいる イ 受け継いでいない</p>	<p><【説明4】郷土料理や伝統料理について></p> <p>【食育推進計画指標項目 2-1、2-2】</p> <p>○[問12]（継続） 郷土料理や伝統料理の作法の継承・伝承についておたずねします。あなたは、郷土料理や伝統料理など、地域や家庭において受け継がれてきた料理や味、箸づかいなどの食べ方・作法を受け継いでいますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。</p> <p>ア 受け継いでいる イ 受け継いでいない</p>
<p>○[問12-1]（継続） [問12]で「ア 受け継いでいる」を選択した方におたずねします。あなたは、郷土料理や伝統料理など、地域や家庭において受け継いできた料理や味、箸づかいなどの食べ方・作法を地域や次世代（子やお孫さんを含む）に伝えていますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。</p> <p>ア 伝えている イ 伝えていない</p>	<p>○[問12-1]（継続） [問12]で「ア 受け継いでいる」を選択した方におたずねします。あなたは、郷土料理や伝統料理など、地域や家庭において受け継いできた料理や味、箸づかいなどの食べ方・作法を地域や次世代（子やお孫さんを含む）に伝えていますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。</p> <p>ア 伝えている イ 伝えていない</p>

令和7年度 食育に関する市民アンケートについて（案）

前回（令和5年度）	今回（令和7年度）																
<p>○[問13]（継続）あなたは、ご自身が生まれ育った地域の郷土料理や伝統料理について知っていますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。</p> <p>ア よく知っていて、食べたことがある イ 知っているが、食べたことはない ウ 知らないが（認識したことはないが）、食べたことはあるかもしれない エ 知らない</p>	<p>○[問13-1]（継続）あなたは、ご自身が生まれ育った地域の郷土料理や伝統料理について知っていますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。</p> <p>ア よく知っていて、食べたことがある イ 知っているが、食べたことはない ウ 知らないが（認識したことはないが）、食べたことはあるかもしれない エ 知らない</p>																
<p>【食育推進計画指標項目 2-3】 【アクションプランNo.27（農政課）】</p> <p>○[問14]（継続）あなたは、郷土料理や伝統料理をどのくらいの頻度で食べていますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">ア ほぼ毎日</td> <td style="width: 50%;">イ 週に3～5日程度</td> </tr> <tr> <td>ウ 週に1～2日程度</td> <td>エ 月に2～3日程度</td> </tr> <tr> <td>オ 月に1日程度</td> <td>カ 2～3か月に1日程度</td> </tr> <tr> <td>キ それ以下</td> <td>ク 全く食べない</td> </tr> </table>	ア ほぼ毎日	イ 週に3～5日程度	ウ 週に1～2日程度	エ 月に2～3日程度	オ 月に1日程度	カ 2～3か月に1日程度	キ それ以下	ク 全く食べない	<p>【食育推進計画指標項目 2-3】 【アクションプランNo.27（農政課）】</p> <p>○[問14]（継続）あなたは、郷土料理や伝統料理をどのくらいの頻度で食べていますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">ア ほぼ毎日</td> <td style="width: 50%;">イ 週に3～5日程度</td> </tr> <tr> <td>ウ 週に1～2日程度</td> <td>エ 月に2～3日程度</td> </tr> <tr> <td>オ 月に1日程度</td> <td>カ 2～3か月に1日程度</td> </tr> <tr> <td>キ それ以下</td> <td>ク 全く食べない</td> </tr> </table>	ア ほぼ毎日	イ 週に3～5日程度	ウ 週に1～2日程度	エ 月に2～3日程度	オ 月に1日程度	カ 2～3か月に1日程度	キ それ以下	ク 全く食べない
ア ほぼ毎日	イ 週に3～5日程度																
ウ 週に1～2日程度	エ 月に2～3日程度																
オ 月に1日程度	カ 2～3か月に1日程度																
キ それ以下	ク 全く食べない																
ア ほぼ毎日	イ 週に3～5日程度																
ウ 週に1～2日程度	エ 月に2～3日程度																
オ 月に1日程度	カ 2～3か月に1日程度																
キ それ以下	ク 全く食べない																
<p>【追加理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの調査では、市民が「郷土料理や伝統料理を知っているか」や「食べる頻度」などは把握できていたが、具体的にどの料理を郷土料理と認識しているのかは明らかになっていなかった。 ・市民が思い浮かべる郷土料理の種類や知名度を可視化することで、食文化継承や観光・地域ブランド化に向けた対象を特定でき、地域資源としての郷土料理の発信力を高め、食育推進と地域振興の両面で活用するための基礎データを得ることを目的に追加する。 	<p>○[問14-2]（新規）上越市の郷土料理や伝統料理と聞いて、思い浮かべるものは何ですか？（3つまで○をつけてください）</p> <p>ア 缶寿司 イ 押し寿司 ウ けんさん焼き エ する天 オ のっぺ カ くじら汁 キ たけのこ汁 ク スキー汁 ケ おぼろ汁 ゴ メギス料理 サ サメ料理（煮凝り、フライなど） シ えご（えごねり） ス 山菜（わらび、うど、ぜんまいなど）を使った料理 セ キノコ（ヤブタケなど）を使った料理 ソ 海藻（ギンバソウ、アオサなど）を使った料理 タ 缶団子 チ みょうが団子 ツ ちまき テ 缶餅 ト その他（ ）</p>																

令和 7 年度 食育に関する市民アンケートについて（案）

前回（令和 5 年度）	今回（令和 7 年度）
<p>～ 環境への配慮についておたずねします ～</p> <p><【説明 5】 環境に配慮した農林水産物・食品について></p> <p>【食育推進計画指標項目 4-4】</p> <p>【アクションプランNo.46（農政課）】</p> <p>○[問 15] (継続) あなたは、日頃から環境に配慮した農林水産物・食品を選んでいますか。次の中から 1 つだけ選んで○をつけてください。</p> <p>ア いつも選んでいる イ 時々選んでいる ウ あまり選んでいない エ まったく選んでいない</p>	<p>～ 環境への配慮についておたずねします ～</p> <p><【説明 5】 環境に配慮した農林水産物・食品について></p> <p>【食育推進計画指標項目 4-4】</p> <p>【アクションプランNo.46（農政課）】</p> <p>○[問 15] (継続) あなたは、日頃から環境に配慮した農林水産物・食品を選んでいますか。次の中から 1 つだけ選んで○をつけてください。</p> <p>ア いつも選んでいる イ 時々選んでいる ウ あまり選んでいない エ まったく選んでいない</p>
<p>～ 食品購入・安全性についておたずねします ～</p> <p>○[問 16] (継続) あなたが、食品を購入する際に特に意識していることを 2 つまで選んで○をつけてください。</p> <p>ア 地場産であること イ 国産であること ウ おいしさ エ 価格 オ 健康 カ 安全性 キ 栄養のバランス ク エネルギー量 (kcal) ケ 特に意識していない コ その他 ()</p>	<p>～ 食品購入・安全性についておたずねします ～</p> <p>○[問 16] (継続) あなたが、食品を購入する際に特に意識していることを 2 つまで選んで○をつけてください。</p> <p>ア 地場産であること イ 国産であること ウ おいしさ エ 価格 オ 健康 カ 安全性 キ 栄養のバランス ク エネルギー量 (kcal) ケ 特に意識していない コ その他 ()</p>
<p><【説明 6】 安全な食生活について></p> <p>○[問 17] (継続) あなたが、食品を購入する際に安全性をどのように判断していますか。次の中から 2 つまで選んで○をつけてください。</p> <p>ア 色、つやなど見た目はどうか イ いやなにおいや変な感触がないか ウ 生産者や製造業者はだれか エ 信頼できる販売店舗かどうか オ 国産品か輸入品か カ 賞味期限や品質保持期限はいつか キ 認証マークなどが添付されているか ク 食品添加物の使用状況はどうか ケ 有機栽培など特別な栽培方法で育成されたものか コ その他 () サ 特に判断していない</p>	<p><【説明 6】 安全な食生活について></p> <p>○[問 17] (継続) あなたが、食品を購入する際に安全性をどのように判断していますか。次の中から 2 つまで選んで○をつけてください。</p> <p>ア 色、つやなど見た目はどうか イ いやなにおいや変な感触がないか ウ 生産者や製造業者はだれか エ 信頼できる販売店舗かどうか オ 国産品か輸入品か カ 賞味期限や品質保持期限はいつか キ 認証マークなどが添付されているか ク 食品添加物の使用状況はどうか ケ 有機栽培など特別な栽培方法で育成されたものか コ その他 () サ 特に判断していない</p>

令和7年度 食育に関する市民アンケートについて（案）

前回（令和5年度）	今回（令和7年度）																																				
<p>【食育推進計画指標項目 3-2】 【アクションプランNo.36. 37. 38（健康づくり推進課、農村振興課、農林水産整備課）】</p> <p>○[問18]（継続） あなたは、安全な食生活を送るための、食品の安全性に関する基礎的な知識を持っていると思いますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">ア 持っていると思う</td> <td style="width: 50%;">イ ある程度持っていると思う</td> </tr> <tr> <td>ウ あまり持っていないと思う</td> <td>エ ほとんど持っていないと思う</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">～ 食品の廃棄についておたずねします ～</p> <p>＜[説明7] 食品ロスについて＞</p> <p>○[問19]（継続） あなたは、こうした「食品ロス」という問題を知っていますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">ア 知っている</td> <td style="width: 50%;">イ ある程度知っている</td> </tr> <tr> <td>ウ あまり知らない</td> <td>エ ほとんど・まったく知らない</td> </tr> </table> <p>○[問20]（継続） あなたは、「食品ロス」を軽減するために取り組んでいることはありますか。次の中から当てはまるものすべてに○をつけてください。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">ア 小分け商品、少量パック商品、バラ売り等、食べ切れる量を購入する</td> <td style="width: 50%;">イ 商品棚の手前に並ぶ期限の近い商品を購入する</td> </tr> <tr> <td>ウ 冷凍保存を活用する</td> <td>エ 料理を作り過ぎない</td> </tr> <tr> <td>オ 残った料理を別の料理に作り替える（リメイクする）</td> <td>カ 飲食店等で注文し過ぎない</td> </tr> <tr> <td>キ 外食時に小盛メニュー等、希望に沿った料理で料理を提供する店舗を選ぶ</td> <td>ク 日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認している</td> </tr> <tr> <td>ケ 「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する</td> <td>コ 残さず食べる</td> </tr> </table>	ア 持っていると思う	イ ある程度持っていると思う	ウ あまり持っていないと思う	エ ほとんど持っていないと思う	ア 知っている	イ ある程度知っている	ウ あまり知らない	エ ほとんど・まったく知らない	ア 小分け商品、少量パック商品、バラ売り等、食べ切れる量を購入する	イ 商品棚の手前に並ぶ期限の近い商品を購入する	ウ 冷凍保存を活用する	エ 料理を作り過ぎない	オ 残った料理を別の料理に作り替える（リメイクする）	カ 飲食店等で注文し過ぎない	キ 外食時に小盛メニュー等、希望に沿った料理で料理を提供する店舗を選ぶ	ク 日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認している	ケ 「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する	コ 残さず食べる	<p>【食育推進計画指標項目 3-2】 【アクションプランNo.36. 37. 38（健康づくり推進課、農村振興課、農林水産整備課）】</p> <p>○[問18]（継続） あなたは、安全な食生活を送るための、食品の安全性に関する基礎的な知識を持っていると思いますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">ア 持っていると思う</td> <td style="width: 50%;">イ ある程度持っていると思う</td> </tr> <tr> <td>ウ あまり持っていないと思う</td> <td>エ ほとんど持っていないと思う</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">～ 食品の廃棄についておたずねします ～</p> <p>＜[説明7] 食品ロスについて＞</p> <p>○[問19]（継続） あなたは、こうした「食品ロス」という問題を知っていますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">ア 知っている</td> <td style="width: 50%;">イ ある程度知っている</td> </tr> <tr> <td>ウ あまり知らない</td> <td>エ ほとんど・まったく知らない</td> </tr> </table> <p>○[問20]（継続） あなたは、「食品ロス」を軽減するために取り組んでいることはありますか。次の中から当てはまるものすべてに○をつけてください。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">ア 小分け商品、少量パック商品、バラ売り等、食べ切れる量を購入する</td> <td style="width: 50%;">イ 商品棚の手前に並ぶ期限の近い商品を購入する</td> </tr> <tr> <td>ウ 冷凍保存を活用する</td> <td>エ 料理を作り過ぎない</td> </tr> <tr> <td>オ 残った料理を別の料理に作り替える（リメイクする）</td> <td>カ 飲食店等で注文し過ぎない</td> </tr> <tr> <td>キ 外食時に小盛メニュー等、希望に沿った料理で料理を提供する店舗を選ぶ</td> <td>ク 日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認している</td> </tr> <tr> <td>ケ 「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する</td> <td>コ 残さず食べる</td> </tr> </table>	ア 持っていると思う	イ ある程度持っていると思う	ウ あまり持っていないと思う	エ ほとんど持っていないと思う	ア 知っている	イ ある程度知っている	ウ あまり知らない	エ ほとんど・まったく知らない	ア 小分け商品、少量パック商品、バラ売り等、食べ切れる量を購入する	イ 商品棚の手前に並ぶ期限の近い商品を購入する	ウ 冷凍保存を活用する	エ 料理を作り過ぎない	オ 残った料理を別の料理に作り替える（リメイクする）	カ 飲食店等で注文し過ぎない	キ 外食時に小盛メニュー等、希望に沿った料理で料理を提供する店舗を選ぶ	ク 日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認している	ケ 「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する	コ 残さず食べる
ア 持っていると思う	イ ある程度持っていると思う																																				
ウ あまり持っていないと思う	エ ほとんど持っていないと思う																																				
ア 知っている	イ ある程度知っている																																				
ウ あまり知らない	エ ほとんど・まったく知らない																																				
ア 小分け商品、少量パック商品、バラ売り等、食べ切れる量を購入する	イ 商品棚の手前に並ぶ期限の近い商品を購入する																																				
ウ 冷凍保存を活用する	エ 料理を作り過ぎない																																				
オ 残った料理を別の料理に作り替える（リメイクする）	カ 飲食店等で注文し過ぎない																																				
キ 外食時に小盛メニュー等、希望に沿った料理で料理を提供する店舗を選ぶ	ク 日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認している																																				
ケ 「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する	コ 残さず食べる																																				
ア 持っていると思う	イ ある程度持っていると思う																																				
ウ あまり持っていないと思う	エ ほとんど持っていないと思う																																				
ア 知っている	イ ある程度知っている																																				
ウ あまり知らない	エ ほとんど・まったく知らない																																				
ア 小分け商品、少量パック商品、バラ売り等、食べ切れる量を購入する	イ 商品棚の手前に並ぶ期限の近い商品を購入する																																				
ウ 冷凍保存を活用する	エ 料理を作り過ぎない																																				
オ 残った料理を別の料理に作り替える（リメイクする）	カ 飲食店等で注文し過ぎない																																				
キ 外食時に小盛メニュー等、希望に沿った料理で料理を提供する店舗を選ぶ	ク 日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認している																																				
ケ 「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する	コ 残さず食べる																																				

令和7年度 食育に関する市民アンケートについて（案）

前回（令和5年度）					今回（令和7年度）																																																																										
サ 宴席において、料理を食べ切る時間を設けている シ その他（ ） ス 取り組んでいることはない					サ 宴席において、料理を食べ切る時間を設けている シ その他（ ） ス 取り組んでいることはない																																																																										
<p style="text-align: center;">～ 新型コロナウイルス感染症と食生活についておたずねします ～</p> <p>○[問 21]（継続） あなたご自身の現在の食生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大前と比べて変わりましたか。①～⑬のそれぞれについて、当てはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。</p>																																																																															
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th><th>増えた・広がった</th><th>変わらな い</th><th>減った・ 狭まつた</th><th>もともと ない</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①栄養バランスのとれた食事</td><td>ア</td><td>イ</td><td>ウ</td><td>エ</td></tr> <tr> <td>②自宅で料理を作る回数</td><td>ア</td><td>イ</td><td>ウ</td><td>エ</td></tr> <tr> <td>③自宅で食事を食べる回数</td><td>ア</td><td>イ</td><td>ウ</td><td>エ</td></tr> <tr> <td>④家族と食事を食べる回数</td><td>ア</td><td>イ</td><td>ウ</td><td>エ</td></tr> <tr> <td>⑤オンラインを利用して家族や友人と食事を共にすること</td><td>ア</td><td>イ</td><td>ウ</td><td>エ</td></tr> <tr> <td>⑥おいしさや楽しさなど食を通じた精神的な豊かさ</td><td>ア</td><td>イ</td><td>ウ</td><td>エ</td></tr> <tr> <td>⑦地場産物の購入</td><td>ア</td><td>イ</td><td>ウ</td><td>エ</td></tr> <tr> <td>⑧通販（オンライン）を利用した食品購入</td><td>ア</td><td>イ</td><td>ウ</td><td>エ</td></tr> <tr> <td>⑨食事作りに要する時間や労力</td><td>ア</td><td>イ</td><td>ウ</td><td>エ</td></tr> <tr> <td>⑩食品の安全性への不安</td><td>ア</td><td>イ</td><td>ウ</td><td>エ</td></tr> <tr> <td>⑪安定的な食料供給への不安</td><td>ア</td><td>イ</td><td>ウ</td><td>エ</td></tr> <tr> <td>⑫食に関する情報の入手</td><td>ア</td><td>イ</td><td>ウ</td><td>エ</td></tr> <tr> <td>⑬規則正しい食生活リズム</td><td>ア</td><td>イ</td><td>ウ</td><td>エ</td></tr> </tbody> </table>											増えた・広がった	変わらな い	減った・ 狭まつた	もともと ない	①栄養バランスのとれた食事	ア	イ	ウ	エ	②自宅で料理を作る回数	ア	イ	ウ	エ	③自宅で食事を食べる回数	ア	イ	ウ	エ	④家族と食事を食べる回数	ア	イ	ウ	エ	⑤オンラインを利用して家族や友人と食事を共にすること	ア	イ	ウ	エ	⑥おいしさや楽しさなど食を通じた精神的な豊かさ	ア	イ	ウ	エ	⑦地場産物の購入	ア	イ	ウ	エ	⑧通販（オンライン）を利用した食品購入	ア	イ	ウ	エ	⑨食事作りに要する時間や労力	ア	イ	ウ	エ	⑩食品の安全性への不安	ア	イ	ウ	エ	⑪安定的な食料供給への不安	ア	イ	ウ	エ	⑫食に関する情報の入手	ア	イ	ウ	エ	⑬規則正しい食生活リズム	ア	イ	ウ	エ
	増えた・広がった	変わらな い	減った・ 狭まつた	もともと ない																																																																											
①栄養バランスのとれた食事	ア	イ	ウ	エ																																																																											
②自宅で料理を作る回数	ア	イ	ウ	エ																																																																											
③自宅で食事を食べる回数	ア	イ	ウ	エ																																																																											
④家族と食事を食べる回数	ア	イ	ウ	エ																																																																											
⑤オンラインを利用して家族や友人と食事を共にすること	ア	イ	ウ	エ																																																																											
⑥おいしさや楽しさなど食を通じた精神的な豊かさ	ア	イ	ウ	エ																																																																											
⑦地場産物の購入	ア	イ	ウ	エ																																																																											
⑧通販（オンライン）を利用した食品購入	ア	イ	ウ	エ																																																																											
⑨食事作りに要する時間や労力	ア	イ	ウ	エ																																																																											
⑩食品の安全性への不安	ア	イ	ウ	エ																																																																											
⑪安定的な食料供給への不安	ア	イ	ウ	エ																																																																											
⑫食に関する情報の入手	ア	イ	ウ	エ																																																																											
⑬規則正しい食生活リズム	ア	イ	ウ	エ																																																																											
<p style="color: red; border: 1px solid red; padding: 5px;">【削除理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響は減少しており、直近では生活や食習慣の変化も定着・平常化しているため、経年的な比較意義が薄ってきた。 ・調査項目を精査し、より現状の課題把握や施策立案に直結する質問に調査資源を振り向けるため。 																																																																															

令和7年度 食育に関する市民アンケートについて（案）

前回（令和5年度）	今回（令和7年度）
<p>～ デジタル技術を活用した食育についておたずねします ～</p> <p>○[問 22]（新規） あなた又はあなたのご家族は、これまでにデジタル技術を活用した食育（インターネット等を通した食育に関する情報や体験など）を利用したことがありますか。</p> <p>ア 利用したことがある イ 利用したことがない</p> <p>○[問 22-1]（新規） [問 22]で「ア 利用したことがある」とお答えした方におたずねします。次の中からりようしたことがあるものすべてに○をつけてください。</p> <p>ア 食に関するオンラインセミナーの動画の視聴 イ 料理レシピ動画など、調理に関する動画の視聴 ウ 食品工場見学の動画など、食品加工に関する動画の視聴 エ 収穫体験など、農林水産業の生産現場に関する動画の視聴 オ SNS等での料理レシピ等、食に関する情報の入手や収集 カ SNS等での農林水産業に関する情報の入手や収集 キ 食育に関するアプリ（料理レシピ、栄養バランス、フードロス削減など）の利用 ク 食に関するオンラインセミナーへのリアルタイムでの参加 ケ オンライン料理教室へのリアルタイムでの参加 コ オンライン食品工場見学へのリアルタイムでの参加 サ オンラインで生産現場（農場等）とつなぎ農林漁業体験への参加 シ その他（ ）</p>	<p>～ デジタル技術を活用した食育についておたずねします ～</p> <p>○[問 22]（継続） あなた又はあなたのご家族は、これまでにデジタル技術を活用した食育（インターネット等を通した食育に関する情報や体験など）を利用したことがありますか。</p> <p>ア 利用したことがある イ 利用したことがない</p> <p>○[問 22-1]（継続） [問 22]で「ア 利用したことがある」とお答えした方におたずねします。次の中からりようしたことがあるものすべてに○をつけてください。</p> <p>ア 食に関するオンラインセミナーの動画の視聴 イ 料理レシピ動画など、調理に関する動画の視聴 ウ 食品工場見学の動画など、食品加工に関する動画の視聴 エ 収穫体験など、農林水産業の生産現場に関する動画の視聴 オ SNS等での料理レシピ等、食に関する情報の入手や収集 カ SNS等での農林水産業に関する情報の入手や収集 キ 食育に関するアプリ（料理レシピ、栄養バランス、フードロス削減など）の利用 ク 食に関するオンラインセミナーへのリアルタイムでの参加 ケ オンライン料理教室へのリアルタイムでの参加 コ オンライン食品工場見学へのリアルタイムでの参加 サ オンラインで生産現場（農場等）とつなぎ農林漁業体験への参加 シ その他（ ）</p>

令和7年度 食育アンケートについて（高校生向け）（案）

資料 3-2

前回（令和5年度）	今回（令和7年度）
1 調査対象 <ul style="list-style-type: none"> 市内高等学校の2年生1,561人（市内15校） 【参考】回収数1,403人（回収率89.9%） 	1 調査対象 <ul style="list-style-type: none"> 市内高等学校の2年生○人（市内15校）
2 調査期間 <ul style="list-style-type: none"> 令和5年11月～令和5年12月の間 	2 調査期間 <ul style="list-style-type: none"> 令和7年11月～令和7年12月の間
3 調査方法 <ul style="list-style-type: none"> 各校へアンケートを持参し、ホームルーム時に生徒が回答したものを回収 	3 調査方法 <ul style="list-style-type: none"> 各校へアンケートを持参し、ホームルーム時に生徒が回答したものを回収 二次元コード読み取りによるWeb機能を付加（アンケート調査票に貼付）
4 アンケート調査票 <p>■アンケートの目的</p> <p>○このアンケートは皆さんの食に関する意識や食習慣などについて調査するものです。上越市の食育推進の資料といたしますので、ご協力をお願いします。</p> <p>■属性</p> <p>○性別（男子・女子・無回答） ○お住まい（上越市・上越市以外） ○家族構成（二世代世帯・三世代世帯・その他）</p> <p>■設問（全12問：新規5問、継続7問、削除3問） ～ 食育や食の関心について～</p> <p><【説明1】 食育について></p> <p>○[問1]（継続） あなたは、「食育」という言葉やその意味を知っていましたか。（○は1つだけ）</p> <p>ア 言葉も意味も知っていた イ 言葉は知っていたが、意味は知らないかった ウ 言葉も意味も知らないかった</p>	4 アンケート調査票 <p>■アンケートの目的</p> <p>○このアンケートは皆さんの食に関する意識や食習慣などについて調査するものです。上越市の食育推進の資料といたしますので、ご協力をお願いします。</p> <p>■属性</p> <p>○性別（男子・女子・無回答） ○お住まい（上越市・上越市以外） ○家族構成（二世代世帯・三世代世帯・その他）</p> <p>■設問（全13問：新規2問、継続11問、削除1問） ～ 食育や食の関心について～</p> <p><【説明1】 食育について></p> <p>○[問1]（継続） あなたは、「食育」という言葉やその意味を知っていましたか。（○は1つだけ）</p> <p>ア 言葉も意味も知っていた イ 言葉は知っていたが、意味は知らないかった ウ 言葉も意味も知らないかった</p>

令和7年度 食育アンケートについて（高校生向け）（案）

資料 3-2

前回（令和5年度）	今回（令和7年度）
<p>【食育推進計画指標項目 3-1 関係】</p> <p>○[問2]（継続） あなたは、「食育」に関心がありますか。（○は1つだけ）</p> <p>ア 関心がある イ どちらかといえば関心がある ウ どちらかといえば関心がない エ 関心がない オ わからない</p> <p>【追加理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育への関心がある高校生（約8割超）の具体的な理由を把握し、興味や関心を高めるための効果的な施策立案につなげるため。 ・健康意識、食文化継承、食品ロスなど、関心の背景を多角的に分析できるようにするため。 	<p>【食育推進計画指標項目 3-1 関係】</p> <p>○[問2]（継続） あなたは、「食育」に関心がありますか。（○は1つだけ）</p> <p>ア 関心がある イ どちらかといえば関心がある ウ どちらかといえば関心がない エ 関心がない オ わからない</p> <p>○[問2-2]（新規） あなたが「食育」に関心がある理由は何ですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。</p> <p>ア 体調や健康を良くしたいから イ 食生活の乱れが問題になっているから ウ 肥満や痩せすぎが問題になっているから エ 将来、病気にならないように気をつけたいから オ 食品の安全性が気になるから カ 地域の食文化や伝統を守ることが重要だから キ 地域の食材や旬のものを食べたいから ク 食べ残しなどの食品廃棄物が問題だから ケ その他（ ）</p> <p>○[問3]（新規） あなたは、食育に関する講義や調理実習に参加したいと思いますか。（○は1つだけ）</p> <p>ア 参加したい イ 内容によっては参加したい ウ 参加たくない</p> <p style="text-align: center;">～ 食生活について ～</p> <p><説明2> 朝食を食べることについて></p> <p>【食育推進計画指標項目 1-(1)-1 関係】</p> <p>○[問4]（継続） あなたは、朝食を週に何日食べますか。（○は1つだけ）</p> <p>週に〔 毎日 6日 5日 4日 3日 2日 1日 0日 〕程度</p>
	<p>○[問3]（継続） あなたは、食育に関する講義や調理実習に参加したいと思いますか。（○は1つだけ）</p> <p>ア 参加したい イ 内容によっては参加したい ウ 参加たくない</p> <p style="text-align: center;">～ 食生活について ～</p> <p><説明2> 朝食を食べることについて></p> <p>【食育推進計画指標項目 1-(1)-1 関係】</p> <p>○[問4]（継続） あなたは、朝食を週に何日食べますか。（○は1つだけ）</p> <p>週に〔 每日 6日 5日 4日 3日 2日 1日 0日 〕程度</p>

令和7年度 食育アンケートについて（高校生向け）（案）

前回（令和5年度）	今回（令和7年度）
<p>【食育推進計画指標項目 1-(2)-1 関係】</p> <p>○[問5]（継続） あなたは、朝食を家族と一緒に食べることは週に何日ありますか。（○は1つだけ） 週に〔 每日 6日 5日 4日 3日 2日 1日 0日 〕程度</p>	<p>【食育推進計画指標項目 1-(2)-1 関係】</p> <p>○[問5]（継続） あなたは、朝食を家族と一緒に食べることは週に何日ありますか。（○は1つだけ） 週に〔 每日 6日 5日 4日 3日 2日 1日 0日 〕程度</p>
<p>【食育推進計画指標項目 1-(2)-1 関係】</p> <p>○[問6]（継続） あなたは、夕食を家族と一緒に食べることは週に何日ありますか。（○は1つだけ） 週に〔 每日 6日 5日 4日 3日 2日 1日 0日 〕程度</p>	<p>【食育推進計画指標項目 1-(2)-1 関係】</p> <p>○[問6]（継続） あなたは、夕食を家族と一緒に食べることは週に何日ありますか。（○は1つだけ） 週に〔 每日 6日 5日 4日 3日 2日 1日 0日 〕程度</p>
<p><【説明3】 主食・主菜・副菜について></p> <p>【食育推進計画指標項目 1-(2)-3 関係】</p> <p>○[問7]（継続） あなたは、<u>主食</u>（ごはん、パン、麺など）・<u>主菜</u>（肉・魚・卵・大豆製品などをを使ったメインの料理）・<u>副菜</u>（野菜・きのこ・いも・海藻などを使った小鉢・小皿の料理）を3つそろえて食べることが1日に2回以上あるのは、週に何日ありますか。（○は1つだけ） 週に〔 每日 6日 5日 4日 3日 2日 1日 0日 〕程度</p>	<p><【説明3】 主食・主菜・副菜について></p> <p>【食育推進計画指標項目 1-(2)-3 関係】</p> <p>○[問7]（継続） あなたは、<u>主食</u>（ごはん、パン、麺など）・<u>主菜</u>（肉・魚・卵・大豆製品などをを使ったメインの料理）・<u>副菜</u>（野菜・きのこ・いも・海藻などを使った小鉢・小皿の料理）を3つそろえて食べることが1日に2回以上あるのは、週に何日ありますか。（○は1つだけ） 週に〔 每日 6日 5日 4日 3日 2日 1日 0日 〕程度</p>
<p>【食育推進計画指標項目 1-1-3 関係】</p> <p>○[問8]（新規） あなたは、普段ゆっくりよく噛んで食べていますか。（○は1つだけ）</p> <p>ア ゆっくりよく噛んで食べている イ どちらかといえばゆっくりよく噛んで食べている ウ どちらかといえばゆっくりよく噛んで食べていない エ ゆっくりよく噛んで食べていない</p> <p>○[問9]（新規） あなたは、ご自宅で「家庭の味」は受け継がれていると思いますか。（○は1つだけ）</p> <p>ア 受け継がれていると思う ウ 受け継がれていないと思う</p> <p>イ 少しは受け継がれていると思う エ 分からない</p>	<p>【食育推進計画指標項目 1-1-3 関係】</p> <p>○[問8]（継続） あなたは、普段ゆっくりよく噛んで食べていますか。（○は1つだけ）</p> <p>ア ゆっくりよく噛んで食べている イ どちらかといえばゆっくりよく噛んで食べている ウ どちらかといえばゆっくりよく噛んで食べていない エ ゆっくりよく噛んで食べていない</p> <p>○[問9-1]（継続） あなたは、ご自宅で「家庭の味」は受け継がれていると思いますか。（○は1つだけ）</p> <p>ア 受け継がれていると思う ウ 受け継がれていないと思う</p> <p>イ 少しは受け継がれていると思う エ 分からない</p>

令和7年度 食育アンケートについて（高校生向け）（案）

前回（令和5年度）	今回（令和7年度）
<p>【追加理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生世代における郷土料理や伝統料理の認識度を把握し、若年層への食文化継承の課題を明確化する基礎データとするため。 ・「知っている」だけでなく「食べた経験の有無」もあわせて尋ねることで、知識面と体験面の両方から現状分析をできるようにするため。 	<p>○[問 9-2] （新規） あなたは、ご自身が生まれ育った地域の郷土料理や伝統料理について知っていますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。</p> <p>ア よく知っていて、食べたことがある イ 知っているが、食べたことはない ウ 知らないが（認識したことはないが）、食べたことはあるかもしれない エ 知らない</p>
<p>【食育推進計画指標項目 1-(2)-2 関係】</p> <p>○[問 10] （継続） あなたは、ご自宅での食事は楽しいと感じますか。</p> <p>ア とても楽しい イ まあまあ楽しい ウ 楽しくない</p>	<p>○[問 10] （継続） あなたは、ご自宅での食事は楽しいと感じますか。</p> <p>ア とても楽しい イ まあまあ楽しい ウ 楽しくない</p>
<p>○[問 11] （新規） あなたは、近い将来自立した食生活を送ることに関して心配していることはありますか。（あてはまるもの全てに○）</p> <p>ア 自分で調理（自炊）できるか分からない イ 自分で買い物ができるか分からない ウ 普段食べている食材が手に入るか分からない エ 栄養バランスのとれた食事ができるか分からない オ 何をどのくらい食べたら健康でいられるか分からない カ 毎日3食きちんと食事がとれるか分からない キ その他（ ） ク 特に心配していない</p>	<p>○[問 11] （継続） あなたは、近い将来自立した食生活を送ることに関して心配していることはありますか。（あてはまるもの全てに○）</p> <p>ア 自分で調理（自炊）できるか分からない イ 自分で買い物ができるか分からない ウ 普段食べている食材が手に入るか分からない エ 栄養バランスのとれた食事ができるか分からない オ 何をどのくらい食べたら健康でいられるか分からない カ 每日3食きちんと食事がとれるか分からない キ その他（ ） ク 特に心配していない</p>
<p>○[問 12] （新規） 上越市では、今夏の農地渇水と異常高温に伴い、水源のダムが枯渇するという水不足と猛暑日が当市の記録を更新するという厳しい環境の下にあったことから、農作物等に被害が発生しました。このような状況にあったことを知っていますか。（1つに○）</p> <p>ア 知っている イ 少し知っている ウ あまり知らない エ 知らない</p>	<p>【削除理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度調査と違い、今回は上水の問題もあり、節水対象区域が設定されるなど、市民の認識もこれまで以上に高まっていると考えられるため、あえて再度調査する必要性は低いと判断した。 ・調査項目を新設したため、より食育や食生活に関する質問に重点を置くため。